

学 習 要 項

第 1 学年

2 0 1 7



東京女子医科大学

看護学部

[栄養代謝学]

科目責任者：榊 建二郎

目的

日本人の食と栄養、食事摂取の基本を理解した上で、消化吸収された栄養素からのエネルギー獲得（異化作用）と自身の身体を構築（同化作用）するメカニズムを学ぶ。さらに、日常の食事摂取により生じる生活習慣病と異化・同化作用の関連についての理解を深める。

到達目標

1. 健康をもたらす食物中の栄養素を列挙し、その役割を記述できる。
2. 食事摂取基準の概念を説明できる。
3. 学童期と思春期・青年期における身体的な特徴から、必要な栄養を説明できる。
4. 糖質、脂質とタンパク質の消化吸収を記述できる。
5. 糖質、脂質とタンパク質の異化と同化の関連を明確に述べられる。
6. 同化により生成された、体内の糖質、脂質とタンパク質の役割を記述できる。
7. 物質代謝の観点から生活習慣病を説明できる。
8. 尿検査の結果を基に食の改善に向けた提案を行える。

大項目	中項目	小項目
I. 日本人の食と栄養	1. 健康と栄養 2. 日本人の食事摂取基準 3. 食物と栄養 4. ライフステージと栄養 5. 食のアセスメント	1)各栄養素と人体との関連 2)栄養状態の判定(BMI等)、低栄養と過剰栄養 1)概要と考え方 2)推定エネルギー必要量（基礎代謝、身体活動レベル） 1)食品の種類と栄養素 2)食品中の栄養素とその役割 3)栄養価 1)乳幼児期 2)学童期 3)思春期 4)成人期 5)老年期 1)食の分析および改善計画
II. 代謝の基本概念	1. 代謝とエネルギー 2. 酵素反応	1)生体物質の異化と同化 2)エネルギーの産生・貯蔵・消費 1)反応機構 2)ビタミンの役割 3)調節機構
III. 物質の代謝	1. 糖質の代謝 2. タンパク質の代謝	1)消化と吸収 2)嫌氣的解糖 3)好氣的解糖 4)グリコーゲン代謝 5)糖新生 6)ペントース代謝 1)消化と吸収 2)タンパク質の代謝 3)アミノ酸の代謝 4)窒素平衡

大項目	中項目	小項目
	3. 脂質の代謝	1)消化と吸収 2)脂肪酸の代謝 3)トリアシルグリセロールの代謝 4)コレステロールの代謝 5)リン脂質の代謝
	4. 核酸の代謝	1)ヌクレオチドの代謝 2)タンパク質合成
IV. 代謝と疾病	1. 食と疾病	1)低栄養による疾病(クワシオルコル、マラスマス)
	2. 生活習慣病	2)過剰栄養による疾病 1)生活習慣病の概要 2)(高脂血症、高尿酸血症、インスリン非依存性糖尿病)

成績評価の方法：筆記試験 70%、レポート 20%、出席 10%

教科書：

著者名	タイトル	シリーズ	版	出版者	出版年
三輪一智 他	生化学	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 2	第13版	医学書院	2014
中村丁次 他	栄養学	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 3	第12版	医学書院	2015
新食品成分表編集委員会 編	新食品成分表フーズサポーターCD-ROM付 (「日本食品標準成分表 2010」準拠)			東京法令出版	2015

参考映像資料：

著者名	巻	タイトル	シリーズ	版	出版者	出版年
岡野栄之 監	1	生命の単位：細胞	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003
岡野栄之 監	2	生命を支える物質	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003
岡野栄之 監	3	生体エネルギー (I)	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003
岡野栄之 監	4	生体エネルギー (II)	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003
岡野栄之 監	5	生体機能とタンパク質	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003
岡野栄之 監	6	生命の継続	基礎医学シリーズ 目で見える生化学入門	第2版	医学映像教育センター	2003

<講義スケジュール>

1	2017. 6. 16	金	13:55~15:05	榊建二郎	健康と栄養、栄養状態の判定	大教室
2	6. 21	水	15:15~16:25	榊建二郎	食物と栄養	大教室
3	6. 27	火	15:15~16:25	榊建二郎	エネルギー代謝、食事摂取基準	大教室
4	6. 30	金	13:55~15:05	榊建二郎	ライフステージと栄養	大教室
5	7. 4	火	12:30~13:40	榊建二郎	代謝の基本概念1 代謝とエネルギー	大教室
6	7. 10	月	10:25~11:35	榊建二郎	代謝の基本概念2 酵素と補酵素	大教室
7	7. 11	火	10:25~11:35	榊建二郎	三大栄養素の消化吸収	大教室
8	7. 13	木	12:30~13:40	榊建二郎	物質の代謝1 糖質代謝1	大教室
9	9. 7	木	09:00~10:10	榊建二郎	物質の代謝2 糖質代謝2	大教室
10	9. 13	水	12:30~13:40	榊建二郎	物質の代謝3 糖質代謝3	大教室
11	9. 15	金	12:30~13:40	榊建二郎	物質の代謝4 糖質代謝4	大教室
12	9. 25	月	15:15~16:25	榊建二郎	物質の代謝5 脂質代謝1	大教室
13	9. 27	水	12:30~13:40	榊建二郎	物質の代謝6 脂質代謝2	大教室

栄養代謝学

14	9.29	金	10:25~11:35	榊建二郎	物質の代謝7 タンパク質代謝1	大教室
15	10.3	火	09:00~10:10	榊建二郎	物質の代謝8 タンパク質代謝2	大教室
16	10.6	金	10:25~11:35	榊建二郎	物質の代謝9 核酸代謝	大教室
17	10.10	火	10:25~11:35	榊建二郎	食と疾病、生活習慣病の概要	大教室
18	10.13	金	09:00~10:10	榊建二郎	生活習慣病1	大教室
19	10.13	金	10:25~11:35	榊建二郎	生活習慣病2	大教室
20	10.20	金	10:25~11:35	榊建二郎	「尿にみる食」と「お弁当箱法」 試験	大教室
	10.23	月	09:00~10:10	榊建二郎		中教室・視聴覚室
21	10.26	木	10:25~11:35	榊建二郎	グループワークによる分析と討論	大教室
22	11.1	水	12:30~13:40	榊建二郎	グループワークによる分析と討論	大教室
23	11.24	金	12:30~13:40	榊建二郎	グループワークによる分析と討論	大教室
24	12.11	月	12:30~13:40	榊建二郎	実習の説明	大教室
25	12.12	火	09:00~10:10	榊建二郎	生化学実習①A	科学実験室
26	12.12	火	10:25~11:35	榊建二郎	生化学実習①A	科学実験室
25	12.13	水	12:30~13:40	榊建二郎	生化学実習①B	科学実験室
26	12.13	水	13:55~15:05	榊建二郎	生化学実習①B	科学実験室
27	12.14	木	09:00~10:10	榊建二郎	生化学実習②A	科学実験室
28	12.14	木	10:25~11:35	榊建二郎	生化学実習②A	科学実験室
27	12.15	金	09:00~10:10	榊建二郎	生化学実習②B	科学実験室
28	12.15	金	10:25~11:35	榊建二郎	生化学実習②B	科学実験室

[人体の構造と機能]

科目責任者：神山暢夫

科目担当者：神山暢夫、鈴木義司

【目的】

私たちは「生きて」いて、様々な活動をすることで生活している。これらの活動を可能としているのは身体の中にある様々な器官である。ただじっと「生きて」いるだけでも、身体の中ではいろいろな器官がお互いに協調して機能している事が必要である。[人体の構造と機能]では、これらの諸器官がどのようなしくみで機能しているか、そしてその機能を実現するために、どのような構造になっているのかを学ぶ。今後、上位の学年で看護、医療の専門分野を学習する際に必要不可欠となる知識を身に付ける。

【到達目標】

1. 医療分野における専門的な用語を習得し、理解して使えるようにする。
2. 体内に存在する各器官の名称と意義を理解する。
3. 生命を維持する諸器官の構造と機能を学び、その意義を理解する。
4. 日常行動を支える諸器官の役割や相互作用を理解する。
5. 他科目で習得した知識との統合を行なって、人体についての理解を発展的に展開する。

大項目	中項目	小項目
I. 生体を構成する要素	1. 細胞 2. 組織 3. 器官 4. 系統	4大組織（上皮組織、結合組織 筋組織、神経組織）
II. 身体の支持を行う器官 (皮膚および骨格系)	1. 皮膚の構造と機能 2. 骨の基本構造と機能 3. 全身の骨の構成 4. 関節と靭帯の基本構造と機能	1) 表皮、真皮、皮下組織 2) 付属器官（毛、爪、汗腺） 1) 骨の構造と組成 2) 化骨とカルシウム代謝 1) 頭蓋を構成する骨とその特徴 2) 胴体を構成する骨とその特徴 3) 上肢を構成する骨とその特徴 4) 下肢を構成する骨とその特徴 骨盤 1) 関節の種類 2) 関節の作用
III. 血液とリンパ液	1. 血液の組成と機能	1) 血球（赤血球、白血球、血小板）および造血組織 2) 血漿 3) 血液凝固
IV. 循環を行う器官 A血液循環	1. 心臓の構造 2. 心臓の機能 3. 血管の構造と機能	1) 心房と心室 2) 大動脈と大静脈 3) 冠状血管 1) 心臓の興奮と伝播 2) 心電図 3) 心臓の収縮（心周期） 4) 血圧と脈拍 1) 血管の種類と特徴 (動脈、静脈、毛細管) 2) 動脈と静脈の分布

人体の構造と機能

大項目	中項目	小項目
Bリンパ循環	4. 循環経路 1. リンパ系の構成 2. 全身のリンパ	1) 体循環 2) 肺循環 3) 門脈循環 4) 胎児循環 1) リンパ節、リンパ管 1) リンパ節の分布 2) 胸管とリンパ本幹 3) 扁桃と胸腺
V. 呼吸を行う器官 (呼吸器系)	1. 気道の構造と機能 2. 肺の構造 3. 肺の機能	1) 気道の区分 (鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支) とその特徴 1) 肺の外形 2) 区域気管支と肺胞 3) 胸膜と縦隔 1) 呼吸運動 2) 肺気量 3) ガス交換 4) 呼吸と酸塩基平衡 5) 呼吸調節
VI. 代謝に関わる器官 A 消化器系	1. 消化器官の構造 2. 消化器官の機能	1) 消化管 (口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸) とその特徴 2) 消化腺 (唾液腺、膵臓、肝臓、胆嚢) とその特徴 1) 消化管の運動 2) 消化管の分泌 (消化酵素、消化管ホルモン) 3) 消化と吸収
B 泌尿器系	1. 泌尿器の構造 2. 尿の生成と水分調節	1) 腎臓の構造とネフロンの機能 2) 尿路 (尿管、膀胱、尿道) 1) 糸球体濾過 2) 尿細管での輸送 3) 腎機能の調節 4) 排尿
C 体温調節系	1. 体温の分布 2. 熱放散 3. 熱産生 4. 体温調節	1) 核心温度 2) 外殻温度 1) 放射 2) 伝導 3) 蒸散 1) ふるえ 2) 非ふるえ 1) 温度受容 2) 体温調節中枢 3) 発熱
VII. 運動を行う器官 (筋系)	1. 筋の基本構造と機能	1) 筋の種類 (横紋筋、平滑筋、心筋) 2) 筋原線維の構造 3) 筋収縮の機構 4) 反射

大項目	中項目	小項目
<p>VIII. 体の働きを調節し、情報の処理や創造を行う器官</p> <p>A神経系</p> <p>B内分泌系</p> <p>C感覚器系</p> <p>IX. 生殖と発生に関わる器官</p>	<p>2. 全身の筋の構成とその作用</p>	<p>1) 表情筋と咀嚼筋</p> <p>2) 体幹の筋</p> <p>3) 上肢の筋</p> <p>4) 下肢の筋</p>
	<p>1. 神経の基本構造と機能</p>	<p>1) ニューロンの構造と種類</p> <p>2) 刺激と興奮</p> <p>3) 膜電位（静止電位、活動電位）</p> <p>4) 興奮の伝導</p> <p>5) シナプス伝達</p>
	<p>2. 中枢神経の分類（脳と脊髄）</p>	<p>1) 脳の区分（大脳、間脳、中脳、小脳、橋、延髄）とその構造</p> <p>2) 脊髄</p>
	<p>3. 中枢神経の機能（各種機能中枢）</p>	<p>1) 大脳皮質と連合野</p> <p>2) 間脳の働き</p> <p>3) 脳幹の働き 網様体と生命中枢</p> <p>4) 小脳の働き</p> <p>5) 脊髄の働き</p> <p>6) 反射</p> <p>7) 伝導路</p>
	<p>4. 末梢神経の分布と機能</p>	<p>1) 脳神経の分布</p> <p>2) 脊髄神経の分布</p> <p>3) 知覚神経と運動神経</p>
	<p>5. 自律神経系</p>	<p>1) 交感神経</p> <p>2) 副交感神経</p>
	<p>1. 内分泌器官の構造と機能</p>	<p>1) 下垂体とそのホルモン</p> <p>2) 甲状腺と上皮小体</p> <p>3) 副腎とランゲルハンス島</p> <p>4) 松果体および性腺</p>
	<p>1. 視覚</p>	<p>1) 眼球の構造</p> <p>2) 副眼器（眼筋、涙腺）</p> <p>3) 結像と色感覚</p> <p>4) 視覚の投射</p>
	<p>2. 聴覚と平衡覚</p>	<p>1) 耳の構造（外耳、中耳、内耳）</p> <p>2) 音の伝導と平衡覚</p> <p>3) 聴覚の投射</p>
	<p>3. その他の感覚</p>	<p>1) 味覚</p> <p>2) 嗅覚</p> <p>3) 皮膚感覚</p> <p>4) 内臓覚と深部覚</p>
	<p>1. 男性生殖器</p>	<p>1) 精巣と精子形成</p> <p>2) 精子の通路（精巣上体、精管、精嚢）と付属腺（前立腺、尿道球腺）</p>
	<p>2. 女性生殖器</p>	<p>1) 女性生殖器の構造（卵巣、卵管、子宮）</p> <p>2) 卵子形成、排卵と性周期</p>
	<p>3. ヒトの発生</p>	<p>1) 受精、着床と胎盤</p> <p>2) 初期発生と先天異常</p>

人体の構造と機能

成績評価の方法：筆記試験（90％）と各授業時間に行なう小テスト（10％）

教科書

坂井健雄・岡田隆夫 系統看護学講座専門基礎分野
解剖生理学・人体の構造と機能 第9版 医学書院 2014

参考図書

*解剖学

塩田浩平 他訳 グレイ解剖学 原著第2版 エルゼビアジャパン 2011
藤田恒夫・藤田尚男 標準組織学 各論 改訂第4版 医学書院 2010
藤田恒夫・藤田尚男 標準組織学 総論 第4版 医学書院 2002
トートラ 人体解剖生理学第8版
(佐伯 他訳) 丸善 2011

*生理学

大地陸男 生理学テキスト 第6版 文光堂 2010
本間研一 他 編 標準生理学 第8版 医学書院 2014
岡田隆夫 他 集中講義・生理学 メジカルビュー 2014

*解剖生理学

Herlihy, Maebius 著 ヒューマンボディ からだの不思議がわかる解剖生理学
(片桐康雄 他訳) エルゼビアジャパン 2008
下 正宗 他編 コアテキスト1, 人体の構造と機能 医学書院 2010
パーカー 見える人体
(佐藤達夫 他訳) 南江堂 2009

<講義スケジュール>

1	2017.	4.13	木	15:15~16:25	神山暢夫	人体の構造と機能・授業の概要	大教室
2		4.17	月	10:25~11:35	神山暢夫	ヒトの体	大教室
3		4.18	火	10:25~11:35	神山暢夫	細胞の中と外	大教室
4		4.24	月	13:55~15:05	神山暢夫	体内の水・生理食塩水	大教室
5		4.25	火	16:35~17:45	神山暢夫	血液の組成	大教室
6		5.8	月	15:15~16:25	神山暢夫	血液の働き	大教室
7		5.9	火	16:35~17:45	神山暢夫	循環の概要	大教室
8		5.15	月	9:00~10:10	神山暢夫	心臓の構造	大教室
9		5.16	火	12:30~13:40	神山暢夫	心臓の収縮（1）	大教室
10		5.22	月	16:35~17:45	神山暢夫	心臓の収縮（2）	大教室
11		5.23	火	12:30~13:40	神山暢夫	心電図	大教室
12		5.29	月	9:00~10:10	神山暢夫	動脈と静脈	大教室
13		5.30	火	10:25~11:35	神山暢夫	血液循環の動態	大教室
14		6.5	月	10:25~11:35	神山暢夫	いろいろな血管	大教室
15		6.6	火	10:25~11:35	神山暢夫	呼吸の概要	大教室
16		6.12	月	10:25~11:35	神山暢夫	肺の構造	大教室
17		6.13	火	10:25~11:35	神山暢夫	換気とは	大教室
18		6.21	水	16:35~17:45	神山暢夫	ガス交換	大教室
19		6.26	月	15:15~16:25	神山暢夫	肺機能とその検査	大教室
20		6.27	火	16:35~17:45	神山暢夫	皮膚の構造と機能	大教室
21		6.29	木	9:00~10:10	鈴木義司	骨学の概要	大教室

<講義スケジュール>

22	6.29	木	10:25~11:35	鈴木義司	全身の骨	大教室
23	7.3	月	12:30~13:40	神山暢夫	全身の筋	大教室
24	7.4	火	13:55~15:05	神山暢夫	腎機能の概要	大教室
25	7.10	月	12:30~13:40	神山暢夫	ネフロン構造	大教室
26	7.11	火	9:00~10:10	神山暢夫	尿の生成	大教室
27	7.14	金	9:00~10:10	神山暢夫	中間試験	視聴覚室・中教室
28	9.7	木	10:25~11:35	神山暢夫	腎機能の調節	大教室
29	9.11	月	12:30~13:40	神山暢夫	体液のホメオスタシス	大教室
30	9.12	火	16:35~17:45	神山暢夫	消化器系の概要	大教室
31	9.21	木	10:25~11:35	神山暢夫	栄養と消化、吸収	大教室
32	9.28	木	10:25~11:35	神山暢夫	上部消化管	大教室
33	10.2	月	10:25~11:35	神山暢夫	下部消化管	大教室
34	10.3	火	10:25~11:35	神山暢夫	腹部実質臓器	大教室
35	10.10	火	15:15~16:25	神山暢夫	神経系の概要	大教室
36	10.11	水	12:30~13:40	神山暢夫	膜電位の発生	大教室
37	10.12	木	9:00~10:10	神山暢夫	活動電位の発生と伝導	大教室
38	10.17	火	15:15~16:25	神山暢夫	シナプス	大教室
39	10.18	水	12:30~13:40	神山暢夫	筋の構造と収縮	大教室
40	10.23	月	10:25~11:35	神山暢夫	筋収縮のコントロール	大教室
41	10.25	水	16:35~17:45	神山暢夫	中枢神経系の解剖	大教室
42	10.30	月	10:25~11:35	神山暢夫	脊髄と末梢神経	大教室
43	11.1	水	15:15~16:25	神山暢夫	反射の解剖と機能	大教室
44	11.20	月	15:15~16:25	神山暢夫	感覚器の概要	大教室
45	11.21	火	10:25~11:35	神山暢夫	聴覚と平衡覚	大教室
46	11.22	水	12:30~13:40	神山暢夫	視覚	大教室
47	12.4	月	15:15~16:25	神山暢夫	自律神経系の概要	大教室
48	12.6	水	12:30~13:40	神山暢夫	自律神経系の解剖	大教室
49	12.11	月	10:25~11:35	神山暢夫	自律神経系の支配の原則と例外	大教室
50	12.12	火	15:15~16:25	神山暢夫	生殖の意義と概要	大教室
51	12.13	水	15:15~16:25	神山暢夫	男性生殖器	大教室
52	2018. 1.23	火	10:25~11:35	神山暢夫	女性生殖器	大教室
53	1.24	水	12:30~13:40	神山暢夫	内分泌系の概要	大教室
54	1.25	木	10:25~11:35	神山暢夫	ホルモンの分類	大教室
55	2.8	木	10:25~11:35	神山暢夫	内分泌各論1	大教室
56	2.9	金	10:25~11:35	神山暢夫	内分泌各論2	大教室
	2.13	火	10:25~11:35	神山暢夫	期末試験	視聴覚室・中教室

[基礎看護学・各論Ⅰ（共通基本技術論）]

科目責任者：守屋治代

科目担当者：守屋治代、菊池昭江、見城道子、
加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

目的

専門技術としての看護技術の特徴を理解した上で、様々な看護に共通する基礎的技術の理論と方法を学び、看護技術の基本を修得する。

到達目標

1. 専門技術としての看護技術の基本的な考え方を説明できる。
2. 看護における安全・安楽の重要性について説明できる。
3. 感染の基本概念について理解し、感染予防の方法を説明できる。
4. バイタルサインのもつ意味を理解し、バイタルサイン測定の方法を説明できる。

大項目	中項目	小項目
Ⅰ. 看護場面における共通基本技術	1. 看護技術とは	1) 看護技術とは
	2. 安全を守る技術	1) 看護における安全の意義 2) 安全を守るための看護の視点
	3. 安楽にする技術	1) 看護における安楽の意義 2) 安楽にするための看護の視点
	4. 感染予防の技術Ⅰ	1) 感染予防のもつ意味 2) 感染予防の方法Ⅰ 3) 基本的看護技術の実際 (1) スタンダードプリコーション (2) ガウンテクニック
	5. 感染予防の技術Ⅱ	1) 感染予防の方法Ⅱ 2) 基本的看護技術の実際 (1) 無菌操作
	6. バイタルサイン測定の技術	1) バイタルサインのもつ意味 2) 基本的看護技術の実際 (1) 呼吸、脈拍、体温、血圧の観察と測定

成績評価の方法：筆記試験 90%、提出物・レポート 10%により行う。

教科書：

著者名	タイトル	シリーズ名	版	出版者	出版年
茂野香おる 他	基礎看護技術Ⅰ	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 2	第16版	医学書院	2015
有田清子 他	基礎看護技術Ⅱ	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 3	第16版	医学書院	2013
医療情報科学研究 所編	臨床看護技術	看護技術がみえる Vol.2		メディックメディア	2013

<講義スケジュール>

1	2017.	4.25	火	10:25~11:35	見城道子	看護技術とは1	大教室
2		4.26	水	15:15~16:25	見城道子 _{他*}	看護技術とは2	大教室
3		4.27	木	15:15~16:25	見城道子 _{他*}	看護技術とは3	大教室・看護実習室
4		4.28	金	9:00~10:10	見城道子	安全を守る技術1	大教室
5		5.8	月	9:00~10:10	見城道子	安楽にする技術1 A/B	オーキッドホール
6		5.11	木	9:00~10:10	見城道子	感染予防Ⅰ1	大教室
7		5.11	木	10:25~11:35	見城道子	感染予防Ⅰ2	大教室
8		5.15	月	13:55~15:05	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅰ3A	看護実習室
8		5.15	月	15:15~16:25	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅰ3B	看護実習室
9		5.16	火	9:00~10:10	見城道子	感染予防Ⅰ4	大教室
10		5.16	火	15:15~16:25	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅰ5A	看護実習室
10		5.17	水	15:15~16:25	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅰ5B	看護実習室
11		5.23	火	9:00~10:10	小宮山陽子	バイタルサイン1	大教室
12		5.23	火	10:25~11:35	小宮山陽子	バイタルサイン2	大教室
13		5.29	月	13:55~15:05	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン3A/B	大教室・看護実習室
14		5.29	月	15:15~16:25	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン4A/B	大教室・看護実習室
15		5.30	火	15:15~16:25	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン5A	看護実習室
16		5.30	火	16:35~17:45	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン6A	看護実習室
15		5.31	水	15:15~16:25	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン5B	看護実習室
16		5.31	水	16:35~17:45	小宮山陽子 _{他*}	バイタルサイン6B	看護実習室
17		9.13	水	13:55~15:05	見城道子	感染予防Ⅱ1	大教室
18		9.14	木	9:00~10:10	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅱ2A	看護実習室
18		9.14	木	10:25~11:35	見城道子 _{他*}	感染予防Ⅱ2B	看護実習室
		9.21	木	9:00~10:10	守屋治代 _{他*}	筆記試験	中教室・視聴覚室

*守屋治代、菊池昭江、見城道子、加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

〔基礎看護学・各論Ⅱ（生活援助論）〕

科目責任者：守屋治代

科目担当者：守屋治代、菊池昭江、見城道子、
加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

目的

人間の日常生活を健康的に整えるための看護の理論と方法とを学び、看護技術の基本を習得する。

到達目標

1. 健康にとっての生活環境のもつ意味を理解し、生活環境を整えるための基本的な看護方法を説明できる。
2. 健康にとっての活動と休息のもつ意味を理解し、活動と休息を整えるための基本的な看護方法を説明できる。
3. 健康にとっての衣のもつ意味を理解し、衣を整えるための基本的な看護方法を説明できる。
4. 健康にとっての清潔のもつ意味を理解し、清潔を保持するための基本的な看護方法を説明できる。
5. 健康にとっての食のもつ意味を理解し、食を整えるための基本的な看護方法を説明できる。
6. 健康にとっての排泄のもつ意味を理解し、排泄を整えるための基本的な看護方法を説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 日常生活を健康的に整えるための看護方法	1. 生活環境を整える技術	1) 健康にとっての生活環境のもつ意味 2) 生活環境を整えるための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 環境整備 (2) ベッドメイキング (3) 就床患者のシーツ交換
	2. 活動と休息を整える技術	1) 健康にとっての活動と休息のもつ意味 2) 活動と休息を整えるための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 体位変換 (2) 移乗・移送 (3) 安楽な体位
	3. 衣を整える技術	1) 健康にとっての衣のもつ意味 2) 衣を整えるための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 寝衣交換
	4. 清潔を保持する技術	1) 健康にとっての清潔のもつ意味 2) 清潔を保持するための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 足浴・爪切り (2) 全身清拭 (3) 洗髪 (4) 口腔ケア
	5. 食を整える技術 I	1) 健康にとっての食のもつ意味 2) 食を整えるための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 食事介助
	6. 排泄を整える技術 I	1) 健康にとっての排泄のもつ意味 2) 排泄を整えるための看護の視点 3) 基本的看護技術の実際 (1) 床上排泄

成績評価の方法：筆記試験 90%、提出物・レポート 10%により行う。

教科書：

茂野香おる他	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ	医学書院	2014
任 和子他、	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅰ	医学書院	2014
医療情報科学研究所編	看護技術がみえる Vol.1 基礎看護技術	メディックメディア	2014
医療情報科学研究所編	看護技術がみえる Vol.2 臨床看護技術	メディックメディア	2013

<講義スケジュール>

1	2017.	5. 18	木	9:00~10:10	加藤京里	環境を整える技術 1	大教室
2		5. 18	木	10:25~11:35	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 2A/B	看護実習室
3		5. 22	月	13:55~13:05	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 3A/B	看護実習室
4		5. 22	月	15:15~16:25	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 4A/B	看護実習室
5		6. 2	金	9:00~10:10	見城道子	活動と休息を整える技術 1	大教室
6		6. 2	金	10:25~11:35	見城道子	活動と休息を整える技術 2	大教室
7		6. 5	月	12:30~13:40	見城道子 ^{他*}	活動と休息を整える技術 3A	看護実習室
7		6. 5	月	13:55~15:05	見城道子 ^{他*}	活動と休息を整える技術 3B	看護実習室
8		6. 7	水	12:30~13:40	見城道子 ^{他*}	活動と休息を整える技術 4A/B	看護実習室
9		6. 7	水	13:55~15:05	見城道子 ^{他*}	活動と休息を整える技術 5A/B	看護実習室
10		6. 8	木	9:00~10:10	見城道子 ^{他*}	活動と休息を整える技術 6	大教室
11		6. 8	木	10:25~11:35	加藤京里	環境を整える技術 5	大教室
12		6. 13	火	9:00~10:10	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 6A/B	看護実習室
13		6. 13	火	16:35~17:45	北條由佳	衣を整える技術 1	大教室
14		6. 14	水	12:30~13:40	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 7A/B	看護実習室
15		6. 14	水	13:55~15:05	加藤京里 ^{他*}	環境を整える技術 8A/B	看護実習室
16		6. 15	木	12:30~13:40	北條由佳 ^{他*}	衣を整える技術 2A/B	看護実習室
17		6. 16	金	10:25~11:35	北條由佳 ^{他*}	衣を整える技術 3A/B	看護実習室
18		6. 27	火	9:00~10:10	菊池昭江	清潔を保持する技術 1	大教室
19		6. 27	火	16:35~17:45	菊池昭江	清潔を保持する技術 2	大教室
20		6. 28	水	16:35~17:45	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 3A/B	看護実習室
21		6. 30	金	9:00~10:10	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 4A/B	看護実習室
22		6. 30	金	10:25~11:35	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 5A/B	看護実習室
23		9. 8	金	9:00~10:10	菊池昭江	清潔を保持する技術 6	大教室
24		9. 11	月	10:25~11:35	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 7A/B	看護実習室
25		9. 15	金	13:55~15:05	菊池昭江	清潔を保持する技術 8	大教室
26		9. 15	金	15:15~16:25	菊池昭江	清潔を保持する技術 9	大教室
27		9. 19	火	9:00~10:10	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 10A/B	看護実習室
28		9. 19	火	10:25~11:35	菊池昭江 ^{他*}	清潔を保持する技術 11A/B	看護実習室
29		9. 22	金	9:00~10:10	小宮山陽子	食を整える技術Ⅰ 1	大教室
30		9. 22	金	10:25~11:35	小宮山陽子 ^{他*}	食を整える技術Ⅰ 2	大教室
31		9. 26	火	9:00~10:10	小宮山陽子 ^{他*}	食を整える技術Ⅰ 3A/B	看護実習室
32		9. 26	火	10:25~11:35	小宮山陽子 ^{他*}	食を整える技術Ⅰ 4A/B	看護実習室
33		9. 27	水	13:55~15:05	加藤京里	排泄を整える技術Ⅰ 1	大教室

基礎看護学・各論Ⅱ(生活援助論)

34	9.27	水	15:15~16:25	加藤京里	排泄を整える技術Ⅰ 2	大教室
35	10.4	水	13:55~15:05	加藤京里 _他 *	排泄を整える技術Ⅰ 3A/B	看護実習室
36	10.5	木	9:00~10:10	加藤京里 _他 *	排泄を整える技術Ⅰ 4A	看護実習室
36	10.5	木	10:25~11:35	加藤京里 _他 *	排泄を整える技術Ⅰ 4B	看護実習室
	10.26	木	9:00~10:10	守屋治代 _他 *	筆記試験	中教室・視聴覚室

*守屋治代、菊池昭江、見城道子、加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

〔基礎看護学・各論Ⅲ（診療に伴う援助論）〕

科目責任者：守屋治代

科目担当者：守屋治代、菊池昭江、見城道子
加藤京里、小宮山陽子

目的

検査、治療を受ける状況を看護の立場から理解し、回復を助け、治療効果が得られるような検査、治療に伴う看護の方法と看護技術の基本を修得する。

到達目標

1. 健康にとって呼吸・循環・体温のもつ意味を理解し、呼吸・循環・体温を整える基本的看護方法を説明できる。
2. 診療における看護の役割について理解し、基本的看護方法を説明できる。
3. 食に関する障害について理解し、基本的看護方法を説明できる。
4. 排泄に関する障害について理解し、基本的看護方法を説明できる。
5. 看護用具の保守点検の基本的考え方を説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 診療に伴う看護方法	1. 呼吸・循環・体温を整える技術	1)健康にとって呼吸・循環・体温がもつ意味 2)呼吸・循環・体温を整えるための看護の視点 3)基本的看護技術の実際 (1)電法 (2)吸引
	2. 検査・治療時の技術Ⅰ	1)診療過程と看護 2)検査に伴う基本的看護 3)検査における基本的看護技術の実際 (1)採血
	3. 検査・治療時の技術Ⅱ	1)治療に伴う基本的看護 2)治療における基本的看護技術の実際 (1)坐薬挿入 (2)注射法
	4. 食を整える技術Ⅱ	1)経口摂取が困難な場合の看護
	5. 排泄を整える技術Ⅱ	1)自然排泄が困難な場合の看護 2)基本的看護技術の実際 (1)浣腸 (2)導尿

評価方法：筆記試験 90%、提出物・レポート 10%

教科書：

茂野香おる他 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学 [2] 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2015
 任 和子他 系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2013
 医療情報科学研究所編 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 2014
 医療情報科学研究所編 看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア 2013

<講義スケジュール>

1	2018.	1.9	火	13:55～15:05	小宮山陽子	呼吸・循環・体温を整える技術1	大教室
2		1.9	火	15:15～16:25	小宮山陽子	呼吸・循環・体温を整える技術2	大教室
3		1.11	木	12:30～13:40	小宮山陽子 _{他*}	呼吸・循環・体温を整える技術3A	看護実習室
3		1.11	木	13:55～15:05	小宮山陽子 _{他*}	呼吸・循環・体温を整える技術3B	看護実習室
4		1.12	金	12:30～13:40	菊池昭江	検査・治療時の技術Ⅰ1	大教室
5		1.12	金	13:55～15:05	菊池昭江	検査・治療時の技術Ⅰ2	大教室
6		1.16	火	09:00～10:10	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅰ3A	看護実習室
7		1.16	火	10:25～11:35	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅰ4A	看護実習室
6		1.22	月	12:30～13:40	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅰ3B	看護実習室
7		1.22	月	13:55～15:05	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅰ4B	看護実習室
8		1.24	水	13:55～15:05	菊池昭江	検査・治療時の技術Ⅱ1	大教室
9		1.24	水	15:15～16:25	菊池昭江	検査・治療時の技術Ⅱ2	大教室
10		1.29	月	12:30～13:40	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅱ3A	看護実習室
11		1.29	月	13:55～15:05	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅱ4A	看護実習室
10		1.30	火	12:30～13:40	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅱ3B	看護実習室
11		1.30	火	13:55～15:05	菊池昭江 _{他*}	検査・治療時の技術Ⅱ4B	看護実習室
12		2.1	木	10:25～11:35	菊池昭江	検査・治療時の技術Ⅱ5	大教室
13		2.1	木	12:30～13:40	加藤京里	食を整える技術Ⅱ1	大教室
14		2.1	木	13:55～15:05	加藤京里	食を整える技術Ⅱ2	大教室
15		2.5	月	12:30～13:40	加藤京里	排泄を整える技術Ⅱ1	大教室
16		2.5	月	13:55～15:05	加藤京里	排泄を整える技術Ⅱ2	大教室
17		2.8	木	12:30～13:40	加藤京里 _{他*}	排泄を整える技術Ⅱ3A	看護実習室
17		2.8	木	13:55～15:05	加藤京里 _{他*}	排泄を整える技術Ⅱ3B	看護実習室
18		2.14	水	12:30～13:40	加藤京里 _{他*}	排泄を整える技術Ⅱ4A	看護実習室
18		2.14	水	13:55～15:05	加藤京里 _{他*}	排泄を整える技術Ⅱ4B	看護実習室
—		2.19	月	10:25～11:35	守屋治代 _{他*}	筆記試験	中教室・視聴覚室
		2.21	水	10:25～11:35	守屋治代 _{他*}	看護用具の保守点検(特別演習)	看護実習室

*守屋治代、菊池昭江、見城道子、加藤京里、小宮山陽子

〔基礎看護学・各論Ⅳ（看護過程論）〕

科目責任者：守屋治代

科目担当者：守屋治代、菊池昭江、見城道子
加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

目的

1. 看護学の理論に基づき、看護実践のための方法『看護過程展開の技術』を修得する。
2. 個別な対象に、より適切な援助となるよう看護するための方法を理解し、さらに事例を学習素材として事例展開の実際を演習する。

到達目標

1. 看護過程の概念について、以下の側面から理解する。
 - ・人間関係成立発展および問題解決過程の両側面の統合として
 - ・一つの看護成立場面（狭義）および一定期間に渡る看護過程（広義）として
2. 看護過程展開の局面について事例を通して理解を深め、一連のプロセスを展開する。
3. グループメンバー間で発展的な意見交換ができる。

大項目	中項目	小項目
I. 看護過程の基本的な成り立ちと構造	1. 看護過程の構造と展開の道筋	1) 人間関係過程と問題解決過程が統合された看護過程の構造と展開の道筋 2) 実際の事例展開を通じた理解 3) 狭義・広義の看護過程
II. 看護過程展開の道筋	1. 看護過程展開の実際	1) 看護過程展開の5つの局面 ①出会いと全体像への接近 ②人間関係の展開と看護の必要性の明確化 ③看護ケア計画の立案 ④人間関係の深まりと看護ケア実践 ⑤看護ケアの最終評価 2) 事例による看護過程展開の実際
III. 看護過程展開能力の自己評価	1. 自己の看護過程展開のふりかえり	1) 基礎看護学実習Ⅱにおける看護過程展開の自己評価 2) グループ（チーム）における自己のあり方の自己評価 3) 自己の看護実践者としての課題・目標・将来像

成績評価の方法：演習内容 20%、提出物 80%により行う

教科書：

- ①『2017 看護過程展開のガイド』（講義時に配布）
- ②J. トラベルヴィー（長谷川浩、藤枝知子訳）：人間対人間の看護 医学書院 1974
- ③寺本松野：新装版 看護のなかの死 日本看護協会出版会 2001

参考文献：

- ・系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ第16版 医学書院 2015
- ・V. ヘンダーソン（湯楨ます他1名訳）：看護の基本となるもの 改訂版 日本看護協会出版会 2016
- ・薄井坦子：何がなぜ看護の情報なのか 日本看護協会出版会、1992
- ・薄井坦子：科学的看護論第3版（新装版） 日本看護協会出版会、2014

＜講義スケジュール＞

1	2017.	9.13	水	15:15～16:25	守屋治代	看護過程の構造と道筋 1	大教室
2		9.21	木	15:15～16:25	守屋治代	看護過程の構造と道筋 2	大教室
3		9.21	木	16:35～17:45	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 1 ：全体像の把握	
4		9.25	月	09:00～10:10	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 2 ：全体像の把握	大教室
5		9.29	金	09:00～10:10	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 3 ：全体像の把握	図書室
6		10.4	水	13:55～15:05	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 4 ：看護の必要性の分析	大教室
7		10.4	水	15:15～16:25	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 5 ：看護の必要性の分析	
8		10.11	水	13:55～15:05	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 6 ：看護の必要性の明確化	図書館 大教室
9		10.11	水	15:15～16:25	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 7 ：看護の必要性の明確化	
10		10.18	水	13:55～15:05	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 8 ：看護計画の立案	図書館
11		10.18	水	15:15～16:25	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 9 ：看護計画の立案	
12		10.23	月	13:55～15:05	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 10 ：看護計画の立案	
13		10.25	水	12:30～13:40	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 11 ：看護ケア計画の実施	実習室 図書館 大教室
14		10.25	水	13:55～15:05	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 12 ：看護ケア計画の実施	
15		10.25	水	15:15～16:25	守屋治代 _他 *	事例による看護過程展開の実際 13 ：看護ケア計画の評価	
16		10.30	月	09:00～10:10	守屋治代	事例による看護過程展開の実際 14 ：看護の評価	大教室
17	2018.	2.15	木	09:00～10:10	守屋治代	看護過程展開能力の自己評価 1	大教室
18		2.15	木	10:25～11:35	守屋治代	看護過程展開能力の自己評価 2	

* 菊池昭江、見城道子、加藤京里、小宮山陽子、北條由佳

[フィットネスの理論と実技]

科目責任者：大村英輔

目的

健康や生活と身体活動との関係、運動実践の理論及び方法を学び、生涯を通して心身ともに健康で充実した生き方をするための基本的な能力を身につけていくことを目的とする。

到達目標

1. 健康とは何かということについて説明できる。
2. 体力とは何かということについて説明できる。
3. いろいろな身体活動の違いを考えて運動実践することができる。
4. いろいろな身体活動を通して体力を高めることができる。
5. 生涯を通して自分の健康維持及び増進に身体活動を取り入れることができる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康と身体活動(講義)	1. 健康と身体及び精神 2. 身体活動と生活	1) 健康とは 2) 体力とは 1) 運動・スポーツとは 2) 運動と生活の関係とは
II. 基本的な運動	1. ストレッチング 2. ウォーキング 3. ジョギング 4. ランニング	1) セルフ・ストレッチング 2) パートナー・ストレッチング 1) ウォーキングフォーム 2) ウォーキングでダイエット 1) ジョギングフォーム 2) ジョギングでダイエット 1) ランニングフォーム 2) ランニングでダイエット
III. 体力を高める運動	1. 循環器トレーニング 2. 筋トレーニング 3. 神経トレーニング	1) 体力トレーニングの種類 2) 体力トレーニングの原則 3) 体力トレーニングの個別性
IV. 球技	1. ドッチボール 2. バレーボール 3. ソフトボール 4. 卓球 5. バドミントン 6. テニス	1) ドッチボールのゲーム 2) バレーボールのゲーム 3) ソフトボールのゲーム 4) 卓球のゲーム 5) バドミンントンのゲーム 6) テニスのゲーム

フィットネスの理論と実技

評価方法：

- ・ 年間を通しての出席および授業態度を中心に評価する。また、長期休暇やまとめ等の際にレポート課題を求める。このレポートも評価の対象とする。
- ・ 配点は出席 50%、態度およびレポートその他 50%とし、採点を行う。
- ・ 授業の性質上、欠席及び遅刻に関しては厳しく対処する。遅刻は3回で1回の欠席とする。
- ・ 基本的に全出席とする。また、授業回数の2/3以上の出席が単位認定の最低条件となる。
- ・ その他の細かい内容については授業時に随時説明する。

教科書：

なし。必要であればプリント配布を行う。

参考図書：

著者名	タイトル	出版社	出版年
	月刊【ランナーズ】各号	アールビーズ社	月刊誌
金哲彦	【金哲彦のウォーキング&スローラン】	高橋書店	2010

<講義スケジュール>

1	2017.	4.20	木	13:55~15:05	大村英輔	健康と身体活動（講義）①	大教室
2		4.20	木	15:15~16:25	大村英輔	健康と身体活動（講義）②	大教室
3		4.26	水	12:30~13:40	大村英輔	健康と身体活動（講義）③	大教室
4		4.26	水	13:55~15:05	大村英輔	健康と身体活動（講義）④	大教室
5		5.10	水	12:30~13:40	大村英輔	ストレッチング A	オーキッドホール
		5.10	水	13:55~15:05	大村英輔	ストレッチング B	オーキッドホール
6		5.17	水	12:30~13:40	大村英輔	ウォーキング A	オーキッドホール
		5.17	水	13:40~15:05	大村英輔	ウォーキング B	オーキッドホール
7		5.24	水	12:30~13:40	大村英輔	ジョギング A	野球場
		5.24	水	13:55~15:05	大村英輔	ジョギング B	野球場
8		5.31	水	12:30~13:40	大村英輔	ランニング A	野球場
		5.31	水	13:55~15:05	大村英輔	ランニング B	野球場
9		6.14	水	15:15~16:25	大村英輔	ドッジボール A	オーキッドホール
		6.14	水	16:35~17:45	大村英輔	ドッジボール B	オーキッドホール
10		6.21	水	12:30~13:40	大村英輔	バレーボール A	オーキッドホール
		6.21	水	13:55~15:05	大村英輔	バレーボール B	オーキッドホール
11		6.28	水	12:30~13:40	大村英輔	ソフトボール A	野球場
		6.28	水	13:55~15:05	大村英輔	ソフトボール B	野球場
12		7.5	水	12:30~13:40	大村英輔	ソフトボール A	野球場
		7.5	水	13:55~15:05	大村英輔	ソフトボール B	野球場
13		7.12	水	12:30~13:40	大村英輔	ソフトボール A	野球場
		7.12	水	13:55~15:05	大村英輔	ソフトボール B	野球場
14		9.19	火	15:15~16:25	大村英輔	ストレッチ・中間振り返り A	オーキッドホール
		9.19	火	16:35~17:45	大村英輔	ストレッチ・中間振り返り B	オーキッドホール
15		9.27	水	09:00~10:10	大村英輔	トレーニング B	オーキッドホール
		9.27	水	10:25~11:35	大村英輔	トレーニング A	オーキッドホール
16		10.4	水	09:00~10:10	大村英輔	トレーニング B	オーキッドホール
		10.4	水	10:25~11:35	大村英輔	トレーニング A	オーキッドホール
17		10.11	水	09:00~10:10	大村英輔	トレーニング B	オーキッドホール
		10.11	水	10:25~11:35	大村英輔	トレーニング A	オーキッドホール
18		10.18	水	09:00~10:10	大村英輔	ウォーキング&ジョギング B	野球場
		10.18	水	10:25~11:35	大村英輔	ウォーキング&ジョギング A	野球場
19		10.25	水	09:00~10:10	大村英輔	ウォーキング&ジョギング B	野球場
		10.25	水	10:25~11:35	大村英輔	ウォーキング&ジョギング A	野球場
20		11.1	水	09:00~10:10	大村英輔	ランニング B	野球場
		11.1	水	10:25~11:35	大村英輔	ランニング A	野球場

21		11.22	水	09:00~10:10	大村英輔	バレーボール B	オーキッドホール
		11.22	水	10:25~11:35	大村英輔	バレーボール A	オーキッドホール
22		12.6	水	09:00~10:10	大村英輔	卓球 B	オーキッドホール
		12.6	水	10:25~11:35	大村英輔	卓球 A	オーキッドホール
23		12.13	水	09:00~10:10	大村英輔	卓球 B	オーキッドホール
		12.13	水	10:25~11:35	大村英輔	卓球 A	オーキッドホール
24	2018.	1.10	水	09:00~10:10	大村英輔	バドミントン B	オーキッドホール
		1.10	水	10:25~11:35	大村英輔	バドミントン A	オーキッドホール
25		1.17	水	09:00~10:10	大村英輔	バドミントン B	オーキッドホール
		1.17	水	10:25~11:35	大村英輔	バドミントン A	オーキッドホール
26		1.24	水	09:00~10:10	大村英輔	テニス B	テニスコート
		1.24	水	10:25~11:35	大村英輔	テニス A	テニスコート
27		1.31	水	09:00~10:10	大村英輔	テニス B	テニスコート
		1.31	水	10:25~11:35	大村英輔	テニス A	テニスコート
28		2.7	水	09:00~10:10	大村英輔	ランニング&まとめ B	野球場
		2.7	水	10:25~11:35	大村英輔	ランニング&まとめ A	野球場

[英語 I-1A : チャレンジ・クラス]

科目責任者：設楽 靖子
 科目担当者：設楽 靖子

【目的】

英語 I-1Aは、英語能力を磨きたいという学習意欲の高い学生を対象にしている。Alverno College やHawaii Pacific University よりの交換学生を迎えた時の交流や、それらの大学への短期研修の時に、積極的に英語でコミュニケーションが図れるようになるための英語力を養う。さらに、大学院への進学、海外留学、海外での就職なども念頭に入れ、英語4技能 (Speaking, Listening, Reading, Writing) の総合的能力養成を目指す。

【到達目標】

1. さまざまな場面における簡単な日常英会話ができるようになる。
2. 自分や日本のことを紹介する英語のスピーチができる。
3. 物語の情景、登場人物の心境、などを深く読み取れるようになる。
4. パワーポイントを利用した英語によるプレゼンテーション能力を養成する。
5. 基本的な会話、簡単な説明を英語で聞きとれるようになる。(TOEIC のリスニング自習)

大項目	中項目	小項目
I.スピーキング	1. 英会話の基本表現を身につける	1) 様々な話題に関する会話表現を練習する (自己紹介、趣味、仕事、経験など) 2) 会話によく使用される文法の基礎を復習する
	2. 会話に自信を持つ	1) 友人と実際に英語で練習する 2) 何度も繰り返し練習する 3) 決まった表現が反射的に出るまで練習する。
	3. スピーチ・プレゼンテーション	1) 自分や家族、出身地について話す 2) 大東での生活や日本について話す 3) 英文でのパワーポイントの使い方に慣れる
II. リスニング	1. リスニング・ストラテジーの取得	1) 英語特有のリズム、発音のルールに慣れる 2) TOEIC にチャレンジすることによって、リスニングの向上をはかる
III. リーディング	1. ストーリーを読み込む	1) 物語の意味を把握する 2) 内容の背景、登場人物の心理状態を理解する
IV. ライティング	1. オーラル・プレゼンテーションのシナリオを書く	1) 物語の内容を自分の英文で書く 2) 調べた情報を英文で書く

成績評価の方法：

TOEIC 50%、実技テスト20%、Reading テスト 20%、提出物 10%

教科書：

仲谷 都 & John Pak 著 『Speaking in Public プレゼンテーションのための基礎英語』 成美堂 2009

塚田幸光 著 『Strike Up the TOIEC Test Listening 解法のコツを学ぶ TOIEC テストリスニング演習』

金星堂 2015

Lucy Maud Montgomery, *Anne of Green Gables*. Retold by Clare West. Oxford Bookworms Library. 2008

その他の資料は、適宜配布する

<講義スケジュール>

1	2017.	4.13	木	12:30~13:40	設楽靖子	オリエンテーション	大教室
2		4.13	木	13:55~15:05	設楽靖子	クラス分けとテスト/映画鑑賞	大教室 /情報実習室
3		4.27	木	12:30~13:40	設楽靖子	教科書 Unit 1 Introduction	大教室
4		4.27	木	13:55~15:05	設楽靖子	国際交流準備	情報実習室
5		5.11	木	12:30~13:40	設楽靖子	国際交流準備	情報実習室
6		5.11	木	13:55~15:05	設楽靖子	国際交流準備	情報実習室
7		5.18	木	12:30~13:40	設楽靖子	国際交流準備 (予行練習:合同)	大教室
8		5.18	木	13:55~15:05	設楽靖子	国際交流準備 (予行練習:合同)	大教室
9		5.25	木	12:30~13:40	設楽靖子	国際交流 (合同)	大教室
10		5.25	木	13:55~15:05	設楽靖子	国際交流 (合同)	大教室
11		5.25	木	15:15~16:25	設楽靖子	国際交流 (合同)	大教室
12		5.25	木	16:35~17:45	設楽靖子	国際交流 (合同)	大教室
13		6.8	木	12:30~13:40	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 1	大教室
14		6.8	木	13:55~15:05	設楽靖子	Unit 2 Talking about Hobbies	大教室
15		6.29	木	12:30~13:40	設楽靖子	会話テスト	大教室
16		6.29	木	13:55~15:05	設楽靖子	Unit 4 Talking about Places Summer Vacation プレゼン準備	大教室
17		9.14	木	12:30~13:40	設楽靖子	Summer Vacation プレゼン	大教室
18		9.14	木	13:55~15:05	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 2 TOEIC Listening Drill	大教室
19		9.28	木	13:55~15:05	設楽靖子	Unit 5 Telling Stories	大教室
20		9.28	木	15:15~16:25	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 3	大教室
21		10.12	木	12:30~13:40	設楽靖子	TOEIC Listening テスト①	情報実習室
22		10.12	木	13:55~15:05	設楽靖子	ハワイ研修帰国報告プレゼン	大教室
23		10.19	木	15:15~16:25	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 4	大教室
24		10.19	木	16:35~17:45	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 5	大教室
25		12.7	木	12:30~13:40	設楽靖子	<i>Anne</i> , Chapter 6	大教室
26		12.7	木	13:55~15:05	設楽靖子	Reading テスト	大教室
27		12.7	木	15:15~16:25	設楽靖子	プレゼン準備	情報実習室
28	2018.	1.18	木	12:30~13:40	設楽靖子	TOEIC Listening テスト② Final Presentation	情報実習室
29		1.18	木	13:55~15:05	設楽靖子	Final Presentation	情報実習室

[英語 I-1 : B, C]

科目責任者：設楽 靖子

科目担当者：宮原 葉、稲田 佳子

【目的】

自主学習の習慣をつけ、将来必要とされる英語の基盤を身につける。使える英語を念頭に、読む、書く、聞く、話す、の4技能の向上を目指す。5月に本学を訪問する Alverno College の学生との交流、8月に行われるハワイ短期留学などを念頭に入れ、スピーキングとリスニング力向上を図る。“Anne of Green Gables”を読みながら、物語を楽しむ経験を積む。TOEIC のリスニングのテキストを自習しながら聴解力の基礎を養う。

【到達目標】

1. 簡単な日常英会話ができる。
2. 簡単な英語の説明を理解できる。
3. 英語で簡単な発表ができる。
4. 簡単な物語を辞書を引かずに理解できる。

大項目	中項目	小項目
I. スピーキング	1. 英会話の基本表現を身につける	1) 様々な話題に関する会話表現を練習する 自己紹介、趣味、仕事、経験、日常生活 2) 会話によく使用される文法の基礎を復習する
	2. 会話を楽しむ	1) 友人と実際に英語で練習する 2) 何度も繰り返し練習する
	3. スピーチ・プレゼンテーション	1) 自分や家族について話す 2) ロールプレイ 3) 大勢の前で発表する
II. リスニング	1. リスニング・ストラテジーの取得	1) 英語特有のリズム、発音のルールに慣れる 2) TOEIC にチャレンジすることによって、リスニングの向上をはかる
III. リーディング	1. ストーリーを読み込む	1) 物語の意味を把握する
IV. ライティング	1. オーラル・プレゼンテーションのシナリオを書く	1) 調べた情報を英文で書く

成績評価の方法：

TOEIC 50%, 実技テスト 20%, reading テスト 20%、提出物 10%

教科書：

仲谷 都 & John Pak 著 『Speaking in Public プレゼンテーションのための基礎英語』 成美堂 2009

塚田幸光 著 『Strike up the TOEIC Test Listening 解法のコツを学ぶ TOEIC テストリスニング演習』

金星堂 2015

Lucy Maud Montgomery, *Anne of Green Gables*. Retold by Clare West. Oxford Bookworms Library. 2008

その他の資料は、適宜配布する

＜講義スケジュール＞

1	2017.	4.13	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	オリエンテーション	大教室	
2		4.13	木	13:55～15:05		クラス分けとテスト/映画鑑賞	大教室	
3		4.27	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	Unit 1 Introduction	B:視聴覚室 C:中教室	
4		4.27	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	国際交流準備	B:視聴覚室 C:中教室	
5		5.11	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	国際交流準備	B:視聴覚室 C:中教室	
6		5.11	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	国際交流準備	B:視聴覚室 C:中教室	
7		5.18	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	国際交流準備(予行演習:合同)	大教室	
8		5.18	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	国際交流準備(予行演習:合同)	大教室	
9		5.25	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	国際交流(合同)	大教室	
10		5.25	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	国際交流(合同)	大教室	
11		5.25	木	15:15～16:25	B 宮原 C 稲田	国際交流(合同)	B:視聴覚室 C:中教室	
12		5.25	木	16:35～17:45	B 宮原 C 稲田	国際交流(合同)	B:視聴覚室 C:中教室	
13		6.8	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	Unit 2 Talking about Hobbies	B:視聴覚室 C:中教室	
14		6.8	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	1. A surprise for Cuthbert	B:視聴覚室 C:中教室	
15		6.29	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	会話テスト/映画鑑賞	B:視聴覚室 C:中教室	
16		6.29	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	会話テスト/映画鑑賞	B:視聴覚室 C:中教室	
17		9.14	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	Report on Summer	B:視聴覚室 C:中教室	
18		9.14	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	Report on Summer	B, C: Conference room	
19		9.28	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	Unit 2 Talking about hobbies	B:視聴覚室 C:中教室	
20		9.28	木	15:15～16:25	B 宮原 C 稲田	1. A surprise for Cuthbert	B:視聴覚室 C:中教室	
21		10.12	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	TOEIC Listening テスト①	B, C: 大教室	
22		10.12	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	ハワイ研修帰国報告 プレゼンテーション	大教室	
23		10.19	木	15:15～16:25	B 宮原 C 稲田	Unit 3 Talking about people	B:視聴覚室 C:中教室	
24		10.19	木	16:35～17:45	B 宮原 C 稲田	映画鑑賞/プレゼン準備	大教室	
25		12.7	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	リーディングテスト	B:視聴覚室	
26		12.7	木	13:55～15:05	B 宮原 C 稲田	会話テスト/プレゼン準備	C:中教室	
27		12.7	木	15:15～16:25	B 宮原 C 稲田	会話テスト/プレゼン準備	B, C: Conference room	
28		2018.	1.18	木	12:30～13:40	B 宮原 C 稲田	TOEIC Listening テスト②	B, C: 大教室
29			1.18	木	13:55～15:05		Final presentation Final presentation	B:視聴覚室 C:中教室

[情報科学演習 I]

科目責任者：神山 暢夫

科目担当者：神山 暢夫、榊 建二郎、山下 桂、阿久津 里

【目的】

現在の社会においては、ITは教育、医療を含めて様々な分野で必須のものとなっており、PCなどにふれない日はない程となっている。情報科学演習 I ではPCを一般の文具と同様に取り扱えるようになる事を目的とする。さらに、医療、看護の分野における情報の保護、管理といった基本的な知識を身につけ、情報を自らの手で利用できるようにする事が目標である。

【到達目標】

1. PCで取り扱う情報の概念を理解する。
2. 情報を保護、管理する能力を身につける。
3. レポート、グラフ、図表の作成をPCで行える能力を身につける。

大項目	中項目	小項目
I. 情報と知識	1. 情報の概念	1) 情報と医療 2) 情報と看護 3) 情報の管理
II. 情報処理の基礎	1. 情報の収集	1) インターネットと検索
	2. 文章による情報処理	1) 日本語変換 2) 文字の修飾、レイアウト 3) 文章構成
	3. データの処理	1) 表の作成 2) 数値の処理と解析 3) グラフ
	4. 情報の統合	1) 図、グラフの作成 2) 図、グラフの処理

成績評価の方法：提出された課題の評価による（100%）

教科書：なし

参考図書：下村健一 10代からの情報キャッチボール入門 『使えるメディア・リテラシー』

岩波書店 2015年

<講義スケジュール>

1	2017	4.14	金	13:55~15:05	神山 暢夫	演習の概要、ポータル	大教室
2B		4.19	水	9:00~10:10	神山 暢夫	コンピュータの基本操作	情報実習室
2A	10:25~11:35			榎 建二郎			
3B		4.26	水	9:00~10:10	神山 暢夫	ウェブメール、インターネット	情報実習室
3A	10:25~11:35			榎 建二郎			
4B		5.10	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：日本語変換と文字入力	情報実習室
4A	10:25~11:35			神山 暢夫			
5B		5.17	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：文書作成	情報実習室
5A	10:25~11:35			神山 暢夫			
6B		5.24	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：文書レイアウトと装飾	情報実習室
6A	10:25~11:35			神山 暢夫			
7B		5.25	木	9:00~10:10	山下 桂	コンピュータを用いた情報収集 (1)	情報実習室
7A	10:25~11:35			阿久津 里			
8B		5.31	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：レポート作成	情報実習室
8A	10:25~11:35			神山 暢夫			
9B		6.7	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：レポートの保存、提出	情報実習室
9A	10:25~11:35			神山 暢夫			
10B		6.14	水	9:00~10:10	榎 建二郎	ワープロ：課題作成	情報実習室
10A	10:25~11:35			神山 暢夫			
11B		6.21	水	9:00~10:10	山下 桂	コンピュータを用いた情報収集 (2)	情報実習室
11A	10:25~11:35			阿久津 里			
12B		6.28	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：文字および数値の入力	情報実習室
12A	10:25~11:35			榎 建二郎			
13B		7.5	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：データの処理	情報実習室
13A	10:25~11:35			榎 建二郎			
14B		7.12	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：数式処理と応用	情報実習室
14A	10:25~11:35			榎 建二郎			
15		9.4	月	9:00~10:10	神山 暢夫	看護情報の管理と倫理	大教室
16B		9.6	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：グラフの作成と加工	情報実習室
16A	10:25~11:35			榎 建二郎			
17B		9.13	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：図や写真の処理	情報実習室
17A	10:25~11:35			榎 建二郎			
18B		9.20	水	9:00~10:10	神山 暢夫	表計算：課題作成 1	情報実習室
18A	10:25~11:35			榎 建二郎			

学 習 要 項

第2学年

2017



東京女子医科大学
看護学部

〔生体防御機構〕

科目責任者 八木 淳二
 科目担当者 八木 淳二、塚原 高広、柳沢 直子、
 加藤 秀人、ミヤケ深雪、芦野 滋、
 大坂 利文

目的

生体のまわりには様々な侵襲因子が存在し、生体に障害的に作用しようとしている。一方、生体側も種々の防御反応により生体を守ろうとしている。この「生体防御機構」では、主たる侵襲因子である病原微生物の基礎知識と感染症成立のメカニズム、免疫反応による生体の防御作用とその異常の基礎知識について学習する。

到達目標

微生物の種類と違いを説明できる。代表的な病原微生物の基本性状、病原性および疾患を概説できる。それらに抗する免疫システムの構成、機能、およびその破綻による生体異常反応を概説できる。

大項目	中項目	小項目
I. 微生物学		
A. 一般特性	1. 微生物の一般的性状	1) 分類と形態 2) 増殖のしかた 3) 病原因子
	2. 微生物の検査方法	1) 細菌学的検査法 2) 血清学的検査法 3) 迅速診断
	3. 環境と微生物	1) 身の回りに存在する微生物 2) 常在細菌叢 3) 食中毒
	4. 感染と発症	1) 感染の定義 2) 感染の経路 3) 発症の機構 4) 日和見感染・院内感染
	5. 微生物の取り扱いと規制	1) 消毒と滅菌 2) 感染症法
B. 病原微生物	1. 病原性細菌	1) グラム陽性菌（黄色ブドウ球菌、化膿レンサ球菌、肺炎球菌） 2) グラム陰性菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、コレラ菌、腸炎ビブリオ、緑膿菌、レジオネラ菌、百日咳菌） 3) 嫌気性菌（破傷風菌、ボツリヌス菌） 4) 有芽胞菌（炭疽菌） 5) 抗酸菌（結核菌、非定型抗酸菌） 6) スピロヘータ 7) リケッチア 8) クラミジア 9) マイコプラズマ

生体防御機構

大項目	中項目	小項目	
II. 免疫学	2. 病原性真菌	1) カンジダ 2) アスペルギルス 3) クリプトコッカス	
	3. 病原性ウイルス	1) DNA ウイルス (痘瘡ウイルス、単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、サイトメガロウイルス) 2) RNA ウイルス (ポリオウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイルス、インフルエンザウイルス、ムンプスウイルス、麻疹ウイルス) 3) 肝炎ウイルス 4) レトロウイルス (ヒト免疫不全ウイルス)	
	1. 免疫応答	1) 自然免疫と獲得免疫 2) 液性免疫と細胞性免疫 3) 受動免疫と能動免疫	
	2. 免疫担当細胞		
	3. 抗原と抗体		
	4. ワクチンと予防接種		
	5. 免疫反応の異常	1) アレルギー疾患 2) 自己免疫疾患 3) 免疫不全症	
	III. 寄生虫学	1. 寄生虫感染症	1) 原虫 (マラリア、赤痢アメーバ、トキソプラズマ、クリプトスポリジウム、ジアルジア) 2) 吸虫 (肺吸虫) 3) 線虫 (アニサキス、回虫) 4) 条虫 (日本海裂頭条虫)

成績評価の方法：出席日数（10%）筆記試験結果（60%）実習レポート（30%）により総合的に評価する。

教科書

南嶋洋一、吉田真一 著 系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院 2014
疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学（第12版）

参考図書

吉田幸雄、有菌直樹 図説人体寄生虫学 改訂第9版 南山堂 2016
矢田純一 著 医系免疫学 改訂 第13版 中外医学社 2013
医療情報科学研究所 編 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 メディックメディア 2009
矢野郁也_他 編 病原微生物学 東京化学同人 2002

<講義スケジュール>

1	2017. 5.19	金	12:30~13:40	八木 淳二	微生物学総論、免疫学総論
2	5.25	木	10:25~11:35	芦野 滋	グラム陰性菌
3	5.30	火	12:30~13:40	塚原 高広	寄生虫感染症
4	6. 1	木	12:30~13:40	柳沢 直子	グラム陽性菌、マイコプラズマ、リケッチア、真菌
5	6.16	金	12:30~13:40	大坂 利文	DNAウイルス、RNAウイルス
6	6.21	水	12:30~13:40	柳沢 直子	肝炎ウイルス、レトロウイルス
7	6.22	木	10:25~11:35	加藤 秀人	ワクチンと予防接種、感染症法
8	6.29	木	10:25~11:35	ミヤケ深雪	免疫応答、過敏症、免疫不全
9	7. 4	火	13:55~15:05	八木 淳二 ^{他*}	検査、実験手技、標本の観察(1)
10	7. 6	木	12:30~13:40	八木 淳二 ^{他*}	検査、実験手技、標本の観察(2)
	7.11	火	10:25~11:35	八木 淳二	試験

※八木 淳二、柳沢 直子、加藤 秀人、ミヤケ深雪、芦野 滋、大坂 利文
中央校舎7階700教室（医学部校舎）にて授業をおこないます。

〔薬理学〕

科目責任者 丸 義朗

科目担当者 平塚(中村)佐千枝、塚原富士子

富田 毅、出口 敦子、家口 勝昭、

瀧田 守親

目的

最適な薬物療法を行うための基礎的知識の修得を目的とする。薬物と生体の反応、特に薬物の作用と副作用、そして各種の薬物の特徴等について述べる。また病態がどのように正常化されるかを生体の機能との関連で追求し、薬物を正しく用いる基礎知識を理解する。

到達目標

主要な薬物の生体における作用点、作用機序を理解する。

薬物の生体における代謝を理解する。

薬物の重大な副反応を理解、記憶する。

病態や症状の緩和、治癒の為の適応すべき薬物を理解する。

大項目	中項目	小項目
I. 薬物と生体の相互作用	1. 生体と薬物概論	1) 薬の概念 a) 薬の歴史 b) 薬の種類、薬局方 c) 薬と法律 2) 薬理作用 a) 薬理作用の基本形式（興奮、抑制等） b) 作用部位 c) 作用の選択性、特異性 d) 主作用、副作用、有害作用
	2. 薬物の作用機序	1) 薬物受容体 2) 薬物の構造活性相関 3) 細胞内情報伝達系 4) 受容体を介さない作用
	3. 用量と反応の関係	1) 治療量、致死量（ED ₅₀ 、LD ₅₀ ） 2) 毒薬、劇薬、普通薬 3) 用量－反応曲線
	4. 薬効に影響する因子	1) 用量、投与方法 2) 年齢、性 3) プラセボ 4) 感受性 5) 薬物相互作用 6) 耐性・依存性
	5. 薬物の体内動態	1) 薬物血中濃度 2) 吸収 3) 体内分布 4) 薬物代謝 5) 排泄

大項目	中項目	小項目
II. 薬物の作用と作用機序	1. 中枢神経作用薬	1) 全身麻酔薬 2) 催眠薬、抗不安薬 3) 抗精神病薬、抗うつ薬 4) パーキンソン症候群治療薬 5) 抗てんかん薬 6) 麻薬性鎮痛薬
	2. 末梢神経作用薬	1) 交感神経作用薬 2) 副交感神経作用薬 3) 神経節作用薬 4) 筋弛緩薬 5) 局所麻酔薬
	3. 生理活性物質	1) ヒスタミン 2) セロトニン 3) アンジオテンシン 4) エイコサノイド
	4. 循環器系作用薬	1) 強心薬 2) 抗狭心症薬 3) 抗不整脈薬 4) 抗高血圧薬
	5. 利尿薬	1) 浸透圧利尿薬 2) 炭酸脱水酵素阻害薬 3) チアジド系利尿薬 4) ループ利尿薬 5) カリウム保持性利尿薬
	6. 子宮収縮薬	1) オキシトシン 2) プロスタグランジン 3) 麦角アルカロイド
	7. 消化器系作用薬	1) 消化薬 2) 消化性潰瘍治療薬 3) 下剤 4) 催吐薬、制吐薬
	8. 呼吸器作用薬	1) 呼吸興奮薬 2) 鎮咳薬、去痰薬 3) 気管支喘息治療薬
	9. ホルモン・ビタミン	1) フィードバック機構 2) ホルモン作用と情報伝達 3) 下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモン、性ホルモン、膵臓ホルモン、カルシウム調節ホルモン、他
	10. 化学療法薬	1) 抗感染症薬、消毒薬 2) 抗腫瘍薬

成績評価の方法：試験（100％）で評価する。

教科書

中谷晴昭、大橋京一	薬とのかかわり：臨床薬理学 (シリーズ看護の基礎科学 第7巻)	日本看護協会出版会	2001
-----------	------------------------------------	-----------	------

参考図書

鹿取 信 監 今井 正、宮本英七 編	標準薬理学 第7版	医学書院	2015
田中千賀子、加藤隆一	NEW 薬理学 改訂第6版	南江堂	2011
遠藤 仁、橋本敬太郎、後藤勝年	医系薬理学 改訂2版	中外医学社	2005
柳沢輝行、谷内一彦	新薬理学入門 改訂3版	南山堂	2008
日本薬局方解説書編集委員会 編	日本薬局方解説書 第16改正	廣川書店	2011

薬理学

〔薬理学〕

科目責任者 丸 義朗
科目担当者 志賀 剛

目的

医療は絶えず進歩しており、新しい作用機序の薬が次々と創り出されている。しかし、新薬に対して正しい評価を行うために、臨床試験が不可欠である。その倫理的側面と科学的側面を学ぶ。また、Research Nurse といった臨床試験における看護師の役割にも触れる。

到達目標

ヘルシンキ宣言の骨子を理解する。
臨床研究と日常診療の違いを理解する。
治験の目的を説明できる。

大項目	中項目	小項目
薬物と生体の相互作用	生体と薬物概論	医薬品の開発と臨床試験

成績評価の方法：試験（100％）で評価する。

教科書

講義資料を配布します。

参考図書

中谷晴昭、大橋京一	薬とのかかわり：臨床薬理学 (シリーズ看護の基礎科学 第7巻)	日本看護協会出版会	2014
日本臨床薬理学会 編	臨床薬理学 第3版	医学書院	2011

〔薬理学〕

科目責任者 丸 義朗
 科目担当者 木村 利美

目的

医薬品の特性から、取り扱いが法的に規制されている医薬品の正しい知識を修得する。また、病院内での具体的な管理方法についても理解する。また、薬害問題について学び、その原因、重大性、防止対策に関して習得する。

到達目標

1. 薬品の法的区分を理解して、薬品の管理・取り扱い方法について説明ができる
2. 有害事象発現時における患者補償制度について説明できる
3. 重大な副作用について、防止のための患者指導ができる
4. 薬害とともに生きてきた被害者の体験を理解する。
5. 薬害被害者とその家族にとって、もたらされた心理や健康被害について概説できる。
6. 薬害被害に対する医療者としての課題を記述できる。

大項目	中項目	小項目
I. 医薬品と法	1. 薬事法による規制	1) 毒薬、劇薬、普通薬の区別と管理 2) 処方せん医薬品、習慣性医薬品、生物由来製品、特定生物由来製品の区分と管理
	2. 麻薬および向精神薬取締法による規制	1) 麻薬の特性と種類 2) 麻薬施用者免許と麻薬処方せん 3) 麻薬の管理 4) 向精神薬の特性と種類 5) 向精神薬の管理
	3. 覚せい剤取締法による規制	1) 覚せい剤の特性と種類 2) 覚せい剤の管理
II. 薬害問題	1. 薬の副作用と薬害	1) 総論 2) 薬の有効性と安全性情報
	2. 薬害の歴史	1) 事例研究
	3. 薬害防止対策	1) 医療倫理と薬害 2) 再発等防止システム 3) 重篤副作用疾患別対応
	4. 薬害が被害者および家族にもたらすもの	1) 薬害被害者の心理 2) 薬害被害遺族の心理および健康被害 3) 薬害被害者に対する偏見と差別 4) 社会的支援について 5) 薬害被害者および家族への支援

成績評価の方法：成績評価の方法：試験（100％）で評価する。

教科書：なし

<講義スケジュール>

1	2017. 4.10	月	10:25~11:35	塚原富士子	総論1 薬とは、薬理作用
2	4.17	月	9:00~10:10	志賀 剛	医薬品臨床試験とCRCの役割
3	4.17	月	10:25~11:35	塚原富士子	総論2 薬物の体内動態、相互作用
4	4.18	火	16:35~17:45	塚原富士子	AL:薬理総論
5	4.24	月	10:25~11:35	富田 毅	末梢神経作用薬1 神経伝達、交感神経系
6	5. 8	月	10:25~11:35	富田 毅	末梢神経作用薬2 副交感神経系
7	5.15	月	10:25~11:35	富田 毅	中枢神経作用薬1 麻薬鎮痛薬、局所麻酔薬
8	5.18	木	10:25~11:35	木村 利美	講演会 (薬害被害者の体験)
9	5.18	木	12:30~13:40	木村 利美	薬害について考える - WS -
10	5.22	月	10:25~11:35	塚原富士子	中枢神経作用薬2
11	5.25	木	12:30~13:40	木村 利美	薬害問題と防止対策 (薬害問題)
12	5.25	木	13:55~15:05	木村 利美	医薬品の規制区分と取り扱い (医薬品と法)
13	5.30	火	16:35~17:45	富田 毅	AL:末梢中枢神経系 作用薬
14	6. 5	月	10:25~11:35	出口 敦子	循環器系作用薬
15	6.12	月	10:25~11:35	出口 敦子	血液系作用薬、利尿薬
16	6.19	月	10:25~11:35	出口 敦子	消化器作用薬
17	6.23	金	16:35~17:45	出口 敦子	AL:循環器系 血液系 作用薬
18	7. 3	月	10:25~11:35	平塚佐千枝	中間試験
19	9.11	月	10:25~11:35	家口 勝昭	ホルモンと薬1
20	9.25	月	10:25~11:35	家口 勝昭	ホルモンと薬2 子宮収縮薬
21	10. 2	月	10:25~11:35	家口 勝昭	炎症と薬
22	10.10	火	16:35~17:45	家口 勝昭	AL:抗炎症薬
23	10.16	月	10:25~11:35	瀧田 守親	免疫と薬、オータクト` (プロスタグランジン、ヒスタミン、セロトニン)
24	10.23	月	10:25~11:35	瀧田 守親	感染症と薬
25	10.30	月	10:25~11:35	瀧田 守親	呼吸器作用薬
26	11. 2	木	16:35~17:45	瀧田 守親	AL:呼吸器系 免疫系 作用薬
27	11. 6	月	10:25~11:35	平塚佐千枝	悪性腫瘍と薬、消毒薬
28	11.16	木	15:15~16:25	平塚佐千枝	AL:抗悪性腫瘍薬
	11.20	月	10:25~11:35	平塚佐千枝	試験

〔精神看護学・概論〕

科目責任者 田中美恵子

科目担当者 田中美恵子、小山 達也、異儀田はづき、
飯塚あつ子、徳田 由希、濱田 由紀

目的

主に人間の精神の構造と機能、精神科医療に関する法制度について理解することにより、精神の健康の保持増進、精神の健康障害の予防、および一旦精神障害を来した人々に対する看護の基礎となる理論や知識を学習する。

到達目標

1. 精神看護の目的、機能、倫理について説明できる。
2. 精神障害者へのセルフケア看護について説明できる。
3. 心の構造と働き、および生物的観点から心を理解し、心理・社会的な発達について説明できる。
4. 現代社会におけるストレス、および災害時のメンタルヘルスの問題と援助について理解し説明できる。
5. 精神科医療や精神看護の歴史を理解し、関連法規ならびに制度について説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 精神看護学とは	1. 精神看護の目的と機能	1) 精神看護の目的・機能 2) 精神看護における倫理 3) 精神障害者へのセルフケア看護
II. 精神保健論	1. 心の理解	1) 心の構造と働き
	2. 心の成長発達	1) ライフステージと心身の発達 2) 心理・社会的発達と危機
	3. 精神保健と環境・社会	1) 現代社会とストレス 2) 災害時のメンタルヘルス
III. 歴史および法と制度	歴史および法と制度の理解	1) 精神科医療と看護の歴史 2) 法と制度の動向と現状

評価方法

出席状況 10%、課題提出 90%により総合的に評価する

教科書

田中美恵子 編著 「精神看護学第2版」 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 2015

参考図書

講義中に適宜紹介する

＜講義スケジュール＞

1	2017.11.13	月	12:30～13:40	田中美恵子	精神看護の目的と機能
2	11.20	月	12:30～13:40	飯塚あつ子	精神障害者へのセルフケアの看護
3	11.21	火	12:30～13:40	異儀田はづき	心の構造と働き
4	11.22	水	12:30～13:40	飯塚あつ子	心の成長発達
5	11.22	水	13:55～15:05	濱田 由紀	歴史および法と制度の理解1
6	11.28	火	13:55～15:05	濱田 由紀	歴史および法と制度の理解2
7	11.29	水	10:25～11:35	小山 達也	現代社会とストレス
8	11.30	木	13:55～15:05	小山 達也	災害時のメンタルヘルス
9	11.30	木	15:15～16:25	田中美恵子 _{他*}	グループワーク
10	12.14	木	9:00～10:10	田中美恵子 _{他*}	グループワーク

*:田中美恵子、小山達也、異儀田はづき、飯塚あつ子、徳田由希、濱田由紀担当

〔成人看護学・各論Ⅱ（専門領域の探求）〕

科目責任者 原 三紀子

科目担当者 原 三紀子、小泉 雅子、原 美鈴
三浦美奈子、小林 礼実、鈴木香緒理
峯川美弥子、那須実千代、河合 育世

目的

成人看護学における専門領域の考え方や看護実践について理解する。

到達目標

1. がんの病態と治療および治療を受ける対象者の特性と看護について説明できる
2. クリティカルな状況下にある対象者の病状アセスメントと看護について説明できる
3. 救急医療の概要、救急看護を受ける対象者と看護の理解および包帯法や一次救命処置に関する基本技術を実施できる
4. 災害医療の概要および看護の役割について説明できる
5. 緩和ケアおよび終末期の概念、倫理、身体・精神症状とマネジメントおよび、緩和ケアの対象者の特性とその看護について説明できる

大項目	中項目	小項目
I. がん看護	1. がん看護概論	1) がんという病気 2) 人口動態とがん 3) がん対策基本法 4) がん看護の特徴
	2. がんの病態と治療の特徴	1) がんの病態の特性 2) がんの診断と治療
	3. 治療を受ける対象者の看護	1) 手術療法と看護 2) 化学療法と看護 3) 放射線療法と看護 4) 代替補完療法
	4. がんサバイバーシップ	1) がんサバイバーシップの概念 2) がんサバイバーへの支援
II. クリティカルケア看護	1. クリティカルケアの概念	1) クリティカルケアとは 2) クリティカルケア看護の特徴
	2. クリティカルな状況下にある対象者の特徴と看護	1) 侵襲のある治療を受けた対象者の病態および身体侵襲の理解 2) 病状アセスメントと看護
III. 救急看護	1. 救急医療の概要	1) 救急医療システム 2) 一次救命処置、二次救命処置、三治救命処置 3) ER、ドクターヘリ 4) 救急医療におけるチームアプローチ など
	2. 救急看護を受ける対象の特徴と看護実践	1) 救急医療を受ける患者家族の特徴と看護 2) ICU の環境と精神的なケア 3) 救急搬送された患者への看護（事例） 4) 急性期型終末期を迎えた患者家族への看護

成人看護学・各論Ⅱ

大項目	中項目	小項目
IV. 災害看護	1. 災害医療の概要	1) 災害医療システム 2) 災害医療の緊急対応の三原則
	2. 災害医療における看護の役割	1) トリアージ 2) 災害時の医療活動における他職種との協働
V. 緩和ケア	1. 緩和ケアの概念と歴史	1) 歴史とその概念 2) トータルペインの理解と看護の役割
	2. 緩和ケアに関連した倫理的課題とチームアプローチ	1) 治療の意思決定 2) 鎮静（セデーション） 3) アドバンスディレクティブ
	3. 身体・精神症状とマネジメント	1) 身体・精神症状・つらさのアセスメントとマネジメント
	4. 緩和ケアの具体的アプローチ	1) 緩和ケアにおけるコミュニケーション 2) ライフレビューインタビュー 3) デイグニティセラピー 4) 緩和ケアにおける認知行動療法
	5. 終末期の概念、臨死期にある対象者とその家族への支援	1) 終末期と死の概念 2) 終末期の倫理的課題 3) 死の徴候と臨死期における看護 4) 看取りとグリーフケア
	6. 緩和ケアを必要とする対象者の理解と看護	1) 事例検討

成績評価の方法：筆記試験 60%、演習・演習レポートおよび課題提出 40%

教科書

特に使用せず、随時必要な資料を配布する

参考図書

小松浩子 _他	系統看護学講座 別巻 がん看護学（第2版）	医学書院	2017
今井浩三編集	看護のための最新医学講座 24 腫瘍の臨床	中山書店	2008
近藤まゆみ _他 編	がんサバイバーシップ	医歯薬出版	2006
中谷寿男 編集	看護のための最新医学講座 25 救急	中山書店	2007
山勢博彰 編集	救急看護論	ヌーヴェルヒロカワ	2005
矢永勝彦 _他 編	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 第10版	医学書院	2011
小原真理子 _他 監修	災害看護 心得ておきたい基本的な知識 改訂2版	南山堂	2012
丸山征四郎 編著	経験から学ぶ大規模災害医療 対応・活動・処置	永井書店	2007
小川節郎 _他	緩和医療	東京大学出版会	2010
宮下光令編集	緩和ケア ナーシング・グラフィック成人看護学⑥ 第2版	メディカ出版	2016

<講義スケジュール>

1	2017. 4.27	木	10:25～11:35	原 美鈴	がん看護1
2	4.28	金	15:15～16:25	原 美鈴	がん看護2
3	5.16	火	13:55～15:05	原 美鈴	がん看護3
4	6. 1	木	13:55～15:05	原 美鈴	がん看護4
5	6. 6	火	9:00～10:10	原 美鈴	がん看護5
6	6.16	金	13:55～15:05	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護1
7	6.16	金	15:15～16:25	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護2(演習:TBL)
8	6.22	木	12:30～13:40	峯川美弥子	災害看護1
9	6.22	木	13:55～15:05	原 美鈴	がん看護6
10	6.26	月	12:30～13:40	原 美鈴	がん看護7
11	6.27	火	16:35～17:45	峯川美弥子	災害看護2
12	6.30	金	15:15～16:25	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護3(演習:TBL)
13	6.30	金	16:35～17:45	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護4(演習:TBL)
14	7.14	金	15:15～16:25	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護5(演習:TBL)
15	7.14	金	16:35～17:45	小林 礼実 ^{他*1}	クリティカルケア看護6(演習:TBL)
16	9.28	木	16:35～17:45	峯川美弥子	救急看護1
17	9.29	金	16:35～17:45	原 美鈴	緩和ケア1
18	10. 2	月	16:35～17:45	河合 育世	緩和ケア2
19	10. 5	木	16:35～17:45	峯川美弥子	救急看護2
20	10.11	水	15:15～16:25	河合 育世	緩和ケア3
21	10.11	水	16:35～17:45	峯川美弥子	救急看護3
22	10.12	木	16:35～17:45	河合 育世	緩和ケア4
23	10.16	月	9:00～10:10	河合 育世	緩和ケア5
24	10.16	月	15:15～16:25	峯川美弥子 ^{他*2}	救急看護4(演習)
25	10.16	月	16:35～17:45	峯川美弥子 ^{他*2}	救急看護5(演習)
26	10.19	木	15:15～16:25	原 美鈴	緩和ケア6
27	10.23	月	9:00～10:10	原 美鈴 ^{他*3}	緩和ケア7(事例検討)
28	10.24	火	16:35～17:45	原 美鈴 ^{他*3}	緩和ケア8(事例検討・発表)
	10.25	水	10:25～11:35	原 三紀子	試験

*1:小林礼実、峯川美弥子

*2:峯川美弥子、原 三紀子、小泉雅子、原 美鈴、三浦美奈子、小林礼実、鈴木香緒理、那須実千代、河合育世

*3:原 美鈴、河合育世

〔成人看護学実習 I〕

科目責任者 小泉 雅子
科目担当者 小泉 雅子、原 三紀子、原 美鈴、
三浦美奈子、小林 礼実、鈴木香緒理、
峯川美弥子、那須実千代、河合 育世

目的

健康問題をもった対象者をとらえ、根拠に基づいて看護する。また、大学病院の医療環境を理解する。

到達目標

1. 学内演習において基本的な看護技術を実施し、安全安楽の視点から振り返ることができる
2. 病棟、外来、手術室、集中治療室の構造と管理体制、対象者および治療・看護の特徴を理解することができる
3. 疾患・検査・治療について理解し、それらが対象者に及ぼす影響について記述することができる
4. 以下について実施することができる
 - 1) フィジカルアセスメントやカルテの閲覧、コミュニケーションなど、さまざまな方法を用いて看護に必要な情報を得ることができる
 - 2) 看護理論を用いて、身体的・心理的・社会的視点から対象者をアセスメントすることができる
 - 3) アセスメントした事柄の関連性を図式化し、顕在的・潜在的看護問題を把握、記述することができる
 - 4) 看護の方向性をふまえ、看護目標を設定し、看護計画を立案することができる
 - 5) 看護師および担当教員の指導のもと、安全・安楽に配慮しながら対象者の状態をふまえた看護援助を実施することができる
 - 6) 実施した看護について、対象者の反応をとらえ、対象者に及ぼした影響を振り返り、記述することができる
5. 行動計画および実施した看護、自分の考えについて、看護師および担当教員に報告、相談することができる
6. 積極的に実習に取り組み、他者の意見を尊重し、学びを深めることができる
7. 医療人として、事故防止・安全・感染予防・生命の尊厳とプライバシーの保護の責任など、倫理的姿勢・態度について考えることができる
8. 実習を振り返り、看護者として成長していくための今後の課題を見出し、述べることができる
9. 実習での学びについて、設定したテーマに沿って論理的に記述できる

大 項 目	中 項 目	小 項 目
健康問題をもった対象者をとらえ、根拠に基づいて看護する。また、大学病院の医療環境を理解する。	1. 病棟、外来、手術室、集中治療室の構造、管理体制、対象者および治療・看護の概要を知る。	1) 病棟、外来、手術室、集中治療室の構造、管理体制 2) 対象者、疾患、検査、治療 3) 看護師の役割と看護の特徴
	2. 様々な治療を受ける対象者のアセスメントを行い、看護の必要性を理解し、計画・実施し、評価する。	1) 疾患、検査および治療の理解とそれらが対象者に及ぼす影響 2) フィジカルアセスメントやカルテの閲覧、コミュニケーションなど、さまざまな方法を用いた情報収集 3) 看護理論の枠組みを用いたアセスメント 4) アセスメントした事柄の関連性を図式化、看護問題の把握 5) 看護の方向性を踏まえた看護目標の設定、看護計画立案 6) 安全・安楽に配慮した看護援助の実施 7) 対象者の反応を踏まえた評価
	3. 学びについて論理的に記述する。	1) 実施した看護および対象者に及ぼした影響の振り返り 2) 学びの論理的記述
	4. より良い看護を提供するために、看護学生としての自己を振り返る。	1) 行動計画、実施した看護の報告、相談 2) カンファレンスへの積極的な参加 3) 看護学生としての自己の振り返り、課題の言語化、記述

実習方法

少人数のグループに分かれ、1人以上の対象者を受け持ち、指導者と共に看護を実践する。

成績評価の方法

出席日数・実習目標到達度（100%）により総合的に評価する

教科書

特に指定せず、随時必要な資料を配布する。

成人看護学実習 I

<講義スケジュール>

A、Bグループ共通

2017.12.1(金)	9:00～16:00	実習オリエンテーション
2017.12.4(月)～12.13(水)、 12.15日(金)	9:00～16:00	外来・手術室・集中治療室・技術演習

Aグループ

2018.1.11(木)～1.24(水)		病棟実習
----------------------	--	------

Bグループ

2018.1.29(月)～2.13(火)		病棟実習
----------------------	--	------

*上記日程担当者：小泉雅子、原三紀子、原美鈴、三浦美奈子、小林礼実
鈴木香緒理、峯川美弥子、那須実千代、河合育世

〔母性看護学・概論〕

科目責任者 小川久貴子

科目担当者 小川久貴子、土江田奈留美、鈴木小弥香

目的

女性のライフステージを通じた母性看護学が担う責務・活動内容と今後の課題を理解し、ヘルスケアについて学習する。

到達目標

1. 母性看護学の特性および展望を述べることができる。
2. 現代社会における女性の取り巻く事象を多角的に解釈できる。
3. 女性のライフステージにおけるホルモンの変化と身体的変化について述べるができる。
4. 更年期・老年期の女性の特性とヘルスケアについて述べるができる。
5. 思春期における女性の特性とヘルスケアについて述べるができる。
6. 女性のライフステージにおける家族計画の特性と支援について述べるができる。

大項目	中項目	小項目
I.母性看護学概論	1. 母性看護学の特性および展望	1) 母性とは 2) 母性看護学の意義・役割 3) 母性看護学の課題 4) 女性を取り巻く社会 5) 世界の人口動態と母子保健
II.女性のライフステージ	1. 女性のホルモン変化と身体的変化	1) 女性の生涯各期におけるホルモンの変化と身体の変化
	2. 思春期	1) 思春期とは 2) 思春期の特性 3) 思春期の発達課題と健康教育
	3. 更年期・老年期	1) 更年期・老年期とは 2) 更年期・老年期の特性 3) 更年期・老年期の発達課題と健康教育
	4. 現代女性を取り巻く事象	1) 外国人妊産婦 2) ドメスティック・バイオレンス 3) 母性看護学における倫理の問題
	5. 家族計画	1) 家族計画の理念 2) 家族計画の特性と支援 3) 受胎調節法の種類と具体的方法

評価方法

試験結果で100%評価を行う

教科書

森恵 美_他 編著

系統看護学講座 専門分野II 母性看護学概論 第13版

医学書院

2016

＜講義スケジュール＞

1	2017. 9.11	月	13:55～15:05	小川久貴子	母性（女性）看護学の概念および特徴
2	9.11	月	15:15～16:25	土江田奈留美	世界の人口動態と母子保健
3	9.12	火	12:30～13:40	小川久貴子	女性の生涯各期におけるホルモンと身体の変化
4	9.13	水	13:55～15:05	土江田奈留美	母性看護における諸問題（外国人、DV、不妊治療など）
5	9.15	金	16:35～17:45	小川久貴子	思春期の健康問題と健康教育
6	9.19	火	12:30～13:40	小川久貴子	更年期・老年期の健康問題と健康教育
7	9.20	水	12:30～13:40	土江田奈留美	母性看護における諸問題（外国人、DV、不妊治療など）
8	9.22	金	9:00～10:10	鈴木小弥香	家族計画
9	9.22	金	10:25～11:35	鈴木小弥香	家族計画
10	9.29	金	12:30～13:40	土江田奈留美	母性看護における諸問題（外国人、DV、不妊治療など）
	10. 5	木	10:25～11:35	小川久貴子	試験

〔小児看護学・概論〕

科目責任者 日沼 千尋

科目担当者 日沼 千尋、関森みゆき、奥野 順子、
櫻田 章子、酒井 麻希

目的

小児看護の概要を理解し、看護の対象である子どもの成長・発達の特徴を、生活行動の視点から学ぶ。

到達目標

1. 小児看護の概要（目的、対象、場、方法、関連職種）について説明することができる。
2. 社会における子どもの位置づけについて、文化、法律、社会保障制度、教育の視点から説明することができる。
3. 権利の主体者としての子どもの捉え方と子どもの権利を守る看護について説明することができる。
4. 子どもの成長・発達の原則と理論、発達に関する評価について説明することができる。
5. 生活行動における子どもの成長・発達の特徴について説明することができる。

大項目	中項目	小項目
I. 小児看護の概要	1. 小児看護とは	1) 小児看護の目的 2) 小児看護の対象と場 3) 小児看護に関わる職種 4) 小児看護の特殊性 5) 小児看護学における子どもの捉え方
	2. 社会における子どもの位置づけ	1) 歴史的な位置づけ 2) 法的な位置づけ
	3. 子どもの権利と小児看護	3) 地域社会・家庭における位置づけ 1) 子どもの意思決定と看護 2) 子どもの最善の利益を守る看護
II. 子どもの成長・発達と生活行動	1. 成長・発達とは	1) 成長・発達の概念 2) 成長・発達の一般的な原則 3) 成長・発達に影響を与える因子 4) 発達段階と発達課題 5) 発達理論 6) 発達評価と環境評価
	2. 子どもの生活行動と成長・発達の特徴	1) 動く 2) 眠る 3) 食べる 4) 排泄する 5) 身だしなみを整える 6) 見る・聞く・話す 7) 感じる・考える 8) 人と関わる 9) 遊ぶ・学ぶ 10) 女らしさ・男らしさ

評価方法

試験 60%、グループ活動およびその成果（ピア評価を含む）40%の割合にて評価する。

*詳細はガイダンスにて説明する

教科書

松尾宣武、濱中喜代 編	新体系看護学全書小児看護学① 小児看護概論・小児保健 第5版	メヂカルフレンド社	2014
-------------	-----------------------------------	-----------	------

参考図書

松尾宣武、濱中喜代 編	新体系看護学全書小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 第5版	メヂカルフレンド社	2014
-------------	------------------------------------	-----------	------

<講義スケジュール>

1	2017. 9.26	火	9:00～10:10	日沼 千尋	ガイダンス、小児看護学の理念・小児看護の概要
2	9.28	木	13:55～15:05	関森みゆき [*] _他	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 1 (グループ活動)
3	10. 6	金	12:30～13:40	関森みゆき	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 2
4	10. 6	金	13:55～15:05	関森みゆき [*] _他	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 3 (グループ活動)
5	10.23	月	15:15～16:25	関森みゆき [*] _他	A L (グループ活動)
6	10.23	月	16:35～17:45	関森みゆき [*] _他	A L (グループ活動)
7	11.15	水	10:25～11:35	関森みゆき [*] _他	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 4 (プレゼンテーション)
8	11.15	水	12:30～13:40	関森みゆき [*] _他	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 5 (プレゼンテーション)
9	11.16	木	13:55～15:05	関森みゆき [*] _他	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 6
10	11.17	金	12:30～13:40	関森みゆき	子どもの生活行動と成長・発達の特徴 7
	11.22	水	10:25～11:35	日沼 千尋	試験

* 関森みゆき、奥野順子、櫻田章子、酒井麻希、日沼千尋

〔教職入門〕

科目責任者 益井 明子

目的

「教師」という職業は、独自の専門職性を有するものである。そこで本科目では、教職を志望するものとして、教職の意義や教師の専門性、職務内容などについて理解することを目的とする。また、教師の実践の場である学校が、社会との関わりのなかでいかなる形態、構造、機能を有しているのかについて考察し、「生徒」の立場では見えなかった教師の職務に関する多面的な視座について学ぶ。

到達目標

教師を取り巻く状況が刻々と変化するなか、生徒の成長に大きな責任を担う存在として、教師はいかなる資質を備えるべきか、また、学び、成長し続ける存在として教師はいかにあるべきか、常に問い続ける姿勢を養うことができる。

大項目	中項目	小項目
I. 教師とは	1. 専門職としての教師	1) 教員養成課程の意義 2) 「教員免許状」とは 3) 「教職」の危機
II. 教師の仕事	1. 学校組織において働く教師 2. 教職の専門性とは	1) 教師集団の特徴 2) 教師の職務内容 3) 多忙化する教師 1) 教職の専門性とは 2) 教師の「資質」と「力量」 3) 教師の直面する今日的課題 4) 教員養成制度改革の行方
III. 成長し続ける存在としての教師	1. 教師の学び	1) 反省的实践家としての教師 2) 教師としての「熟達」とは 3) 学び続ける教師

成績評価の方法：出席日数・課題提出 30%、期末試験 70%で評価する。

教科書

特に指定せず、随時必要な資料を配布する。

参考図書

講義内にて適宜紹介する。

<講義スケジュール>

1	2017. 9.16	土	9:00～10:10	益井 明子	教員養成課程の意義
2	9.16	土	10:25～11:35	益井 明子	「教員免許状」とはどのようなものか
3	9.30	土	9:00～10:10	益井 明子	実習報告会
4	9.30	土	10:25～11:35	益井 明子	実習報告会
5	10. 6	金	15:15～16:25	益井 明子	「教職」の危機
6	10. 6	金	16:35～17:45	益井 明子	教師集団の特徴
7	10.13	金	16:35～17:45	益井 明子	課題学修 (AL)
8	10.14	土	9:00～10:10	益井 明子	官僚制組織化する教師集団
9	10.14	土	10:25～11:35	益井 明子	教師の職務内容
10	10.20	金	15:15～16:25	益井 明子	多忙化する教師
11	10.20	金	16:35～17:45	益井 明子	教職の専門性とは
12	11. 7	火	16:35～17:45	益井 明子	課題学修 (AL)
13	11.10	金	13:55～15:05	益井 明子	教師の「資質」と「力量」
14	11.10	金	15:15～16:25	益井 明子	教師の直面する今日的課題
15	11.10	金	16:35～17:45	益井 明子	教員養成制度改革の行方
16	11.17	金	13:55～15:05	益井 明子	教師はどのように学ぶか
17	11.17	金	15:15～16:25	益井 明子	「反省的実践家」としての教師
18	11.21	火	15:15～16:25	益井 明子	課題学修 (AL)
19	11.24	金	12:30～13:40	益井 明子	教師として「熟達」ということ
20	11.24	金	13:55～15:05	益井 明子	学び続ける教師
	12.16	土	10:25～11:35	益井 明子	試験

〔教育学概論〕

科目責任者 松崎 英士

科目担当者 松崎 英士、益井 明子

目的

教育現場では現在、いじめや不登校等の解決困難な問題が多数生じており、それに伴い、「保健室」の重要性が高まっている。そこで本科目では、養護教諭としてこうした問題に積極的に関わり、それを解決へと導くために必要とされる教育学の基礎知識を得ることを目的とする。

到達目標

教育の今日的課題について絶えず考えていく態度を養うために、教育の本質やその思想・歴史を理解できる。人間の発達に及ぼす教育の役割を理解できる。教育課程の編成や学習指導・生徒指導、学校・学級経営といった「学校」に関わる諸理論や、さらには学校制度・教育行政、社会教育・生涯教育など、教育のさまざまな領域について理解できる。

大項目	中項目	小項目
I. 教育の本質と目的	1. 教育とは何か 2. 教育の歴史と思想	1) 教育の本質とその目的 2) 教育の社会的機能 1) 近代教育制度と公教育制度の歴史 2) 日本における公教育制度の成立と展開
II. 人間の発達と教育	1. 発達に及ぼす教育の役割	1) 人間の成長発達段階と教育 2) 子どもを取り巻く環境の教育機能
III. 教育課程	1. 教育課程の編成原理と内容	1) 教育課程編成の基準としての学習指導要領 2) 各教科、道徳および特別活動、「総合的な学習の時間」の取扱い
IV. 教育の方法	1. 教授－学習の理論と方法	1) 学習することの意味 2) 学習形態と授業作り
V. 生徒指導	1. 生徒指導の内容と方法	1) 生徒指導・支援の意義 2) 成長を促す指導
VI. 学校経営・学級経営	1. 学校経営とは 2. 学級経営とは	1) 学校の組織と経営 1) 教授－学習組織と経営
VII. 学校制度・教育行政	1. 学校制度改革の動向 2. 教育行政制度	1) 学校制度の発達・類型と教育の機会均等 1) 教育行政の基本的原理
VIII. 教師の役割と職務	1. 教師とは	1) 教師の資質
IX. 教育の今日的課題	1. これからの社会と教育	1) さまざまな教育改革 2) 学習社会論の登場と生涯教育

成績評価の方法：課題学修成果（20%）、試験（80%）で評価する。

教科書

特に指定せず、随時必要な資料を配布する。

参考図書

田嶋 一 他 著

やさしい教育原理〔第3版〕

有斐閣アルマ

2016

<講義スケジュール>

1	2017. 4.22	土	9:00~10:10	益井 明子	講義の進め方、教育とは何か(教育の本質とその目的)
2	4.22	土	10:25~11:35	益井 明子	「経験的に得た教育観」をとらえなおす
3	5.13	土	9:00~10:10	益井 明子	社会的存在としての人間
4	5.13	土	10:25~11:35	益井 明子	人間の発達に及ぼす教育の影響
5	5.19	金	16:35~17:45	益井 明子	人間を取り巻く環境と発達の関係
6	5.29	月	16:35~17:45	益井 明子	課題学修 (AL)
7	6. 2	金	9:00~10:10	松寄 英士	学習することの意味
8	6. 2	金	10:25~11:35	松寄 英士	学習形態と授業
9	6. 5	月	16:35~17:45	松寄 英士	授業をつくる
10	6.10	土	9:00~10:10	松寄 英士	生徒指導・支援の意義
11	6.10	土	10:25~11:35	松寄 英士	成長を促す指導
12	6.12	月	16:35~17:45	松寄 英士	課題学修 (AL)
13	7. 1	土	9:00~10:10	益井 明子	学校の誕生
14	7. 1	土	10:25~11:35	益井 明子	近代教育制度と公教育制度の歴史
15	7. 7	金	12:30~13:40	益井 明子	課題学修 (AL)
16	7. 8	土	9:00~10:10	益井 明子	日本における公教育制度の成立とその展開
17	7. 8	土	10:25~11:35	益井 明子	現代日本の学校制度
18	7.14	金	12:30~13:40	益井 明子	課題学修 (AL)
19	7.15	土	9:00~10:10	益井 明子	学校制度改革の動向
20	7.15	土	10:25~11:35	益井 明子	これからの社会と教育
	7.21	金	12:30~13:40	益井 明子	試験

〔教育心理学〕

科目責任者 松寄 英士

目的

教育現場で起こるさまざまな問題・課題に関して、心理学を中核とした実践科学的知見に基づいて、人間を多面的に理解し、将来の実践的な仕事に就いたときも役立つ資質となるよう、教育と心理との関係について理解を深めることを目指していく。

到達目標

教育現場において学習、理解、動機づけなどをどのように支援していくか、またその方法を理解できる。子どもの知的・社会性への発達への援助、知的能力・学力の教育評価について理解できる。発達（知的）遅滞児、障がい児、また学校生活に不適應をもつ児童生徒への教育支援などの問題の考察と支援方法について理解できる。

大項目	中項目	小項目
I. 教育心理学とは何か	1. 教育と心理	1) 教育心理学とは 2) 教育者としてかわること
II. 発達への支援	1. 発達の理論	1) 発達とは何か、発達の考え方の変遷 2) 発達段階と発達課題 3) 発達の様相と教育支援
III. 学習へのアプローチ	1. 学習の定義・理論	1) 学習への行動論的アプローチ 2) 学習への認知論的アプローチ 3) 学習への社会構成主義的アプローチ
IV. 教授と学習	1. 教授理論	1) 知識・技能を重視する教授理論 2) 意欲・態度を重視する教授理論
V. 動機づけ	1. 学習への動機づけ	1) 学びに向かう力の構築
VI. 知能と学力	1. 知能と学力	1) 知能、学力とは 2) 知能と学力の関係
VII. 教育における測定と評価	1. 測定と評価	1) 測定・評価の意義、目的 2) 測定・評価のさまざまな方法と課題
VIII. 授業の実践と研究	1. 授業実践と授業研究	1) 授業の実践 2) より良い授業とは
IX. 学級集団	1. 学級とは	1) 教師が与える影響と友人が与える影響 2) 友人関係形成の援助
X. 問題行動	1. 問題行動の理解と支援	1) パーソナリティの問題と生徒理解 2) 子どもの問題行動への対応と支援
XI. 学校生活適応への支援	1. 学校生活への心理的援助 2. 障がいをもつ児童・生徒への支援	1) 学校生活への不適應 1) 障がい児教育の工夫

成績評価の方法：リアクションペーパー（20%）、議論への参加度（20%）、試験（60%）で評価する。

教科書

田中智志^他監修 教育心理学（新・教職課程シリーズ） 一藝社 2014

参考図書

鎌原雅彦^他 やさしい教育心理学 有斐閣アルマ 2012
 速水敏彦^編 教育と学びの心理学 名古屋大学出版会 2013
 西村純一^他 編 教育心理学エッセンシャルズ ナカニシヤ出版 2013
 松原達哉^他 教育心理学 丸善出版 2013
 無藤 隆^他 学校教育の心理学（教育演習双書） 学文社 2012

<講義スケジュール>

1	2017.10. 3	火	15:15～16:25	松寄 英士	教育と心理（教育心理学とは）
2	10. 3	火	16:35～17:45	松寄 英士	発達段階と発達課題
3	10.21	土	9:00～10:10	松寄 英士	発達の様相と教育支援
4	10.21	土	10:25～11:35	松寄 英士	学習へのさまざまなアプローチ（1）
5	11. 8	水	13:55～15:05	松寄 英士	学習へのさまざまなアプローチ（2）
6	11. 8	水	15:15～16:25	松寄 英士	課題学修1（AL）
7	11.13	月	15:15～16:25	松寄 英士	さまざまな教授理論
8	11.13	月	16:35～17:45	松寄 英士	学びに向かう力の構築
9	11.22	水	15:15～16:25	松寄 英士	知能と学力
10	11.22	水	16:35～17:45	松寄 英士	教育における測定と評価
11	11.24	金	9:00～10:10	松寄 英士	課題学修2（AL）
12	11.24	金	10:25～11:35	松寄 英士	授業の実践
13	11.27	月	12:30～13:40	松寄 英士	より良い授業とは
14	11.27	月	13:55～15:05	松寄 英士	学級において教師が与える影響と友人が与える影響
15	11.28	火	15:15～16:25	松寄 英士	友人関係形成の援助
16	11.29	水	9:00～10:10	松寄 英士	課題学修3（AL）
17	12. 2	土	9:00～10:10	松寄 英士	パーソナリティの問題と生徒理解
18	12. 2	土	10:25～11:35	松寄 英士	子どもの問題行動への対応と支援
19	12.14	木	13:55～15:05	松寄 英士	学校生活への不適応
20	12.14	木	15:15～16:25	松寄 英士	さまざまな障がいをもつ児童・生徒の理解と支援
	12.16	土	9:00～10:10	松寄 英士	試験

〔教育課程論〕

科目責任者 神永 典郎

目的

わが国では「学習指導要領」に教育内容が規定されており、その教育課程の編成は各学校において行なうこととされている。また、各学校がどのような教育活動を行うかは、どのような教育課程を編成するかにかかっており、各学校が適切な教育課程を編成することにより、特色ある教育活動を展開していくことが求められている。そこで本授業では、教育課程の編成原理や学習指導要領の変遷について学び、教育課程に関する基礎理論を理解するとともに、教育課程を編成の意義とその実際や評価（カリキュラム・マネジメント）等について学ぶことを目的としている。

到達目標

- ・教育課程の編成原理や基礎理論及びその意義について理解し、説明することができる。
- ・各学校において編成される教育課程について、実際の教育活動と結び付けて理解することができる。

大項目	中項目	小項目
I. 教育課程とは	1. 教育課程と学習指導要領	1) 教育課程の概念 2) 教育課程と学習指導要領
II. 教育課程編成の基本的視点と編成原理	1. 教育課程編成の意義 2. 教育課程の編成原理 3. 教育課程の変遷	1) 学習指導要領の意味と位置付け 2) 学校の教育内容と法的根拠 1) 顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラム 2) スコープとシーケンス 3) 子どもの発達と教育課程 1) 経験主義カリキュラムと系統主義カリキュラム 2) 学習指導要領の改訂と教育課程の変遷
III. 各学校における教育課程の編成とその課題	1. 各学校における教育課程編成の編成方法 2. 教育課程の編成内容と各教科領域等	1) 教育課程編成で踏まえるべき一般方針 2) 教育課程の学校の教育目標 3) 指導計画の作成と教科書 4) 各教科の指導（内容・時数等）と時間割編成 1) 各教科の意義と役割 2) 特別の教科「道徳」の意義と役割 3) 外国語活動の意義と役割 4) 総合的な学習の時間 5) 特別活動の意義と役割 6) 教育課程における保健・健康・安全領域
IV. これからの教育課程編成の在り方	1. 教育課程の評価・改善とカリキュラム・マネジメント	1) 学校評価とカリキュラムのPDCAサイクル 2) 新学習指導要領とカリキュラム・マネジメント

成績評価の方法：授業への積極的な参加（20%）、リアクションペーパーの提出（30%）、試験（50%）等により総合的に評価する。

教科書

文部科学省	小学校学習指導要領	東京書籍	2017
文部科学省	小学校学習指導要領解説 総則編	東洋館出版社	2008

※改訂期のため、学習指導要領解説総則編が購入できない場合は、印刷配布する。

参考図書

加藤幸次他	改訂版・教育課程編成論	玉川大学出版部	2012
-------	-------------	---------	------

※その他、授業の中で適宜紹介する。

<講義スケジュール>

1	2017. 4.14	金	9:00～10:10	神永 典郎	オリエンテーション 教育課程とは
2	4.14	金	10:25～11:35	神永 典郎	日本の学校教育における教育課程(学習指導要領をとは)
3	4.21	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程と学習指導要領Ⅰ(学習指導要領で求められているもの)
4	4.21	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程と学習指導要領Ⅱ(学校の教育内容と法的根拠)
5	4.28	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程の編成原理Ⅰ(顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラム)
6	4.28	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程の編成原理Ⅱ(スコープとシーケンス)
7	5.12	金	9:00～10:10	神永 典郎	子どもの発達と教育課程の編成(発達理論と発達段階)
8	5.12	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育内容と教育課程の編成(学習指導要領と教科書)
9	5.19	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程の変遷Ⅰ(経験主義カリキュラムと系統主義カリキュラム)
10	5.19	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程の変遷Ⅱ(社会の変化と学習指導要領の変遷)
11	6. 9	金	9:00～10:10	神永 典郎	各学校における教育課程の編成Ⅰ(編成の一般方針と共通的事項)
12	6. 9	金	10:25～11:35	神永 典郎	各学校における教育課程の編成Ⅱ(学校の教育目標とグランド・デザイン)
13	6.16	金	9:00～10:10	神永 典郎	各学校における教育課程の編成Ⅲ(指導計画の作成と配慮事項)
14	6.16	金	10:25～11:35	神永 典郎	各学校における教育課程の編成Ⅳ(各教科等の指導時数と時間割編成)
15	6.23	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程各論Ⅰ(各教科の内容と保健・健康・安全領域の内容)
16	6.23	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程各論Ⅱ(保健・安全的行事と保健・安全の教育計画の作成)
17	7. 7	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程各論Ⅲ(特別の教科「道徳」・外国語活動)
18	7. 7	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程各論Ⅳ(総合的な学習の時間、特別活動)
19	7.14	金	9:00～10:10	神永 典郎	教育課程の評価と改善Ⅰ(学校評価の意義とその実際)
20	7.14	金	10:25～11:35	神永 典郎	教育課程の評価と改善Ⅱ(新学習指導要領とカリキュラム・マネジメント)
	7.21	金	10:25～11:35	神永 典郎	試験

〔日本国憲法〕

科目責任者 東 裕

目的

憲法は、「統治機構」と「人権」の二つの部分から成る。この二つは相互に密接に結びついている。すなわち、憲法は国民の人権を保障することに主眼があり、そのために権力分立を基本とする統治機構がつくられているのであり、権力分立に基づく統治機構は人権保障に奉仕する。権力の濫用が防止され、国民の権利・自由が保障されることで、「人間の尊厳」が確保される。これが憲法の構造であり目的である。ただし、憲法は国家という基礎の上に成立すること、そして憲法は国家の独立と平和が確保された状況で正常に機能することを忘れてはならない。この憲法の基本的な考えをまず理解し、その上で、成立当時とは大きく異なる政治・経済・社会・国際関係の中に置かれている日本国憲法の抱える問題点を考える。それがこの講義の目的である。

到達目標

1. 憲法とはどのような法であることを説明できる。
2. 日本国憲法の構造を説明できる。
3. 日本国憲法の成立過程を説明できる。
4. 日本国憲法の基本原理とその相互関係を説明できる。
5. 日本国憲法における権力分立を説明できる。
6. 日本国憲法における人権の分類を説明できる。
7. 日本国憲法の改正手続きを説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 憲法総論	1. 憲法の内容・分類・特質 2. 近代立憲主義憲法 3. 現代立憲主義憲法	1) 形式的意味の憲法・実質的意味の憲法 2) 近代立憲主義憲法の成立と特質 3) 現代立憲主義憲法への変容とその特質
II. 日本国憲法の成立と基本原理	1. 日本国憲法の成立 2. 国民主権 3. 平和主義 4. 基本的人権尊重主義	1) 日本国憲法の成立事情 2) 国民主権の意味 3) 日本国憲法の平和主義の特徴 4) 日本国憲法の人権規定
III. 戦争の放棄	1. 日本国憲法の平和主義 2. 戦争放棄の意味 3. 現代国際社会と安全保障	1) 9条解釈の視点 2) 政府解釈・「砂川事件」最高裁判決 3) 冷戦後の国際社会の現実と安全保障のあり方
IV. 国の統治機構	1. 権力分立 2. 議院内閣制 3. 司法権の独立	1) 権力分立の意義と目的 2) 国会と内閣の関係はどうか 3) 司法権の独立とは何か
V. 天皇	1. 天皇の地位 2. 天皇の権能と行為 3. 皇室の経済・財政	1) 国民主権と象徴天皇 2) 国事行為 3) 皇室の費用・財産授受

日本国憲法

大項目	中項目	小項目
VI. 国会	1. 国会の地位と権能 2. 国会の構成 3. 国会議員の地位と特権	1) 国権の最高機関・国の唯一の立法機関 2) 二院制 3) 国会議員の地位・国会議員の特権
VII. 内閣	1. 内閣の地位 2. 内閣の組織と権能 3. 内閣総理大臣と国務大臣	1) 行政権の意味 2) 組閣と総辞職 3) 内閣総理大臣および国務大臣の地位と権能
VIII. 裁判所	1. 司法権の独立 2. 裁判所の組織 3. 裁判員制度	1) 司法権の意味 2) 裁判官の身分保障 3) 裁判員制度の現状と問題点
IX. 地方自治	1. 地方自治の本旨 2. 地方公共団体の組織と権限 3. 条例制定権	1) 団体自治と住民自治 2) 普通地方公共団体・特別地方公共団体 3) 条例の意義・条例制定権の限界
X. 人権総論	1. 人権の概念 2. 近代の人権 3. 現代の人権	1) 「人権」とは 2) 人権宣言の歴史 3) 「新しい人権」の登場
XI. 個人の尊重と幸福追求権	1. 「個人の尊重」の原理 2. 幸福追求権 3. 「新しい人権」	1) 「個人主義」、「個人の尊厳」の意味 2) 幸福追求権の意義と範囲 3) 幸福追求権から導き出される人権
XII. 平等原則	1. 平等観念の展開 2. 日本国憲法の平等原則 3. 選挙権の平等	1) 14条1項の解釈 2) 14条1項に違反すると判断された例 3) 選挙権の平等に関する判例の動向
XIII. 精神的自由権（1）	1. 精神的自由権の意義 2. 思想・良心の自由 3. 信教の自由	1) 謝罪広告事件 2) 君が代伴奏拒否事件 3) 津地鎮祭事件など
XIV. 精神的自由権（2）	1. 表現の自由 2. 集会・結社の自由 3. 学問の自由	1) 博多駅テレビフィルム提出命令事件など 2) 東京都公安条例事件など 3) 東大ポポロ事件
XV. 経済的自由権	1. 経済的自由権の意義 2. 居住・移転・職業選択の自由 3. 財産権の保障	1) 小売市場距離制限事件など 2) 森林法共有林事件 3) 財産権の制限と「正当な補償」の意味
XVI. 人身の自由・国務請求権	1. 人身の自由の意義 2. 適正手続きの保障 3. 国務請求権の意義	1) 奴隷的拘束および苦役からの自由 2) 被疑者の権利と被告人の権利 3) 請願権・裁判を受ける権利・国家賠償請求権・刑事補償請求権
XVII. 参政権	1. 参政権の意義 2. 選挙権の法的性質 3. 選挙の基本原則	1) 参政権の性質 2) 権利説・公務説・二元説 3) 普通・平等・秘密・直接・自由

大項目	中項目	小項目
XVIII. 社会権	1. 生存権 2. 教育を受ける権利 3. 勤労権と労働基本権	1) 生存権の法的性質 2) 朝日訴訟、堀木訴訟 3) 教育権の所在 4) 労働基本権の制限と主要判例
XIX. 憲法保障と憲法の改正	1. 最高法規性 2. 憲法改正手続き 3. 違憲審査制	1) 憲法保障制度とは何か 2) 憲法改正の手続き・改正の限界 3) 違憲審査制の法的性格・違憲審査の対象
XX. 試験	1. 到達目標を踏まえた論題 2. 憲法学の基本概念の説明 3. 重要条文の知識	1) 到達目標を踏まえた論述式問題 2) 憲法学の基本概念のいくつかを説明する問題 3) 日本国憲法の重要条文の文言を問う問題

成績評価の方法：

試験の成績（100％）で評価する。

教科書

下條芳明・東 裕編 『新・テキストブック日本国憲法』

嗟峨野書院

2015

参考図書

必要に応じて講義の中で紹介する。

<講義スケジュール>

1	2017. 4.10	月	13:55～15:05	東 裕	憲法総論
2	4.10	月	15:15～16:25	東 裕	日本国憲法の成立と基本原理
3	4.17	月	13:55～15:05	東 裕	戦争の放棄
4	4.17	月	15:15～16:25	東 裕	国の統治機構
5	4.24	月	13:55～15:05	東 裕	天皇
6	4.24	月	15:15～16:25	東 裕	国会
7	5. 8	月	13:55～15:05	東 裕	内閣
8	5. 8	月	15:15～16:25	東 裕	裁判所
9	5.15	月	13:55～15:05	東 裕	地方自治
10	5.15	月	15:15～16:25	東 裕	人権総論
11	5.29	月	13:55～15:05	東 裕	個人の尊重と幸福追求権
12	5.29	月	15:15～16:25	東 裕	平等原則
13	6. 5	月	13:55～15:05	東 裕	精神的自由権（1）
14	6. 5	月	15:15～16:25	東 裕	精神的自由権（2）
15	6.12	月	13:55～15:05	東 裕	経済的自由権
16	6.12	月	15:15～16:25	東 裕	人身の自由・国務請求権
17	6.19	月	13:55～15:05	東 裕	参政権
18	6.19	月	15:15～16:25	東 裕	社会権
19	6.26	月	13:55～15:05	東 裕	憲法保障と憲法の改正
20	6.26	月	15:15～16:25	東 裕	総復習
	7. 3	月	15:15～16:25	東 裕	試験

〔情報科学演習Ⅱ〕

科目責任者 神山 暢夫
 科目担当者 神山 暢夫、榊 建二郎
 樋口由布子、小山 達也
 異儀田はづき、飯塚あつ子

情報科学演習Ⅱは、情報科学演習Ⅰで習得したコンピュータの基礎知識に基づいて、より実践的な医療情報処理能力を獲得することを目的とする。まず、東京女子医科大学病院の電子カルテを例に、病院情報システムの概要および利活用について学ぶ。また、グループワークを通じて、SNSの利用についての考えを深める。

その上で、情報実習室のPCを使用して、表計算ソフトを用いてデータベースを作成し、必要とするデータの抽出、解析を行う。さらに、プレゼンテーションソフトを活用し、研究会、勉強会における医療情報の有効なプレゼンテーション能力を養う。

大項目	中項目	小項目
Ⅰ. 看護と情報	1. 情報の管理	1) 看護における情報収集と管理 2) 看護学生としての情報の管理
	2. 情報の処理	1) データ入力 2) データ処理 3) データ解析
	3. プレゼンテーション	1) スライドの作成 2) スライドの加工 3) アニメーション

成績評価の方法：提出された課題の評価による（100%）

教科書

なし

参考図書

下村 健一著 10代からの情報キャッチボール入門
 —使えるメディア・リテラシー— 岩波書店 2015

<講義スケジュール>

A・Bグループ共通

1	2017.11.28	火	12:30~13:40	樋口由布子	病院情報システム(電子カルテ) 1
2	11.29	水	12:30~13:40	樋口由布子	病院情報システム(電子カルテ) 2

Aグループ

3	2018.1.29	月	10:25~11:35	神山 暢夫、小山達也 異儀田はづき、飯塚あつ子	SNS利用についてのグループワーク
4	1.29	月	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータベースの作成 1
5	1.29	月	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータベースの作成 2
6	1.30	火	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライド作成の基本操作1
7	1.30	火	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 1
8	1.30	火	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 2
9	1.31	水	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライドの加工と図形処理 1
10	1.31	水	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	データのマクロ処理 1
11	1.31	水	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	データのマクロ処理 2
12	2.1	木	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライドの加工と図形処理 2
13	2.1	木	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 3
14	2.1	木	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 4
15	2.2	金	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
16	2.2	金	12:30~13:40	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
17	2.2	金	13:55~15:05	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
18	2.2	金	15:15~16:25	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表

Bグループ

3	2018.1.10	水	10:25~11:35	神山 暢夫、小山達也 異儀田はづき、飯塚あつ子	SNS利用についてのグループワーク
4	1.10	水	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータベースの作成 1
5	1.10	水	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータベースの作成 2
6	1.11	木	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライド作成の基本操作1
7	1.11	木	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 1
8	1.11	木	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 2
9	1.12	金	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライドの加工と図形処理 1
10	1.12	金	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	データのマクロ処理 1
11	1.12	金	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	データのマクロ処理 2
12	1.15	月	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	スライドの加工と図形処理 2
13	1.15	月	12:30~13:40	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 3
14	1.15	月	13:55~15:05	神山 暢夫 榊 建二郎	表計算によるデータ解析 4
15	1.16	火	10:25~11:35	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
16	1.16	火	12:30~13:40	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
17	1.16	火	13:55~15:05	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表
18	1.16	火	15:15~16:25	榊 建二郎 神山 暢夫	課題発表

看護学部第2学年授業担当教員

[専任教員]
人文社会科学系
心理学
社会学
英語
基礎科学系
生理学
生化学
臨床医学系
外科学
内科学
看護学系
成人看護学

特任准教授 松寄 英士
准教授 諏訪 茂樹
講師 設楽 靖子
准教授 神山 暢夫
准教授 榊 建二郎
教授 尾崎 恭子
准教授 南家 由紀
准教授 原 三紀子
准教授 小泉 雅子
講師 原 美鈴
助教 三浦美奈子
助教 小林 礼実
助教 鈴木香緒理
助教 峯川美弥子
助教 那須実千代
助教 河合 育世
教授 佐藤 紀子
講師 草柳かほる
助教 山口 紀子
助教 多久和善子
教授 長江 弘子
准教授 坂井 志麻
講師 原沢のぞみ
助教 渡邊 賢治
助教 小池 愛弓
教授 田中美恵子
講師 小山 達也
助教 異儀田はづき
助教 飯塚あつ希
特任助教 徳田 由希
教授 日沼 千尋
准教授 関森みゆき
講師 奥野 順子
助教 櫻田 章子
助教 木戸 恵美
特任助教 酒井 麻希
教授 小川久貴子
准教授 土江田奈留美
助教 鈴木小弥香
准教授 見城 道子
助教 小宮山陽子

看護職生涯発達学

老年看護学

精神看護学

小児看護学

母性看護学

基礎看護学

[兼任教員]
生体防御機構

感染看護

社会福祉学

薬理学

英語 I - 2
情報科学演習 II
キャリア発達論 II

病態学・各論 I

病態学・各論 II

病態学・各論 III

病態学・各論 IV

病態学・各論 V

リハビリテーション

[兼任教員]

心理学

医療における倫理学

論理学

人間生活と経済

病態学・各論 I

病態学・各論 II

病態学・各論 III

病態学・各論 IV

精神看護学・概論

英語 I - 2

ドイツ語 II

韓国語

保健医療統計学

教育学概論/教職入門

教育課程論

日本国憲法

教授 谷口 敦夫
教授 徳重 克年
教授 土谷 健一
教授 中村 真一
准教授 清水 京子
准教授 石黒 直子
准教授 島本 健一
准教授 清水 優子
准教授 岩崎 直子
准教授 中神 朋子
准教授 飯嶋 睦幸
准教授 志関 雅幸
講師 吉永 健太郎
講師 柳澤 慶香
講師 三浦順之助
助教 米澤麻利重
助教 田中 伸枝
教授 須納 瀬弘
教授 山崎 健二
准教授 高村 悦子
講師 前 昌宏
講師 堀内 喜代美
講師 小川 真平
准講師 坂本 明子
准講師 迫田 晃子
准講師 松村 剛毅
助教 岩倉 穂子
助教 天野 久仁彦
教授 永田 智
准教授 世川 修
准教授 鶴田 敏久
講師 石垣 景子
講師 伊藤 康彦
助教 中西 美妃子
助教 石戸 幸英
教授 松井 英雄
教授 高木 耕一郎
准教授 小川 正樹
准教授 橋本 和法
准教授 村岡 光恵
講師 高木 俊一
准講師 東館 紀子
助教 菅野 俊幸
講師 松村 美由起
講師 三村 千弦
教授 猪飼 哲夫
准教授 和田 太毅
講師 上久保 卓水
講師 岩本 みどり
講師 高谷 明子
講師 角田 典子
待井 典子
三好 真
若 麻理
古田 知章
栗沢 尚志
八子 徹
清水 阿里
落合 卓
吉形 玲美
近本 裕子
劉 樺
濱田 由紀
宮原 葉
伊藤 満広
朴 玉珠
東垣内 徹生
益井 明子
神永 典郎
東 裕

学 習 要 項

第3学年

2017



東京女子医科大学
看護学部

〔公衆衛生学〕（選択科目）

科目責任者 北島 勉

科目担当者 北島 勉

目的

健康の概念が万人に固有な基本的権利としてその社会的意義が認識され、人々が社会的役割を営むことができるための健康支援が保健医療福祉のあらゆる場面で展開されている。人々の健康はその生活状況と相互関係にあるため、社会的環境と密接な関わりがあることを理解し、健康支援に必要とする情報の収集および分析とそれを企画する能力が求められている。公衆衛生学では健康課題を考究する学際的領域の方法論を学び、健康課題をマネジメントするための基礎的能力を高める。

到達目標

1. 健康と生活を評価する基礎的な指標をあげることができる。
2. 健康支援の効果を評価する方法を具体的に述べることができる。
3. 対象者のライフコースにおける社会的役割に応じた健康課題を説明できる。
4. 生活者の健康課題を支援する仕組みと活動を説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康と公衆衛生	1. 公衆衛生の概念	1) 健康観の変遷 2) 自然権・生存権と基本的人権 3) 公衆衛生活動の基盤 4) 公衆衛生政策と保健等の計画
	2. 公衆衛生活動の変遷と意義	1) 保健医療福祉制度の経緯 2) 公衆衛生活動の対象と場 3) 社会環境の変化と公衆衛生活動の動向
II. 健康指標と公衆衛生	1. 健康生活に関連した指標	1) 人口関連統計 2) 生活環境関連統計 3) 疾病関連統計 4) 福祉関連統計
	2. 保健医療福祉活動の基本となる制度	1) 社会経済的動向 2) 医療保健関連制度 3) 保険制度 4) 福祉制度
	3. 公衆衛生活動の展開	1) ヘルスプロモーションの取組み 2) 疾病管理の取組み 3) 社会病理への取組み 4) その他の取組み
III. 健康管理と公衆衛生	1. 健康課題の評価	1) QOL の視点と健康寿命 2) スクリーニングと費用対効果 3) PDCA サイクルとマネジメント 4) リスク/セーフ・マネジメント

大項目	中項目	小項目
	2. 対象別の活動	1) ライフサイクルとライフコース 2) 産業保健管理 3) 学校保健管理 4) 疫学 5) 医薬品・食品の安全管理 6) 情報管理 7) 国際保健

評価方法

出席状況（10%）、講義への参加態度（10%）、課題レポートの提出（30%）および試験結果（50%）により総合評価を行う。

教科書

厚生労働統計協会編 国民衛生の動向 2017/2018 厚生労働統計協会 2017

参考図書

島崎謙治 日本の医療：制度と政策 東大出版会 2011
 河口洋行 医療の経済学 第3版 日本評論社 2015
 日本疫学会 はじめて学ぶやさしい疫学 第2版 南江堂 2010
 日本国際保健医療学会 国際保健医療学 第3版 杏林書院 2013

<講義スケジュール>

1	2018. 1.12	金	15:15～16:25	北島 勉	看護における公衆衛生学の視座
2	1.12	金	16:35～17:45	北島 勉	日本の人口構造と疾病構造
3	1.15	月	9:00～10:10	北島 勉	日本の保健医療制度の変遷
4	1.15	月	10:25～11:35	北島 勉	国民医療費
5	1.25	木	12:30～13:40	北島 勉	日本の保健医療制度
6	1.25	木	13:55～15:05	北島 勉	日本の医療保険制度(1)
7	1.26	金	15:15～16:25	北島 勉	日本の医療保険制度(2)
8	1.26	金	16:35～17:45	北島 勉	医療保険の特徴
9	1.29	月	9:00～10:10	北島 勉	医療保険制度の設計
10	1.29	月	10:25～11:35	北島 勉	疫学の概念
11	1.30	火	9:00～10:10	北島 勉	疫学研究の種類と方法(観察研究)
12	1.30	火	10:25～11:35	北島 勉	疫学研究の種類と方法(介入研究)
13	2. 1	木	12:30～13:40	北島 勉	保健医療活動の経済評価
14	2. 1	木	13:55～15:05	北島 勉	健康指標とその活用
15	2. 6	火	9:00～10:10	北島 勉	健康課題と健康・生活指標(演習)
16	2. 6	火	10:25～11:35	北島 勉	健康課題と健康・生活指標(演習)
17	2. 9	金	9:00～10:10	北島 勉	健康課題と健康・生活指標(演習)
18	2. 9	金	10:25～11:35	北島 勉	国際保健の課題(感染症)
19	2.13	火	9:00～10:10	北島 勉	国際保健の課題(非感染性疾患)
20	2.13	火	10:25～11:35	北島 勉	国際保健の課題(母子保健)
	2.15	木	10:25～11:35	北島 勉	試験

〔健康科学論〕

科目責任者 松岡 雅人

科目担当者 松岡 雅人、野原 理子、蔣池 勇太、
藤木 恒太、宮山 貴光、奥津 康祐

目的

健康の概念について多角的に、また、健康を生物要因、遺伝要因、環境要因（含む社会的環境要因）および生活習慣の各側面から追求し、健康の本質について理解する。

到達目標

1. 健康の定義を説明できる。
2. 健康に影響をおよぼす要因について説明できる。
3. 生活環境中の有害要因をあげ、健康におよぼす影響について説明できる。
4. 労働環境中の有害要因をあげ、健康におよぼす影響について説明できる。
5. 生活習慣が健康におよぼす影響について説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康科学論	1. 健康の概念	1) 健康観の変遷 2) 健康の概念 3) 環境への適応
	2. 健康と環境	1) 環境問題の変遷 2) 地球環境問題 3) 環境遺伝子相互関係
	3. 健康と生活環境	1) 水・大気・土壌 2) 騒音・振動
	4. 健康と労働環境	1) 職域における健康管理 2) 物理的要因 3) 化学的要因
	5. 健康とライフスタイル	1) 食生活・栄養 2) 運動 3) 休養・レクリエーション 4) 嗜好品（タバコ・アルコール）
	6. 健康と薬物	1) 薬物 2) 毒物

評価方法

試験結果(100%)により評価を行う

教科書

指定なし

健康科学論

推薦図書

千葉百子^他 編 コンパクト公衆衛生学 朝倉書店 2013

参考図書

横山英世 監修 新衛生・公衆衛生学 日本医事新報社 2012

田中 逸 健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病 日本医事新報社 2013

鈴木庄亮、久道 茂 編 シンプル衛生公衆衛生学 2016 南江堂 2016

岸 玲子^他 編 NEW 予防医学・公衆衛生学 南江堂 2012

柳川 洋・中村好一 公衆衛生マニュアル 2015 南山堂 2015

森 晃爾 編 産業保健マニュアル 南山堂 2013

厚生労働統計協会 厚生指標／臨時増刊 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 年刊

厚生労働省 厚生労働白書 日経印刷 年刊

環境省 環境白書 日経印刷 年刊

中央労働災害防止協会編 労働衛生のしおり 中央労働災害防止協会 年刊

＜講義スケジュール＞

1	2017.4.12	水	10:25～11:35	松岡 雅人	健康科学論序論
2	4.17	月	10:25～11:35	蔣池 勇太	食品衛生学
3	4.19	水	10:25～11:35	宮山 貴光	上水・下水と廃棄物処理
4	4.26	水	10:25～11:35	藤木 恒太	環境汚染と公害1（公害、環境保全）
5	5.10	水	10:25～11:35	蔣池 勇太	環境汚染と公害2（地球環境問題）
6	5.17	水	10:25～11:35	土肥誠太郎	産業保健1（産業保健総論）
7	5.24	水	10:25～11:35	奥津 康祐	産業保健2（医療現場の健康管理）
8	5.31	水	10:25～11:35	宮山 貴光	産業保健3（化学的要因による健康障害）
9	6. 5	月	10:25～11:35	野原 理子	産業保健4（物理的要因による健康障害）
10	6.19	月	10:25～11:35	野原 理子	産業保健5（就労女性の健康管理）
	6.21	水	10:25～11:35	松岡 雅人	試験

〔学校保健〕

科目責任者 太島 眞知子

目的

学校教育における学校保健の意義としくみ、養護教諭としての仕事の進め方の実際について学ぶ。

到達目標

1. 学校保健活動の意義、課題について理解できる。
2. 子どもの健康問題とその対応について説明できる。
3. 養護教諭の具体的な実践を学び、学校保健活動の進め方について理解できる。

大項目	中項目	小項目
I. 子どもの健康実態と課題	1. 子どもの健康実態 2. 子どもの心とからだ	1) からだのおかしさの実感 2) 各種保健統計より 1) 子どもの発育発達 2) 心の問題 3) 子どもの健康実態から見る健康課題
II. 学校保健の概念	1. 養護教諭の役割 2. 学校保健のしくみ	1) 養護教諭の歴史に学ぶ 2) 養護教諭に求められるもの 1) 学校教育における学校保健の意義と目的 2) 学校保健の特性 3) 学校保健の運営と関わる人々
III. 学校における保健室の役割	1. 保健室の機能と役割 2. 保健室・養護教諭とは	1) 保健室の日常 2) からだにこだわる養護教諭 3) 保健室の機能と役割 1) 教育実践者としての養護教諭 2) 相談活動
IV. 救急処置	1. 救急処置 2. 健康障害と指導	1) 子どもの傷病の実際 2) 校内救急体制と安全教育 1) 感染症予防 2) 疾病を持つ子どもへの対応
V. 健康診断	1. 健康診断の意義 2. 健康診断計画	1) 健康診断の目的 2) 健康診断の項目 1) 教育としての健康診断 2) 健康診断の結果を生かす
VI. 保健教育	1. 保健教育の意義と実践 2. 保健指導	1) 保健授業づくり 2) 養護教諭と保健教育 1) 保健の授業と養護教諭 2) 保健指導

学校保健

大項目	中項目	小項目
VII. 組織活動	1. 学校保健組織活動	1) 校内組織と学校保健 2) 学校保健委員会 3) 家庭・関係機関との連携 4) 特別支援教育
	2. これからの学校保健	1) 学校保健の役割

評価方法

授業への意欲的参加10%、レポート30%、試験60%

教科書

教育科学研究会・藤田和也 編	保健室と養護教諭	国土社	2008
教育養成系大学保健協議会 編	学校保健ハンドブック 第6次改訂	ぎょうせい	2014

参考図書

大谷尚子、森田光子編	養護教諭の行う健康相談 新版	東山書房	2016
大谷尚子他編著	新養護学概論	東山書房	2009
芽の会編	ひろがれ保健室のしごと	芽の会	2006
田中なつみ 著	いのちまるごと子どもたちは訴える	高文研	2003
穴戸洲美 編著	養護教諭の役割と教育実践	学事出版	2000
全国養護教諭サークル協議会 編	雑誌「保健室」(隔月刊)	本の泉社	
学校健康教育法令研究会 監修	学校保健・学校安全法令必携 第7次改訂	ぎょうせい	2012
森昭三、和唐正勝編著	新版 保健の授業づくり入門	大修館書店	2002

＜講義スケジュール＞

1	2017.12.12	火	12:30～13:40	太島眞知子	子どもの心とからだ
2	12.12	火	13:55～15:05	太島眞知子	保健室でとらえた子どもの健康実態
3	12.14	木	12:30～13:40	太島眞知子	養護教諭の役割～歴史から学ぶ～
4	12.14	木	13:55～15:05	太島眞知子	学校保健の意義、しくみ
5	2018. 1. 9	火	12:30～13:40	太島眞知子	保健室の機能と役割 I
6	1. 9	火	13:55～15:05	太島眞知子	保健室の機能と役割 II
7	1.12	金	12:30～13:40	太島眞知子	保健室の機能と役割 III
8	1.12	金	13:55～15:05	太島眞知子	保健室で行う救急処置
9	1.16	火	12:30～13:40	太島眞知子	健康障害と指導 I
10	1.16	火	13:55～15:05	太島眞知子	健康障害と指導 II
11	1.19	金	12:30～13:40	太島眞知子	健康診断の意義と目的
12	1.19	金	13:55～15:05	太島眞知子	教育としての健康診断 I
13	1.23	火	12:30～13:40	太島眞知子	教育としての健康診断 II
14	1.23	火	13:55～15:05	太島眞知子	養護教諭と保健教育
15	1.26	金	12:30～13:40	太島眞知子	保健指導 I
16	1.26	金	13:55～15:05	太島眞知子	保健指導 II
17	1.30	火	12:30～13:40	太島眞知子	保健指導 III
18	1.30	火	13:55～15:05	太島眞知子	保健指導 IV
19	2. 2	金	12:30～13:40	太島眞知子	学校保健組織活動
20	2. 2	金	13:55～15:05	太島眞知子	これからの学校保健
	2. 5	月	13:55～15:05	太島眞知子	試験

〔養護概説〕

科目責任者 日沼 千尋

科目担当者 日沼 千尋、奥野 順子

目的

現代の学校教育における学校保健の重要性を踏まえ、養護の概念や養護教諭制度の沿革、学校における養護教諭の役割や活動など、養護全般を理解する。また、養護教諭の職務に関する基礎・基本的な内容を理解し、学校全体の保健計画を考える。

到達目標

1. 教育における養護の概念と養護教諭の役割を説明することができる。
2. 養護教諭の職務内容について説明することができる。
3. 学校保健計画を考案することができる。

大項目	中項目	小項目		
I. 養護の概念と養護教諭	1. 養護とは	1) 「養護」の用語的解釈 2) 養護の本質と概念		
	2. 養護の機能	1) 学校教育における養護の機能 2) 養護の対象と範囲		
	3. 養護教諭制度の沿革	1) 養護教諭制度の沿革 2) 児童・生徒の健康問題と養護教諭の変遷		
	4. 養護教諭の職務に関する法的位置づけ	1) 学校教育法における養護教諭 2) 教科の担当 3) 保健主事		
	5. 養護教諭の職務と求められる資質能力	1) 養護教諭の役割 2) 養護教諭の職務内容 3) 養護教諭に必要な基本的資質 4) 養護教諭に必要な職業倫理		
	6. 学校教育と養護教諭	1) 養護教諭養成課程カリキュラム 2) 養護教諭養成課程における現状と課題		
II. 養護教諭の職務	1. 健康診断	1) 健康診断の意義と位置づけ 2) 健康診断の内容 3) 健康診断の計画と実施 4) 事後措置 5) 臨時の健康診断 6) 就学時健康診断		
		2. 健康観察	1) 健康観察の重要性 2) 健康観察の法的根拠 3) 健康観察の目的 4) 健康観察の機会 5) 健康観察の視点 6) 学校生活全般における健康観察	
			3. 健康相談	1) 健康相談の法的位置づけの変遷 2) 健康相談の目的 3) 関係職種との連携

大項目	中項目	小項目	
Ⅲ. 学校保健計画	4. 保健教育	1) 保健教育の目指すもの 2) 学校教育における保健教育の位置づけ 3) 保健教育の領域と特質 4) 保健教育の構造	
	5. 保健指導	1) 学校教育における保健指導の位置づけ 2) 特別活動 3) 個別指導	
	6. 保健室の役割と経営	1) 保健室の設置 2) 保健室の機能 3) 保健室経営	
	7. 保健組織活動	1) 組織活動の必要性 2) 学校保健組織 3) 学校保健委員会 4) 学校保健と地域の連携	
	8. 養護活動の評価	1) 活動評価の目的と意義 2) 評価の視点 3) 評価方法	
	1. 保健調査と健康課題	1) 保健調査 2) 児童・生徒の成長・発達と健康課題	
	2. 学校保健計画	1) 健康教育および健康管理上の問題・課題 2) 学校保健計画の作成 3) 学校保健計画のプレゼンテーション 4) 学校保健計画の評価	

評価方法

試験 40%、課題およびプレゼンテーション 60%の割合で評価する

教科書

采女智津江 編	新養護概説第9版	少年写真新聞社	2016
大谷尚子 中桐佐智子編著	改訂養護実習ハンドブック	東山書房	2015

参考図書

三木とみ子 編	四訂養護概説	ぎょうせい	2009
森 昭三	変革期の養護教諭	大修館書店	2002

<講義スケジュール>

1	2017.12.14	木	15:15～16:25	日沼 千尋	ガイダンス
2	12.14	木	16:35～17:45	日沼 千尋	養護の概念
3	2018. 1.10	水	13:55～15:05	日沼 千尋	養護教諭と職務、役割
4	1.10	水	15:15～16:25	日沼 千尋	健康診断と健康観察、健康相談 1(AL)
5	1.15	月	15:15～16:25	奥野 順子	保健室の役割と保健組織活動
6	1.15	月	16:35～17:45	奥野 順子	保健調査と健康課題 1(AL)
7	1.22	月	15:15～16:25	日沼 千尋	健康診断と健康観察、健康相談 2
8	1.22	月	16:35～17:45	日沼 千尋	健康診断と健康観察、健康相談 3
9	1.25	木	15:15～16:25	日沼 千尋	保健教育と保健指導
10	1.25	木	16:35～17:45	日沼 千尋	養護活動の評価
11	1.29	月	13:55～15:05	奥野 順子	保健調査と健康課題 2
12	1.29	月	15:15～16:25	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の作成1
13	1.29	月	16:35～17:45	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の作成2(AL)
14	2. 2	金	16:35～17:45	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の作成3
15	2. 5	月	12:30～13:40	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の作成4(AL)
16	2. 6	火	16:35～17:45	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の作成5
17	2. 8	木	12:30～13:40	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の発表1
18	2. 8	木	13:55～15:05	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の発表2
19	2. 8	木	15:15～16:25	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画の発表3
20	2. 8	木	16:35～17:45	奥野 順子 _{他*}	学校保健計画のまとめ
	2.13	火	12:30～13:40	日沼 千尋	試験

*奥野 順子、日沼 千尋

〔健康教育学〕（選択科目）

科目責任者 清水 洋子

科目担当者 清水 洋子、中田 晴美、犬飼かおり、
渡辺 昌子、高 紋子、吉澤 裕世

目的

健康教育の意義および健康教育に必要な基礎知識を学ぶとともに、効果的な健康教育の方法について、演習を通して理解する。

到達目標

1. 健康教育の意義、基礎理論について説明することができる。
2. 各ライフステージや様々な場における健康教育の方法と実践例について説明することができる。
3. 健康教育を行う際の倫理的配慮について説明することができる。
4. 個別健康教育・健康相談のための知識・技術について説明することができる。
5. 集団への健康教育について企画・実施・評価の一連の過程について展開することができる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康教育学総論	1. 健康教育の意義・理論	1) 健康教育の意義 2) 健康教育の基礎理論
	2. 健康教育の方法	1) 健康教育のねらい・方法 2) 健康教育のプロセス 3) 健康教育の評価
	3. 健康教育の実際	1) 各ライフステージ（学童期、思春期、育児期、壮年期、老年期）の健康課題 2) 健康教育実践例 3) 家庭・地域における健康教育 4) 職場における健康教育 5) 学校における健康教育
	4. 健康教育における倫理的配慮	1) プライバシー保護と倫理的配慮 2) 健康情報の有効活用
II. 健康教育学各論 個別健康教育・健康相談のための知識・技術	1. 疾病構造の変化と予防医療	1) 日本における疾病構造の変化 2) 予防の概念と予防医療の目的・方法 3) 心身の疾病予防管理
	2. 予防医療の実際	1) 健診・検診の目的・種類・データの活用 2) 特定健康診査・特定保健指導の目的・方法 3) 特定健康診査における健康相談・個別保健指導の実際
	3. 生活習慣改善における健康相談・個別保健指導の実際	1) 運動・身体活動の改善指導の方法と実際 2) 栄養・食事改善の指導の方法と実際 3) 禁煙の勧奨・支援の方法と実際

大項目	中項目	小項目
Ⅲ. 集団への健康教育の展開 (グループワーク)	1. 健康教育 演習 (1)～(10)	1) グループニング 2) 演習テーマの設定 (ライフステージ、ライフスタイル、メンタルヘルス、疾病等の要因を考慮) 3) 健康教育実践に必要な基礎知識の学習 4) 健康教育教案作成 (計画書・シナリオ) 5) 教材の作成・選択
	2. 健康教育 演習 (11)～(14)	1) 健康教育ロールプレイ (発表) 2) 健康教育ロールプレイ (相互評価)
	3. 健康教育 まとめ	1) 健康教育の評価 2) 総合評価を踏まえた健康教育の再構成

評価方法

自己学習課題レポート (10%)、授業への参加態度 (20%)、演習成果発表内容 (計画用紙 30%・プレゼンテーション 40%) により総合的に評価する。

教科書

日本健康教育士養成機構編 新しい健康教育 保健同人社 2011

参考図書

井伊久美子^他 新版 保健師業務要覧 2017年版 日本看護協会出版会 2017
 中村裕美子^他 標準保健師講座 2 地域看護技術 医学書院 2010
 荒賀直子^他編 公衆衛生看護学.Jp 第4版 インターメディカル 2015
 Public Health Nursing in Japan
 宮坂忠夫^他 健康教育論 第2版 メヂカルフレンド社 2013
 柳川 洋、中村好一 公衆衛生マニュアル 2016 南山堂 2016
 日本小児科学会^他編 心と体の健診ガイド - 乳児編 - 第2版 日本小児医事出版社 2006
 日本小児科学会^他編 心と体の健診ガイド - 幼児編 - 日本小児医事出版社 2000
 愛知県健康福祉部^他 愛知県母子健康診査マニュアル 愛知県小児保健協会 2012
 大淵修一 絵を見てできる介護予防 法研 2005
 - 運動・食事・住まいの工夫で自立した高齢期を -
 大淵修一 自分でできる介護予防 厚生出版社 2005
 - 高齢者の介護予防支援ガイドブック -

<講義スケジュール>

1	2018. 1.16	火	15:15~16:25	清水 洋子	健康教育の意義・理論
2	1.16	火	16:35~17:45	清水 洋子	健康教育の方法・実際・倫理的配慮
3	1.19	金	15:15~16:25	坂井理映子	疾病構造の変化と予防医療の実際(特講)
4	1.19	金	16:35~17:45	坂井理映子	生活習慣改善における健康相談・個別保健指導の実際(特講)
5	2. 1	木	15:15~16:25	中田 晴美 ^{他*}	健康教育 演習(1)
6	2. 1	木	16:35~17:45		健康教育 演習(2)
7	2. 5	月	15:15~16:25		健康教育 演習(3)
8	2. 5	月	16:35~17:45		健康教育 演習(4)
9	2. 8	木	9:00~10:10		健康教育 演習(5)
10	2. 8	木	10:25~11:35		健康教育 演習(6)
11	2.14	水	9:00~10:10		健康教育 演習(7)
12	2.14	水	10:25~11:35		健康教育 演習(8)
13	2.16	金	9:00~10:10		健康教育 演習(9)
14	2.16	金	10:25~11:35		健康教育 演習(10)
15	2.21	水	12:30~13:40		健康教育 演習(11) 健康教育ロールプレイ
16	2.21	水	13:55~15:05		健康教育 演習(12) 健康教育ロールプレイ
17	2.21	水	15:15~16:25		健康教育 演習(13) 健康教育ロールプレイ
18	2.21	水	16:35~17:45		健康教育 演習(14) 健康教育ロールプレイ(まとめ含む)

*中田 晴美、清水 洋子、犬飼かおり、渡辺 昌子、高 紋子、吉澤 裕世、坂井理映子

〔精神看護学・各論〕

科目責任者 田中美恵子

科目担当者 田中美恵子、小山 達也、異儀田はづき、
飯塚あつ子、徳田 由希、濱田 由紀、
嵐 弘美

目標

精神状態に影響を受けた個人の生活行動および人間関係に焦点を置き、精神の健康の保持増進、精神の健康障害の予防、および一旦精神障害を来した人々に対する看護援助について学び、さらに広く看護全般に活用しうる精神看護学の知識と技術を習得する。

到達目標

1. 精神状態のアセスメントならびに対人関係とコミュニケーションの技術について理解し、看護への活用について説明できる。
2. 薬物療法、精神療法・集団療法、家族援助、リハビリテーション、訪問看護について理解し、看護への活用について説明できる。
3. 統合失調症、双極性障害・抑うつ障害、アルコール依存症、パーソナリティ障害・摂食障害、不安障害、強迫性障害、心的外傷およびストレス因関連障害、発達障害、身体合併症の特徴と看護の内容について説明できる。
4. 精神科病院体験演習を通じて、精神科病院の概要を説明でき、患者とのコミュニケーションを実践することができる。
5. セルフヘルプグループや当事者活動について、当事者の語りを聞くことで、看護に対象者の視点を取り入れることの重要性を理解できる。

大項目	中項目	小項目
I. 援助技術	1. 精神状態のアセスメント	1) 精神状態のアセスメントと看護過程 2) 精神状態のアセスメントの構成要素 3) 精神状態とセルフケア
	2. 対人関係とコミュニケーション	1) 患者－看護師関係 2) 治療的コミュニケーション 3) コミュニケーションの再構成
II. 援助方法	1. 薬物療法と看護	1) 薬物療法の概観 2) 薬物療法の作用と副作用 3) 薬物療法と看護
	2. 精神療法・集団療法と看護	1) 精神療法・集団療法の概観 2) 来談者中心療法 3) 精神分析療法 4) 精神療法・集団療法と看護
	3. 家族への援助	1) 精神障害者の家族の現状 2) 家族心理教育 3) 看護における援助方法の実際
	4. リハビリテーション	1) 精神科リハビリテーションとは 2) リハビリテーション活動の実際

大項目	中項目	小項目
Ⅲ. 対象と看護	5. 訪問看護	3) リハビリテーションと看護 1) 訪問看護の目的と機能 2) 訪問看護の実際
	1. 統合失調症患者への看護（急性期）	1) 統合失調症急性期患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	2. 統合失調症患者への看護（慢性期）	1) 統合失調症慢性期患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	3. 双極性障害・抑うつ障害患者への看護	1) 双極性障害・抑うつ障害患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	4. アルコール依存症・薬物依存症患者への看護	1) アルコール依存症患者の特徴 2) 薬物依存症患者の特徴 3) 看護の特徴と実際
	5. パーソナリティ障害・摂食障害患者への看護	1) パーソナリティ障害・摂食障害患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	6. 不安障害・強迫性障害・心的外傷およびストレス関連障害患者への看護	1) 不安障害・強迫性障害・心的外傷およびストレス関連障害患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	7. 発達障害（神経発達症群）への看護	1) 発達障害（神経発達症群）の特徴 2) 看護の特徴と実際
Ⅳ. 体験演習	8. 身体合併症患者への看護	1) 身体合併症患者の特徴 2) 看護の特徴と実際
	1. 精神科病院体験演習	1) 精神科病院の概要の理解 2) 患者との関わりの実際
Ⅴ. 対象者の視点	1. セルフヘルプグループ	1) セルフヘルプグループとは
	2. 当事者活動	2) セルフヘルプグループ活動の実際 3) 当事者体験 4) 当事者の主張

評価方法

出席状況 10%、見学実習レポート 20%、課題提出 70%により総合的に評価する。

教科書

田中美恵子 編著 「精神看護学第2版」 学生-患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 2015

参考図書

講義中に適宜紹介する

<講義スケジュール>

1	2017.10.23	月	12:30~13:40	異儀田はづき	精神状態のアセスメント1
2	10.23	月	13:55~15:05	異儀田はづき	精神状態のアセスメント2
3	12.11	月	12:30~13:40	異儀田・飯塚・徳田	対人関係とコミュニケーション1
4	12.11	月	13:55~15:05	異儀田・飯塚・徳田	対人関係とコミュニケーション2
5	12.11	月	15:15~16:25	異儀田・飯塚・徳田	対人関係とコミュニケーション3
6	12.13	水	9:00~10:10	濱田 由紀	精神療法・集団療法と看護
7	12.13	水	10:25~11:35	小山 達也	薬物療法と看護
8	12.15	金	9:00~10:10	田中美恵子 ^{他*}	精神科病院一日見学実習
9	12.15	金	10:25~11:35	田中美恵子 ^{他*}	精神科病院一日見学実習
10	12.15	金	12:30~13:40	田中美恵子 ^{他*}	精神科病院一日見学実習
11	12.15	金	13:55~15:05	田中美恵子 ^{他*}	精神科病院一日見学実習
12	12.15	金	15:15~16:25	田中美恵子 ^{他*}	精神科病院一日見学実習
13	2018. 1. 9	火	15:15~16:25	小山 達也	家族への援助
14	1.10	水	12:30~13:40	濱田 由紀	リハビリテーション
15	1.11	木	12:30~13:40	濱田 由紀	訪問看護
16	1.11	木	13:55~15:05	濱田 由紀	統合失調症(急性期)患者への看護
17	1.15	月	12:30~13:40	飯塚あつ子	統合失調症(慢性期)患者への看護
18	1.15	月	13:55~15:05	小山 達也	双極性障害・抑うつ障害患者への看護
19	1.18	木	15:15~16:25	濱田 由紀	アルコール依存・薬物依存患者への看護
20	1.18	木	16:35~17:45	飯塚あつ子	パーソナリティ障害・摂食障害患者への看護
21	1.22	月	12:30~13:40	嵐 弘美	不安障害・強迫性障害・心的外傷およびストレス因関連障害への看護
22	1.22	月	13:55~15:05	嵐 弘美	身体合併症患者への看護
23	1.24	水	15:15~16:25	小山 達也	発達障害への看護
24	1.24	水	16:35~17:45	濱田 由紀	セルフヘルプグループ
25	1.29	月	12:30~13:40	田中美恵子	対象者の視点:当事者活動
26	1.31	水	13:55~15:05	田中美恵子 ^{他*}	グループワーク
27	1.31	水	15:15~16:25	田中美恵子 ^{他*}	グループワーク
28	1.31	水	16:35~17:45	田中美恵子 ^{他*}	グループワーク

* 田中美恵子、小山 達也、異儀田はづき、飯塚あつ子、徳田 由希、濱田 由紀、嵐 弘美

〔母性看護学・各論〕

科目責任者 小川久貴子

科目担当者 小川久貴子、竹内 道子、抜田 博子、
田幡 純子、潮田千寿子、鈴木小弥香、
大原 明子

目的

女性のライフステージを通した母性看護学が担うヘルスケアについて習得し、現代社会における女性の取り巻く事象を多角的に解釈できる基礎的能力を養う。

到達目標

1. 女性のライフステージにおける母性看護学の役割について述べることができる。
2. 母子(児)の生理と経過について述べるができる。
3. 母子(児)の特性を述べるができる。
4. 母子(児)の生活と基本的ニーズを述べるができる。
5. 母子(児)の看護を述べるができる。
6. 母子(児)の特性をふまえた看護の展開ができる。

大 項 目	中 項 目	小 項 目
I. 女性のライフステージを通したヘルスケア	1. 母子(児)の看護の特徴	1) 周産期とは 2) 母子(児)、家族看護の役割
	2. 妊娠期	1) 正常妊娠の生理と経過 2) 妊婦の特性 3) 妊婦の生活と基本的ニーズ 4) 妊婦の看護
	3. 分娩期	1) 正常分娩の経過と分娩の3要素 2) 産婦の特性 3) 産婦の生活と基本的ニーズ 4) 産婦の看護
	4. 産褥期	1) 正常産褥の生理と経過 2) 褥婦の特性 3) 褥婦の生活と基本的ニーズ 4) 褥婦の看護 5) 親子・育児支援
	5. 新生児期	1) 正常新生児の生理と経過 2) 新生児の特性 3) 新生児の生活と基本的ニーズ 4) 新生児の看護
II. 母子(児)の特性をふまえた看護の展開	1. 看護過程と看護実践の基礎	1) 看護過程・看護実践に必要とされる基礎的知識を身につけながら母子(児)の看護過程を用いて看護を展開する。

評価方法

試験結果にて 100%評価を行う

教科書

森恵美 _他 編著	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 第13版	医学書院	2016
森恵美 _他 編著	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 第13版	医学書院	2016

<講義スケジュール>

1	2017. 4.11	火	12:30～13:40	潮田千寿子	母子(児)の看護
2	4.11	火	13:55～15:05	潮田千寿子	正常妊娠の生理と経過
3	4.19	水	15:15～16:25	潮田千寿子	妊婦の特性
4	4.19	水	16:35～17:45	潮田千寿子	妊婦の生活と基本的ニーズ
5	4.21	金	12:30～13:40	大原 明子	妊婦の看護
6	4.21	金	13:55～15:05	潮田千寿子	妊婦の看護
7	4.24	月	13:55～15:05	田幡 純子	正常分娩の経過と分娩の3要素
8	4.25	火	12:30～13:40	田幡 純子	産婦の特性
9	4.25	火	13:55～15:05	田幡 純子	産婦の生活と基本的ニーズ
10	4.27	木	12:30～13:40	田幡 純子	産婦の看護
11	4.27	木	13:55～15:05	田幡 純子	産婦の看護
12	5.11	木	12:30～13:40	抜田 博子	正常産褥の生理と経過
13	5.12	金	15:15～16:25	抜田 博子	褥婦の特性
14	5.15	月	12:30～13:40	抜田 博子	褥婦の生活と基本的ニーズ
15	5.16	火	12:30～13:40	抜田 博子	褥婦の看護
16	5.18	木	13:55～15:05	抜田 博子	親子・育児支援
17	5.22	月	12:30～13:40	鈴木小弥香	正常新生児の生理と経過
18	5.29	月	13:55～15:05	鈴木小弥香	新生児の生活と基本的ニーズ
19	5.29	月	15:15～16:25	鈴木小弥香	新生児の看護
20	6. 6	火	16:35～17:45	竹内道子 ^{他*}	看護過程の実践
21	6.12	月	12:30～13:40		看護過程の実践
22	6.12	月	13:55～15:05		看護過程の実践
23	6.16	金	15:15～16:25		看護過程の実践
24	6.16	金	16:35～17:45		看護過程の実践
25	6.20	火	13:55～15:05		看護過程の実践
26	6.20	火	15:15～16:25		看護過程の実践
27	6.26	月	12:30～13:40		看護過程の実践
28	6.26	月	13:55～15:05		看護過程の実践
	6.30	金	10:25～11:35		

* 小川久貴子、竹内 道子、田幡 純子、鈴木小弥香

〔小児看護学・各論〕

科目責任者 日沼 千尋

科目担当者 日沼 千尋、関森みゆき、奥野 順子、
櫻田 章子、酒井 麻希、山田咲樹子、
栗田直央子

目的

子どもを成長・発達および生活の側面から理解し、健康の増進、苦痛の緩和、健康の回復あるいは穏やかな死に向けて、子どもの看護について理解する。

到達目標

1. 子どもの形態的成長と機能的発達について、「生活行動を支えるもの」の側面から説明できる。
2. 子どもの健康増進のための施策について説明できる。
3. 子どもの発達に応じた生活援助について説明できる。
4. 健康障害のある子どもの特徴と看護について説明できる。
5. さまざまな状況にある子どもの看護について説明できる。
6. 症状がある子どもの看護について説明できる。
7. 子どもの特徴をふまえた看護過程の考え方を説明できる。
8. 子どもの看護に必要な基本的看護技術について説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康な子どもの看護	1. 子どものヘルスアセスメント	1) 大きさ・重さ 2) 恒常性を維持するしくみ 3) アセスメントに必要な看護技術 4) 健康診査 5) 予防接種 6) 事故予防
	2. 発達段階に応じた生活援助	1) 乳児の生活援助 2) 幼児の生活援助 3) 小学生・中学生の生活援助
II. 健康障害のある子どもの看護	1. 健康障害のある子どもの特徴と看護	1) 健康障害のある子どもの看護 2) 外来における子どもの看護 3) 入院している子どもの看護 4) 長期療養が必要な子どもの看護
	2. さまざまな状況にある子どもの看護	1) 低出生体重児と医療処置を受ける新生児の看護 2) 重症心身障害のある子どもの看護 3) 手術を受ける子どもの看護 4) 終末期にある子どもの看護 5) 虐待を受けた子どもの看護 6) 災害を受けた子どもの看護

大項目	中項目	小項目
	3. 症状のある子どもの看護展開	1) 子どもの看護過程の特徴 2) 症状のある子どもの看護 3) 検査・治療を受ける子どもの看護

評価方法

試験 60%、課題 40%の割合で評価する

* 詳細はガイダンスにて配付の資料に提示する

教科書

松尾宣武、濱中喜代 編 新体系看護学全書 メヂカルフレンド社 2014
小児看護学①小児看護概論・小児保健 第5版
(*2年次の小児看護学・概論と同じ教科書を使用する)

松尾宣武、濱中喜代 編 新体系看護学全書 メヂカルフレンド社 2014
小児看護学②健康障害をもつ小児の看護 第5版
(*2年次の病態学・各論Ⅲと同じ教科書を使用する)

山元 恵子 監 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ 2015
改訂第3版

この他、ガイダンスおよび講義中に資料を配付し紹介する

<講義スケジュール>

1	4.11	火	15:15~16:25	日沼 千尋 ^{他*}	ガイダンス
2	4.12	水	9:00~10:10	関森みゆき ^{他*}	発達段階に応じた生活援助 1 (AL)
3	4.18	火	13:55~15:05	関森みゆき ^{他*}	発達段階に応じた生活援助 2
4	4.20	木	16:35~17:45	関森みゆき ^{他*}	発達段階に応じた生活援助 3
5	4.21	金	10:25~11:35	奥野 順子 ^{他*}	子どものヘルスアセスメント 1
6	4.25	火	10:25~11:35	奥野 順子 ^{他*}	子どものヘルスアセスメント 2 (AL)
7	5. 8	月	12:30~13:40	奥野 順子 ^{他*}	子どものヘルスアセスメント 3
8	5. 8	月	13:55~15:05	奥野 順子 ^{他*}	子どものヘルスアセスメント 4
9	5.10	水	9:00~10:10	奥野 順子 ^{他*}	子どものヘルスアセスメント 5
10	5.12	金	10:25~11:35	山田 咲樹子	外来における子どもの看護
11	5.12	金	12:30~13:40	櫻田 章子 ^{他*}	子どもの入院環境 1 (AL)
12	5.15	月	10:25~11:35	関森みゆき	健康障害のある子どもの看護 1
13	5.16	火	16:35~17:45	関森みゆき	健康障害のある子どもの看護 2
14	5.19	金	10:25~11:35	櫻田 章子 ^{他*}	子どもの入院環境 2
15	5.22	月	10:25~11:35	櫻田 章子	長期療養が必要な子どもの看護
16	5.23	火	9:00~10:10	関森みゆき	低出生体重児と医療処置を受ける新生児の看護
17	5.23	火	10:25~11:35	奥野 順子	重症心身障害のある子どもの看護
18	5.24	水	9:00~10:10	櫻田 章子	手術を受ける子どもの看護
19	5.25	木	12:30~13:40	櫻田 章子 ^{他*}	虐待を受けた子どもの看護・災害を受けた子どもの看護 1 (AL)
20	5.29	月	12:30~13:40	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 1
21	6. 5	月	9:00~10:10	櫻田 章子 ^{他*}	虐待を受けた子どもの看護・災害を受けた子どもの看護 2
22	6. 6	火	10:25~11:35	栗田直央子	終末期にある子どもの看護
23	6. 9	金	12:30~13:40	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 2 (AL)
24	6.12	月	10:25~11:35	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 3
25	6.19	月	9:00~10:10	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 4
26	6.20	火	16:35~17:45	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 5
27	6.23	金	10:25~11:35	奥野 順子 ^{他*}	症状のある子どもの看護展開 6
	6.26	月	10:25~11:35	日沼 千尋	試験
28	9. 5	火	12:30~13:40	日沼 千尋	まとめ

* 日沼 千尋、関森みゆき、奥野 順子、櫻田 章子、酒井 麻希

〔小児看護学実習〕

科目責任者 日沼 千尋
 科目担当者 日沼 千尋、関森みゆき、奥野 順子、
 櫻田 章子、酒井 麻希

目的

健康障害のある子どもを理解し、看護を実践する基礎的能力を養う。

到達目標

1. 健康障害のある子どもについて、成長・発達をふまえた生活行動の側面から述べることができる。
2. 健康障害のある子どもの看護上の問題と援助について述べるができる。
3. 健康障害のある子どもの状態に適した看護を実践し、評価することができる。
4. 看護の学習者として、自己の能力を発展させる取り組みができる。

大項目	中項目	小項目
I. 健康障害のある子どもを看護する基礎的能力	1. 健康障害のある子どもの理解	1) 入院前の生活行動 2) 発達段階をふまえた生活行動 3) 入院による生活行動への影響 4) 検査・治療による生活行動への影響 5) 健康障害による生活行動への影響
	2. 健康障害のある子どもの看護の理解	1) 発達段階に応じた看護 2) 成長・発達を支援する看護 3) 健康レベルに応じた看護 4) 入院中の生活に応じた看護 5) 退院後の生活をふまえた看護
	3. 健康障害のある子どもの状態に適した看護の実践と評価	1) 発達段階に適した実践 2) 健康レベルに適した実践 3) 生活に合わせた実践 4) 子どもの意思を尊重し、最善の利益を考慮した実践 5) 実践結果からの看護の評価 6) 看護のプロセスの評価
	4. 自己の能力を発展させる取り組み	1) 学習者としての責任ある態度 2) 自己の能力の客観的な判断 3) 指導者への適宜適切な相談 4) 他職種と関連させた看護の役割の理解

実習方法

入院している子どもを受け持って実習する。詳細は小児看護学実習要項を参照のこと。

実習評価

小児看護学実習ルーブリックを用いて、到達目標ごとに実習内容（記録内容も含む）を100%の割合で評価する。

<講義スケジュール>

	2017. 9. 4(月) 9:00~10:10 9. 5(火)13:55~15:05	合同オリエンテーション オリエンテーション
C グループ	2017. 9.11(月)~ 9.22(金)	病棟実習
A グループ	10.10(火)~10.20(金)	病棟実習
B グループ	10.30(月)~11.10(金)	病棟実習
D グループ	11.27(月)~12. 8(金)	病棟実習

〔地域看護学・各論〕

科目責任者 清水 洋子
 科目担当者 清水 洋子、中田 晴美、犬飼かおり、
 渡辺 昌子、高 紋子、吉澤 裕世、
 池戸 啓子

目的

地域看護学を構成する行政保健、産業保健、学校保健などの各領域における看護活動および地域看護活動の実際について講義・演習形式で学び、地域における看護職の役割と専門性について理解する。

到達目標

1. 地域看護活動の展開方法および技術について学び、効果的な支援方法について説明することができる。
2. ライフステージと特定の健康課題に対応した地域看護活動について説明することができる。
3. 地域看護活動に関連する法的基盤とその活用、社会資源および組織、機能について説明することができる。
4. 住民と関係者、関係機関との協働や住民が主体的に問題解決できるよう社会資源を活用した支援方法について説明することができる。
5. 住民を対象とした地域看護の様々な領域（行政保健、産業保健、学校保健など）における看護活動の概要について説明することができる。

大項目	中項目	小項目
I. 地域看護活動の展開方法と技術	1. 地域看護における技術と保健師活動の実際	1) 地域看護活動における技術 2) 保健指導に関する理論 3) 保健指導の目的・機能 4) 健康相談における保健指導 5) 健康診査における保健指導 6) 家庭訪問における保健指導
	2. グループ・地区組織活動	1) グループ・地区組織活動とは 2) グループ・地区組織活動の変遷 3) グループ・地区組織活動の条件 4) グループ・地区組織活動の発展的運営のための活動 5) 地域づくりとグループ・地区組織活動
	3. コミュニティヘルスアセスメント①	1) コミュニティヘルスアセスメントの意義・目的 2) コミュニティヘルスアセスメントの枠組み 3) コミュニティ・アズ・パートナーモデル 4) コミュニティのアセスメント 5) コミュニティの診断と計画 6) コミュニティでの介入
	4. コミュニティヘルスアセスメント②～⑥（演習）	1) コミュニティヘルスアセスメントの実際（演習）
	5. コミュニティヘルスアセスメント⑦～⑨（発表）	1) コミュニティヘルスアセスメントの実際（発表）

大項目	中項目	小項目
II. 行政保健	6. 地域における住民活動から学ぶ（特講）①②	1) 仲間づくりと関係者のネットワーク 2) 住民との協働活動の発展と支援 3) 地域ケアシステムにおける個人・組織の役割、機能 4) 地域ケアシステムの発展過程
	1. 地域看護活動の仕組みと役割（母子保健）①	1) 日本の母子保健の特徴と歴史 2) 母子保健施策と保健活動
	2. 地域看護活動の仕組みと役割（母子保健）②	1) 主な母子保健活動 2) 母子保健活動の実際と課題
	3. 地域看護活動の仕組みと役割（成人保健）	1) 成人保健の理念、歴史的変遷 2) 成人保健施策と保健活動
	4. 地域看護活動の仕組みと役割（高齢者保健）	1) 高齢者保健の理念、歴史的変遷 2) 高齢者保健施策と保健活動
	5. 精神保健と地域看護活動	1) 地域精神保健に関する法的基盤 2) 地域精神保健対策と保健活動
	6. 感染症と地域看護活動①	1) 感染症対策の動向 2) 感染症保健活動
	7. 感染症と地域看護活動②	1) 結核対策と保健活動 2) 性感染症・エイズ対策と保健活動
	8. 障がいと地域看護活動①	1) 障がい者を取り巻く法的基盤 2) 障がい者支援と保健活動
	9. 障がいと地域看護活動②	1) 難病の定義 2) 難病対策と難病患者の保健活動
	10. 地域包括支援センターの役割と地域看護活動の実際（特講）①②	1) 地域包括支援センターの役割・機能 2) 保健師と他職種による活動の実際
	11. 行政における保健師活動の実際①	1) 保健所における保健師活動 2) 保健センターにおける保健師活動
12. 行政における保健師活動の実際②	1) 地域保健行政と保健師活動	
III. 産業保健	1. 企業における保健活動の実際（特講）	1) 産業保健の変遷、社会背景 2) 健康診断・疾病予防管理活動 3) 健康教育・健康相談・保健指導 4) 職場のメンタルヘルスケア、復職支援

評価方法

試験結果（70%）、コミュニティヘルスアセスメント演習課題 [グループへの参加態度、発表内容、自己学習課題の提出]（20%）、課題レポートの提出（10%）により総合的に評価する。

教科書

厚生労働統計協会編	国民衛生の動向 2016/2017	厚生労働統計協会	2016
上野 昌江 ^他	公衆衛生看護学 第2版	中央法規	2016

参考図書

井伊久美子 ^他	新版 保健師業務要覧 2017年版	日本看護協会出版会	2017
宮崎美佐子 ^他	最新公衆衛生看護学 2017年版 (総論・各論1・各論2)	日本看護協会出版会	2017
	第4版最新保健学講座 (全7巻+別巻)	メジカルフレンド社	2015
石垣和子、上野まり編	在宅看護論 自分らしい生活の継続をめざして 改訂第2版	南江堂	2017
河野あゆみ編集	在宅看護論	メジカルフレンド社	2016
標 美奈子 ^他	標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論	医学書院	2015
中村裕美子 ^他	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術	医学書院	2016
中谷芳美 ^他	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動	医学書院	2014
荒賀直子、後閑容子	公衆衛生看護学.Jp 第4版 Public Health Nursing in Japan	インターメディカル	2015
エリザベス T. アンダーソン, ジュディス・マクファーレン	コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版 (金川克子・早川和生監訳)	医学書院	2007
柳川 洋、中村好一	公衆衛生マニュアル 2016	南山堂	2016
高野 陽、柳川 洋 ^他	改訂7版 母子保健マニュアル	南山堂	2010
森 晃爾編	改訂6版 産業保健マニュアル	南山堂	2013
中央労働災害防止協会編	労働衛生のしおり (平成28年度版)	中央労働災害防止協会	2016
河野啓子	産業看護学	日本看護協会出版会	2016
愛知県健康福祉部 ^他	愛知県母子健康診査マニュアル	愛知県小児保健協会	2012
日本健康教育士養成機構編	新しい健康教育	保健同人社	2011

<講義スケジュール>

1	2017. 4.26	水	15:15～16:25	清水 洋子	地域看護における技術と保健師活動の実際
2	4.27	木	15:15～16:25	中田 晴美	グループ・地区組織活動
3	5. 9	火	12:30～13:40	中田 晴美	コミュニティヘルスアセスメント①
4	5. 9	火	13:55～15:05	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント②(演習)
5	5. 9	火	15:15～16:25	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント③(演習)
6	5.10	水	15:15～16:25	犬飼かおり	地域看護活動の仕組みと役割(母子保健)①
7	5.11	木	13:55～15:05	犬飼かおり	地域看護活動の仕組みと役割(母子保健)②
8	5.12	金	13:55～15:05	吉澤 裕世	地域看護活動の仕組みと役割(成人保健)
9	5.15	月	13:55～15:05	高 紋子	地域看護活動の仕組みと役割(高齢者保健)
10	5.15	月	15:15～16:25	犬飼かおり	障がい者と地域看護活動①
11	5.16	火	13:55～15:05	犬飼かおり	障がい者と地域看護活動②
12	5.16	火	15:15～16:25	渡辺 昌子	感染症と地域看護活動①
13	5.17	水	15:15～16:25	渡辺 昌子	感染症と地域看護活動②
14	5.18	木	15:15～16:25	中田 晴美	精神保健と地域看護活動
15	5.24	水	16:35～17:45	吉澤 裕世	災害時における地域看護活動
16	5.25	木	13:55～15:05	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント④(演習)(AL)
17	5.25	木	15:15～16:25	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント⑤(演習)(AL)
18	5.25	木	16:35～17:45	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント⑥(演習)(AL)
19	6. 1	木	12:30～13:40	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント⑥(発表)
20	6. 1	木	13:55～15:05	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント⑦(発表)
21	6. 1	木	15:15～16:25	中田 晴美 ^{他*1}	コミュニティヘルスアセスメント⑧(発表)
22	6. 2	金	13:55～15:05	竹本 知恵	企業における保健活動の実際(特講)
23	6. 6	火	13:55～15:05	高岡 宏 ^{他*2}	地域における住民活動から学ぶ(特講)①
24	6. 6	火	15:15～16:25	高岡 宏 ^{他*2}	地域における住民活動から学ぶ(特講)②
25	6. 8	木	15:15～16:25	寺西 秀美	地域包括支援センターの役割・機能(特講)①
26	6. 8	木	16:35～17:45	寺西 秀美	地域包括支援センターの役割・機能(特講)②
27	6.29	木	13:55～15:05	池戸 啓子	行政における保健師活動の実際①
28	6.29	木	15:15～16:25	池戸 啓子	行政における保健師活動の実際②
	7.11	火	12:30～13:40	清水 洋子	試験

*1 中田晴美、清水洋子、犬飼かおり、渡辺昌子、吉澤裕世、高紋子

*2 高岡 宏、認知症サポーター(住民ボランティア)

〔教育方法論〕

科目責任者 日沼 千尋
 科目担当者 日沼 千尋、益井 明子

目的

児童・生徒が主体的な学習を進めていくために、授業内で多様な特徴をもつ児童・生徒との関わりを支援する方法や環境の形成、養護教諭の役割を意識して授業の理論と実践にかかわる基礎的な能力を養う。

到達目標

1. 教育方法の歴史について理解することができる。
2. 教育方法の基本原則を理解することができる。
3. 学力と「学び」の関連性について理解することができる。
4. 保健教育における養護教諭の役割を理解することができる。
5. 授業の設計について学び指導計画案を考えられる。

大 項 目	中 項 目	小 項 目
I. 教育方法の歴史的概観	1. 教育方法の歴史	1) 変貌する「学び」 2) 学習指導要領における「教育方法」の変遷
II. 教育方法の基本原則	1. 教育方法の基本原則	1) 系統学習と問題解決学習 2) 教授・学習の形態と方法
III. 学力と「学び」	1. 学力とは 2. 「学び」の諸相	1) 「学力」とは何か 1) 協同的な学び 2) アクティブ・ラーニング 3) 「学び」を支える教師
IV. 養護教諭が担う「教育」	1. 保健教育における養護教諭の役割	1) 保健教育における教科教育 2) 保健教育における保健指導 3) 養護教諭の独自性
V. 授業理論と授業の設計	1. 授業理論	1) 教育目標 2) 教育手段 3) 授業の設計と方法 4) 健康教育の授業設計と評価

評価方法

リアクションペーパー50%、作成した授業指導案、教材 50%。

教科書

特に指定しない、必要に応じ資料を配付する。

参考図書

稲垣忠他 著	授業設計マニュアル Ver. 2	北大路書房	2015
佐藤学	教育の方法	左右社	2010
田中耕治他 著	新しい時代の教育方法	有斐閣アルマ	2012
田中智志他 編著	教育方法論	一藝社	2014

その他必要に応じて適宜紹介する。

<講義スケジュール>

1	2017.12.12	火	15:15~16:25	益井 明子	変貌する「学び」
2	12.12	火	16:35~17:45	益井 明子	学習指導要領における「教育方法」の変遷
3	2018. 1.11	木	15:15~16:25	益井 明子	系統学習と問題解決学習
4	1.11	木	16:35~17:45	益井 明子	教授・学習の形態と方法
5	1.18	木	12:30~13:40	益井 明子	課題学修(AL)
6	1.18	木	13:55~15:05	益井 明子	「学力」とは何か
7	1.23	火	15:15~16:25	益井 明子	協同的な学び
8	1.23	火	16:35~17:45	益井 明子	アクティブ・ラーニング
9	1.30	火	15:15~16:25	益井 明子	「学び」を支える教師
10	1.30	火	16:35~17:45	益井 明子	課題学修(AL)
11	1.31	水	9:00~10:10	日沼 千尋	保健教育における養護教諭の役割
12	1.31	水	10:25~11:35	日沼 千尋	目標・教育手段
13	2. 6	火	12:30~13:40	日沼 千尋	授業の設計と方法
14	2. 6	火	13:55~15:05	日沼 千尋	健康教育の授業設計と評価
15	2. 6	火	15:15~16:25	日沼 千尋	健康教育の授業設計と評価
16	2. 9	金	12:30~13:40	日沼 千尋	健康教育の授業設計と評価(AL)
17	2. 9	金	13:55~15:05	日沼 千尋	健康教育の授業設計と評価(AL)
18	2.15	木	12:30~13:40	日沼 千尋	プレゼンテーション・討議
19	2.15	木	13:55~15:05	日沼 千尋	プレゼンテーション・討議
20	2.15	木	15:15~16:25	日沼 千尋	プレゼンテーション・討議

〔生徒指導論〕

科目責任者 松寄 英士

目的

生徒指導においては、教育をめぐる諸状況を理解し、地域社会の変容に伴う家庭・家族関係の変化を正しく理解することが重要である。また、学校生活の中では子ども達を取り巻く社会的状況を注視しながら、子ども達の現状を正しく認識していくことも重要である。このことを踏まえて生徒理解の方法、社会・公民生を高める指導、健康・安全のための指導・教育の方法、人間関係能力を高めるための方法を、具体的な実践事例や映像資料での講義、演習なども取り入れながら理解していく。

到達目標

生徒指導の意義と理念を理解し、現代の子どもの心理を理解し、問題行動への対処について説明できる。具体的な生徒指導の方法と進め方を理解し、生徒指導体制の充実に向けた取り組みを説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 生徒指導基礎理論	1. 現代の人間形成	1) 生徒指導の意義と理念、その機能 2) 21世紀の教育課題と生徒指導
	2. 生徒指導の現状と課題	1) 生徒指導の歴史の変遷 2) 生徒指導の現状と課題
II. 児童生徒理解の観点と方法	1. 児童・生徒理解の在り方	1) 児童生徒理解の基本 2) 児童生徒の発達成長と生徒指導
	2. 児童生徒理解のアプローチ	1) 個の抱える問題へのアプローチ 2) 問題が生まれる背景へのアプローチ
III. 現代の学校教育と生徒指導	1. 生徒指導の類型	1) 生徒指導の構造的な理解 2) 成長を促す指導、予防的、問題解決的な指導
IV. 包括的・全校的生徒指導の展開	1. 教育課程と生徒指導	1) 教科指導と生徒指導 2) 総合的な学習と生徒指導 3) キャリア教育と生徒指導 4) 特別支援教育と生徒指導
V. 生徒指導の実践的展開	1. 生徒指導計画の進め方	1) 目標査定と指導計画の作成
	2. 組織的生徒指導体制の確立と運営	1) 学級経営と生徒指導 2) 外部諸機関との連携・協同
VI. 問題行動の考え方と取り組み方	1. 問題行動の理解と指導の進め方	1) 問題行動の理解 2) 問題行動に対する指導の進め方
	2. 個別の問題を抱える児童生徒への指導	1) 反社会的問題行動への対応 2) 非社会的問題行動への対応

評価方法

リアクションレポート（30%）、議論への参加度（20%）、プレゼンテーション（50%）で評価する。

教科書

教科書は特に指定しない。必要な教材は適宜配布する。

参考図書

日本生徒指導学会 編著	現代生徒指導論	学事出版	2015
文部科学省 編	生徒指導提要	教育図書	2010
小・中・高「学習指導要領」			
その他講義の中で適宜紹介する。			

<講義スケジュール>

1	2017.12.12	火	9:00～10:10	松寄 英士	生徒指導の意義と理念、その機能
2	12.12	火	10:25～11:35	松寄 英士	21世紀の教育課題と生徒指導
3	12.13	水	15:15～16:25	松寄 英士	生徒指導の現状と課題
4	12.13	水	16:35～17:45	松寄 英士	児童・生徒理解の在り方
5	2018. 1.13	土	9:00～10:10	松寄 英士	児童生徒理解のアプローチ
6	1.13	土	10:25～11:35	松寄 英士	課題学修1(AL)
7	1.20	土	9:00～10:10	松寄 英士	生徒指導の構造的理解
8	1.20	土	10:25～11:35	松寄 英士	成長を促す指導、予防的、問題解決的な指導
9	1.26	金	10:25～11:35	松寄 英士	教科指導と生徒指導
10	2. 1	木	10:25～11:35	松寄 英士	キャリア教育と生徒指導
11	2. 2	金	15:15～16:25	松寄 英士	特別支援教育と生徒指導
12	2. 5	月	9:00～10:10	松寄 英士	課題学修2(AL)
13	2. 5	月	10:25～11:35	松寄 英士	生徒指導計画の進め方
14	2. 9	金	15:15～16:25	松寄 英士	組織的生徒指導体制の確立と運営
15	2. 9	金	16:35～17:45	松寄 英士	問題行動の理解と指導の進め方
16	2.13	火	12:30～13:40	松寄 英士	反社会的問題行動への対応
17	2.13	火	13:55～15:05	松寄 英士	非社会的問題行動への対応
18	2.14	水	12:30～13:40	松寄 英士	課題学修3(AL)
19	2.16	金	12:30～13:40	松寄 英士	生徒指導の実際(プレゼンテーション)1
20	2.16	金	13:55～15:05	松寄 英士	生徒指導の実際(プレゼンテーション)2

〔教育相談〕

科目責任者 新保 幸洋

目的

教育相談の基本的な考え方を理解すると共に、それらと関係の深い問題群（子どもの貧困、不登校、いじめ、発達障害、子どもの虐待、非行など）に関する社会的・経済的・心理的背景や要因についても具体的に学び、多面的・多角的に思考しながら、子ども達への支援について考えられるようになることを目的とする。

到達目標

1. 教育相談の歴史・目的・基本的考え方について説明出来る。
2. 教育相談を実施する上での留意点（生徒指導や進路指導との関連性）を述べることが出来る。
3. カウンセリング・マインドの重要性を理解出来る。
4. 児童期・思春期の発達課題と現代の子どもの生活実態とを関連づけて考えることが出来る。
5. 我が国における子どもの貧困問題の概要を理解し、それが様々な生徒指導上の問題群に負の影響を与えていることを説明出来る。
6. 不登校、いじめ等の概要を理解し、それらの問題（具体的な事例）への対応についても説明できる。
7. スクールカウンセリングの歴史、意義、効果、問題点について説明出来る。
8. スクールカウンセラーの学校内における具体的な仕事内容を理解する。
9. スクールカウンセラーと養護教諭との日常的な連携の仕方について説明出来る。
10. 発達障がい有する児童・生徒への理解を深め、具体的な支援のあり方について説明出来る。
11. 学校における教育相談体制の望ましいあり方について理解する。
12. 学校における危機管理の概要について理解する。
13. 危機管理時に学校内で養護教諭としてどのような連携を行うことが必要なのかを説明出来る。

大項目	中項目	小項目
I. 教育相談とは何か	1. 教育相談に関する基礎的な理解	1) 教育相談の歴史、目的、基本的な考え方 2) 教育相談を実施する上での留意点（生徒指導、進路指導との関連性について） 3) カウンセリング・マインドの重要性
	2. 子どもの生活実態の把握と発達課題との関連性の検討	1) 児童期、思春期の発達課題と現代の子どもの生活実態との関連性 2) 子どもの貧困問題の理解と対応
II. 教育相談の理論と実際	1. 教育相談に関係の深い問題群の理解と対応	1) 「不登校」の理解と対応 2) 「いじめ」問題の理解と対応 3) その他「発達障がいとの関係など」
	2. スクールカウンセリングの理論と実際	1) スクールカウンセリングの歴史と意義、教育面での効果、抱えている問題点等 2) スクールカウンセラーの仕事を理解する 3) 養護教諭として他の教職員やスクールカウンセラーらとどう連携するか 4) 発達障がい有する学生の理解と彼ら

大 項 目	中 項 目	小 項 目
Ⅲ. まとめ	3. 学校内での教育相談体制の確立と養護教諭の果たす役割と機能（学校内外での連携の重要性“ つなぐ” ということ）	への具体的な支援のあり方 1) 望ましい学校教育相談体制の確立 2) 学校危機管理時の理解と対応 養護教諭としてどのような役割・機能が期待されているか。 定期テスト

評価方法

特別講師による講義後のリアクション・ペーパー（10%）、グループ・ディスカッション時での取り組み、授業中での発言、質問（30%）、期末試験（60%）の割合で評価し、それぞれの項目の点数を合計し、最終評価を行う。

教科書

特定のもの是指定しない。

参考図書

村瀬嘉代子 ^他 編	青年期の課題と支援	新曜社	2000
村瀬嘉代子 監修	統合的心理臨床への招待	ミネルヴァ書房	2007
藤田和也 編	保健室と養護教諭 その存在と役割	国土社	2008
小泉令三	図説 子どものための適応援助 生徒指導・教育相談・進路指導の基礎	北大路書房	2006
仙崎 武、渡辺三枝子、 野々村新、菊池武剋	「入門生徒指導・相談」	福村出版	2000
文部科学省	生徒指導提要	教育図書	2010

<講義スケジュール>

1	2018. 1. 9	火	9:00～10:10	新保 幸洋	教育相談とは何か、教育相談の歴史、基本的な考え方
2	1. 9	火	10:25～11:35	新保 幸洋	教育相談体制の在り方について(生徒指導、進路指導との関連性について)
3	1.10	水	9:00～10:10	新保 幸洋	児童期・思春期の発達課題と子どもの実態把握、様々な問題行動との関連
4	1.10	水	10:25～11:35	新保 幸洋	子どもの貧困問題の理解と対応①(保健室の実際、子どもの貧困の実態)
5	1.11	木	9:00～10:10	新保 幸洋	子どもの貧困問題の理解と対応②(相対的貧困状態をシミュレーションする)
6	1.11	木	10:25～11:35	新保 幸洋	子どもの貧困問題の理解と対応③(社会的、経済、政治的、歴史的背景の説明等)
7	1.12	金	9:00～10:10	新保 幸洋	子どもの貧困問題の理解と対応④(不登校、いじめ、非行、虐待、発達障がいとの関連性等)
8	1.12	金	10:25～11:35	新保 幸洋	不登校の理解と対応①(定義、歴史、学校復帰率他)
9	1.16	火	9:00～10:10	新保 幸洋	不登校の理解と対応②(中1ギャップとその解消について)
10	1.16	火	10:25～11:35	新保 幸洋	不登校の理解と対応③(発達障がいの関係について)
11	1.18	木	9:00～10:10	樫木 啓二	学校内での連携 ～スクールカウンセラーと日常的にどう連携するのか～
12	1.18	木	10:25～11:35	樫木 啓二	発達障がいを有する学生の理解と効果的な支援
13	1.19	金	9:00～10:10	新保 幸洋	不登校の理解と対応④(不登校の実際:ビデオ視聴)
14	1.19	金	10:25～11:35	新保 幸洋	いじめの理解と対応①(定義、歴史、いじめの解消率)
15	1.22	月	9:00～10:10	新保 幸洋	いじめの理解と対応②(いじめの発見を妨げるもの)
16	1.22	月	10:25～11:35	新保 幸洋	いじめの理解と対応③(いじめの態様他)
17	1.23	火	9:00～10:10	田部井重雄	学校内における教育相談体制の確立
18	1.23	火	10:25～11:35	田部井重雄	学校における危機管理 ～学校内外の組織とどう連携し、養護教諭としてどう対応するのか～
19	1.24	水	9:00～10:10	新保 幸洋	いじめの理解と対応④(学校としての取り組み)
20	1.24	水	10:25～11:35	新保 幸洋	いじめの理解と対応⑤(いじめへの対応策;ビデオ視聴)
	1.26	金	9:00～10:10	新保 幸洋	試験(授業時間内にレポートを作成し、提出する)

学 習 要 項

第4学年

2017



東京女子医科大学
看護学部

〔疫 学〕

科目責任者 山口 直人

科目担当者 山口 直人、佐藤 康仁、蔣池 勇太、
清水 悟、清原 康介、遠藤 源樹

目的

疫学概念と方法を理解し、これを集団に応用して、地域保健、地域看護に役立つ基礎的な能力を身につける。

到達目標

1. 疫学の歴史、目的と意義について説明することができる。
2. 有病率と罹患率の違いについて説明することができる。
3. 相対危険度と寄与危険度の違いについて説明することができる。
4. コホート研究と症例対照研究の利点と限界点について説明することができる。
5. 疫学研究に伴う誤差について説明することができる。
6. 因果関係を評価する際の基準について説明することができる。
7. スクリーニング検査の原理、敏感度と特異度について説明することができる。

大項目	中項目	小項目
疫学	1. 概念と方法	1) 歴史 2) 目的と意義 3) 疾病の自然史
	2. 疫学指標	1) 分母と分子 2) 率と比 3) 罹患率と有病率 4) 相対危険度、寄与危険度、オッズ比 5) 致命率、生存率
	3. スクリーニング	1) 原理 2) 敏感度と特異度 3) 偽陽性率と偽陰性率
	4. 記述疫学	1) 仮説の設定 2) 標準化死亡比 3) 年齢調整死亡率
	5. 分析疫学	1) コホート研究 2) 症例対照研究 3) 横断研究 4) 実験(介入)研究
	6. 疾病のリスクと要因	1) 危険度とその評価 2) 疫学で考慮すべき要因
	7. 疫学による意思決定	1) 根拠に基づいた医療
	8. 分子疫学	1) 最近の知見
	9. 疫学研究の誤差	1) 誤差と偏り(bias) 2) 無作為化 3) マッチング 4) 標準化

大項目	中項目	小項目
	10. 因果関係の評価 11. 疾病登録とサーベイランス 12. 人口統計・保健統計調査	1) 因果関係論 1) 現状 1) 人口統計の基礎 2) 動態統計と静態統計 3) 指定統計 4) その他の統計

評価方法：講義への出席20%、試験80%

教科書

なし

参考図書

日本疫学会監修	はじめて学ぶやさしい疫学－疫学への招待－2版	南江堂	2010
日本疫学会編	疫学－基礎から学ぶために－	南江堂	1996
日本疫学会編	疫学ハンドブック－重要疾患の疫学と予防－	南江堂	1998

<講義スケジュール>

1	2017. 9.15	金	9:00~10:25	山口 直人	疫学の概念
2	9.15	金	10:35~12:00	清水 悟	疫学指標1.
3	9.22	金	9:00~10:25	清水 悟	疫学指標2.
4	9.22	金	10:35~12:00	清水 悟	疫学調査法1. 記述疫学
5	9.29	金	9:00~10:25	清水 悟	疫学調査法2. コホート研究
6	9.29	金	10:35~12:00	佐藤 康仁	疫学調査法3. 症例対照研究
7	10. 6	金	9:00~10:25	佐藤 康仁	介入研究
8	10. 6	金	10:35~12:00	佐藤 康仁	疾病のリスクと要因
9	10.13	金	9:00~10:25	清原 康介	因果関係の評価
10	10.13	金	10:35~12:00	遠藤 源樹	集団検診の原理と方法(スクリーニング)
11	10.20	金	9:00~10:25	蔣池 勇太	分子疫学
12	10.20	金	10:35~12:00	清原 康介	疫学研究の誤差
13	11.10	金	9:00~10:25	佐藤 康仁	疾病登録とサーベイランス
14	11.10	金	10:35~12:00	遠藤 源樹	臨床疫学・疫学による意思決定
15	11.17	金	10:35~12:00	山口 直人	試験

〔学校保健管理論〕（選択科目）

科目責任者 宮下恵子

科目担当者 宮下恵子、北園みさ希

目的

学校における保健管理の重要性を理解し、その実際について演習などを通して学ぶ。

到達目標

1. 学校における保健管理と保健教育について理解し、学校組織の中での養護教諭の活動を説明できる。
2. 養護教諭の役割・機能を理解し、学校における健康管理について説明できる。
3. 児童生徒が学校で安全に過ごすための対策、教育について説明できる。

大項目	中項目	小項目
I. 学校保健管理の概念	1. 学校保健管理とは	1) 学校における保健管理と保健教育および組織活動との相互関係 2) 学校保健行政 3) 学校保健管理に係わる関係職員の職務と連携のあり方
	2. 学校保健管理の内容と養護教諭	1) 学校における保健管理の内容 2) 学校保健管理と養護教諭の職務との関連
II. 学校保健管理の実際	1. 学校保健計画と保健室経営	1) 学校保健計画作成 2) 保健室経営 3) 保健室の管理と整備
	2. 学校における安全管理	1) 事故・災害の現状と安全教育の実際 2) 安全管理の実際 3) 救急処置
	3. 児童生徒の健康管理と指導	1) 児童生徒の健康課題における管理 2) 指導に係わる養護教諭の役割 3) 指導案の作成 4) 教職員の心身の健康状況と健康づくり
	4. 健康診断	1) 健康診断の計画立案 2) 健康診断の実施方法と実施上の注意点 3) 健康診断に関する各種文書とその作成、記載方法
	5. 健康観察	1) 健康観察記録用紙の作成と活用 2) 健康観察の実際
	6. 健康相談	1) 健康相談の目的とその方法 2) 健康相談実施上の注意

大項目	中項目	小項目
	7. 学校における環境衛生と管理	1) 学校環境衛生の考え方と関係法令 2) 学校環境衛生の実際 (1) 学校環境衛生の規準に伴う検査 (2) 環境衛生活動における日常点検と処置

評価方法：試験および学習態度や授業内でのレポート内容などを総合評価
 (試験60%、授業内レポート30%、出席状況・学習態度10%)

教科書

日本学校保健会 編	保健室経営計画作成の手引 平成26年度改訂	日本学校保健会	2015
日本学校保健会 編	児童生徒等の健康診断マニュアル(平成27年度改訂)	日本学校保健会	2015
文部科学省	改訂版学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践		2010

参考図書

学校健康教育法令研究会 監修	学校保健・学校安全法令必携 第7次改訂	ぎょうせい	2012
教育科学研究会 藤田和也 編	保健室と養護教諭	国土社	2008
森田光子	養護教諭の健康相談ハンドブック	東山書房	2014
教育養成系大学保健協議会/編	学校保健ハンドブック 第6次改訂	ぎょうせい	2014
三木とみ子 編集代表	改訂 保健室経営マニュアル その基本と実際	ぎょうせい	2013
徳山美智子他 編著	改訂 学校保健安全法に対応した学校保健 —ヘルスプロモーションの視点と教職員の役割の明確化—	東山書房	2009

<講義スケジュール>

1	2017. 3.31	金	9:00~10:25	宮下恵子	学校保健管理の概念
2	3.31	金	10.35~12:00	宮下恵子	学校保健計画と保健室経営
3	4.15	土	9:00~10:25	宮下恵子	学校における安全管理と救急処置
4	4.15	土	10.35~12:00	宮下恵子	児童生徒の健康管理と指導
5	4.17	月	13:00~14:25	北園みさ希	健康診断と学校保健に関する文書
6	4.17	月	14:35~16:00	北園みさ希	健康観察と健康相談
7	4.17	月	16:10~17:35	北園みさ希	学校における環境衛生と管理
8	4.24	月	16:10~17:35	宮下・北園	試験

〔コミュニケーションの理論と実際〕（選択科目）

科目責任者 川上 華代

科目担当者 川上 華代

目的

事例や演習を通して、医療現場におけるコミュニケーションやカウンセリングに対する理解を深め、医療の専門家として必要不可欠なコミュニケーション能力を身につける。

到達目標

1. 心理学的な視点からコミュニケーションの定義や種類について説明できる。
2. 援助やサポートにおけるコミュニケーションの意義や役割について説明できる。
3. チームや組織での活動におけるコミュニケーションの意義や役割について説明できる。
4. 医療におけるカウンセリングの意義、目的、方法について説明ができる。
5. コミュニケーションにおける自己表現の方法を学び、円滑な自己表現について説明ができる。
6. ストレスのメカニズムおよびストレスマネジメントの意義、目的、方法について説明ができる。

大項目	中項目	小項目
I. コミュニケーションの理論	1. 対人コミュニケーション 2. 対人援助におけるコミュニケーション 3. 組織におけるコミュニケーション	1) コミュニケーションとは 2) 対人コミュニケーション 1) 援助要請 2) ソーシャルサポート 1) 集団・組織のコミュニケーション 2) コンサルテーションとチーム援助 3) 多職種連携
II. コミュニケーションの実際	1. カウンセリングの実際 2. アサーショントレーニングとは 3. ストレスマネジメントとは	1) 子どものカウンセリング 2) 医療におけるカウンセリング 1) さまざまな形の自己表現 2) アサーショントレーニングの実際 1) ストレスの影響とストレス反応 2) ストレスコーピングなど 3) 医療におけるストレスマネジメント

評価方法：出席および授業への参加態度 40%、試験 60%

教科書

特に指定しない

参考図書

適宜紹介する

<講義スケジュール>

1	2017. 9.12	火	13:00~14:25	川上 華代	コミュニケーションとは
2	9.12	火	14:35~16:00	川上 華代	対人コミュニケーション
3	9.15	金	13:00~14:25	川上 華代	子どものカウンセリング
4	9.15	金	14:35~16:00	川上 華代	医療におけるカウンセリング
5	9.19	火	13:00~14:25	川上 華代	さまざまな形の自己表現
6	9.19	火	14:35~16:00	川上 華代	アサーショントレーニングの実際
7	9.22	金	13:00~14:25	川上 華代	援助要請
8	9.22	金	14:35~16:00	川上 華代	ソーシャルサポート
9	9.26	火	13:00~14:25	川上 華代	ストレスの影響とストレス反応
10	9.26	火	14:35~16:00	川上 華代	医療におけるストレスマネジメント
11	9.29	金	13:00~14:25	川上 華代	集団・組織のコミュニケーション
12	9.29	金	14:35~16:00	川上 華代	コンサルテーションとチーム援助
13	10. 3	火	13:00~14:25	川上 華代	多職種連携
14	10. 3	火	14:35~16:00	川上 華代	院内学級
15	10. 6	金	13:00~14:25	川上 華代	試験

〔教職実践演習（養護教諭）〕（選択科目）

科目責任者：松寄 英士

科目担当者：日沼 千尋、諏訪 茂樹

目的

大学4年間で学んだ学習知と養護実習等で得られた健康教育に関する指導力や生徒指導力の実践知との更なる統合を図り、使命感や責任感に裏打ちされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその確認を目的とする。

授業は演習形式で行われ、養護実習で直面したさまざまなテーマや養護教諭に求められる役割と責任、に関して、実際の教育現場を想定し、学生自らが個人あるいはグループで内容を深め、児童・生徒を指導するためのロールプレイと討議、先輩教師からのコメントを通して学ぶ。さらに、「履修カルテ」の自らの評価をもとに、養護教諭の資質向上を目指して行く。

到達目標

養護教諭としての教育的実践力を構成する「社会性と対人関係能力」「児童・生徒理解と保健室経営力」「保健・健康教育に関する指導・教育力」を習得する。

大項目	中項目	小項目
I. 教職実践演習とは	1. 教職実践演習の目的と意義	1. 教職ポートフォリオに基づく自己評価・相互評価から自らの不足している実践力の理解
II. 養護実習における課題	養護実践力	1. 養護教諭としての社会性と対人関係能力 2. 児童・生徒理解と保健室経営 3. 保健・健康教育に関する指導・教育力
III. 教諭を目指す者としての課題	教諭としての実践力	1. 学校教育についての理解 2. 教諭としての使命感や責任感、教育的愛情 3. 生徒指導力

評価方法：討議への参加度（20%）、プレゼンテーション（50%）、レポート（30%）で評価する。

教科書

特に指定しない

参考図書

授業中に適時紹介

<講義スケジュール>

1	9.27	水	9:00~10:25	松寄英士	オリエンテーション(自己の課題・困難体験・困難事例の振り返り、演習の進め方)
2	10. 3	火	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	生徒指導、健康教育・相談における困難事例の整理と対応法の検討 1
3	10. 4	水	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	生徒指導、健康教育・相談における困難事例の整理と対応法の検討 2
4	10. 5	木	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	生徒指導、健康教育・相談における困難事例の整理と対応法の検討 3
5	10. 6	金	14:35~16:00	松寄英士 ^{他*}	生徒指導、健康教育・相談における困難事例の整理と対応法の検討 4
6	10.11	水	10:35~12:00	松寄英士 ^{他*}	困難事例と自己の課題のプレゼンテーションと討議
7	10.12	木	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	個人・グループによる困難事例の整理と対応法の検討 1
8	10.13	金	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	個人・グループによる困難事例の整理と対応法の検討 2
9	10.16	月	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	個人・グループによる困難事例の整理と対応法の検討 3
10	10.17	火	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	個人・グループによる困難事例の整理と対応法の検討 4
11	10.19	木	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	個人・グループによる困難事例の整理と対応法の検討 5
12	10.20	金	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	プレゼンテーションのための準備 1
13	10.23	月	16:10~17:35	松寄英士 ^{他*}	プレゼンテーションのための準備 2
14	11. 1	水	9:00~10:25	松寄英士 ^{他*}	プレゼンテーション・討議・講評
15	11. 1	水	10:35~12:00	松寄英士 ^{他*}	プレゼンテーション・討議・講評

*日沼 千尋、諏訪 茂樹

〔養護実習〕（選択科目）

科目責任者 日沼 千尋

科目担当者 日沼 千尋、松嵜 英士、諏訪 茂樹、
関森みゆき、奥野 順子、櫻田 章子、
酒井 麻希

目的

養護教諭課程の講義や演習等で習得した知識と技術を、学校教育現場で実践・応用することを通して、学校保健の専門家としての責任を自覚し、学校保健のあり方を探求するとともに養護教諭の果たす役割について多角的に学習する。

到達目標

1. 学校保健活動における養護教諭の役割、および保健室のあり方について説明できる。
2. 児童・生徒の心身の成長・発達と学校生活の状況、および健康状態を説明できる。
3. 児童・生徒の保健・養護上の課題に対して、個別のおよび組織的に取り組む基礎的能力を修得できる。
4. 児童・生徒に関わる教育者としてふさわしい態度を身につける。

大項目	中項目	小項目
I. 学校保健活動の理解	1. 養護教諭の役割 2. 保健室のあり方	1) 学校保健計画・学校安全計画 2) 保健管理 3) 保健教育 4) 健康相談 5) 保健組織活動 1) 保健室の役割・機能 2) 保健室経営計画 3) 保健室の整備 4) 保健室経営の評価
II. 学校で生活する児童・生徒の理解	1. 児童・生徒の成長・発達 2. 児童・生徒の学校生活 3. 児童・生徒の健康状態	1) 身体的成長・発達 2) 心理・社会的発達 1) 学校での生活 2) 学校における人間関係 1) 生活習慣、健康問題・課題 2) 健康問題・課題の背景 3) 慢性疾患等の児童・生徒への支援
III. 児童・生徒の保健・養護上の課題に対する実践的取り組み	1. 健康管理活動 2. 保健室来室者の対応 3. 保健教育	1) 健康観察 2) 健康診断 3) 学校環境衛生整備 4) 保健室整備 1) 来室者のアセスメント 2) 来室者への対応 3) 事後措置 4) 救急傷病者に対する応急処置 1) 教科保健 2) 保健指導

大項目	中項目	小項目
IV. 教育者としての態度	1. 児童・生徒への関わり 2. 専門職者としての能力	1) 児童・生徒の人格尊重、受容的関わり 2) 児童・生徒の模範となる言動 1) 教育活動の理解 2) 教育的思考に基づいた行動 3) 自己能力の判断と指導者の活用 4) 課題の探求

実習方法：小学校・中学校・高等学校のいずれかの学校において実習する。実習前後に大学で事前・事後学習を行う。詳細は『養護実習要項』を参照のこと。

評価方法：実習到達目標について、実習校での学習内容を 80%、事前・事後の学習内容を 20%の割合で評価する。評価の対象は、実習校による評価、実習記録、事前・事後学習の課題（提出物やプレゼンテーション）とする。

教科書

大谷尚子 中桐佐智子編著 改訂養護実習ハンドブック 東山書房 2015

参考図書

采女智津江 編 新養護概説第9版 少年写真新聞社 2016

<講義スケジュール>

1	2017. 4. 6	木	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	ガイダンス*2
2	4. 6	木	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (学習状況報告)
3	4. 6	木	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
4	4. 6	木	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
5	4. 7	金	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
6	4. 7	金	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
7	4. 7	金	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
8	4. 7	金	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、模擬授業準備)
9	4.12	水	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (模擬授業・評価)
10	4.12	水	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (模擬授業・評価)
11	4.12	水	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (模擬授業・評価)
12	4.12	水	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (模擬授業・評価)
13	4.18	火	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
14	4.18	火	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
15	4.18	火	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
16	4.18	火	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
17	4.20	木	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
18	4.20	木	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (事前準備、技術練習)
19	4.26	水	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (救急対応演習・評価)
20	4.26	水	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (救急対応演習・評価)
21	4.26	水	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (学習評価・臨地実習最終確認)
22	4.26	水	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事前学習 (実習校オリエンテーション報告)*2
5.10~7.2のうち、連続して3週間以上					臨地実習
23	9.16	土	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (臨地実習報告)*2
24	9.16	土	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (臨地実習評価、実習報告会準備)
25	9.16	土	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (臨地実習評価、実習報告会準備)
26	9.16	土	14:35~16:00	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (臨地実習評価、実習報告会準備)
27	9.16	土	16:10~17:35	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (臨地実習評価、実習報告会準備)
28	9.30	土	9:00~10:25	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (実習報告会)
29	9.30	土	10:35~12:00	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (実習報告会)
30	9.30	土	13:00~14:25	日沼 千尋 _{他*1}	事後学習 (実習評価)

*1 日沼千尋、松寄英士、諏訪茂樹、関森みゆき、奥野順子、櫻田章子、酒井麻希

*2 別日変更あり

看護学部第4学年授業担当教員

[専任教員]

人文社会科学系			
心理学	特任准教授	松寄 英士	
社会学	准教授	諏訪 茂樹	
英語	講師	設楽 靖子	
基礎科学系			
生理学	准教授	神山 暢夫	
生化学	准教授	榊 建二郎	
臨床医学系			
外科学	教授	尾崎 恭子	
内科学	准教授	南家 由紀	
看護学系			
基礎看護学	教授	守屋 治代	
	准教授	菊池 昭江	
	准教授	見城 道子	
	講師	加藤 京里	
	助教	小宮山陽子	
	助教	北條 由佳	
成人看護学	准教授	原 三紀子	
	准教授	小泉 雅子	
	講師	原 美鈴	
	助教	三浦美奈子	
	助教	小林 礼実	
	助教	鈴木香緒理	
	助教	那須実千代	
	助教	峯川美弥子	
	助教	河合 育世	
看護職生涯発達学	教授	佐藤 紀子	
	講師	草柳かほる	
	助教	多久和善子	
	助教	山口 紀子	
看護管理学	教授	池田 真理	
老年看護学	教授	長江 弘子	
	准教授	坂井 志麻	
	講師	原沢のぞみ	
	助教	渡邊 賢治	
	助教	小池 愛弓	
小児看護学	教授	日沼 千尋	
	准教授	関森みゆき	
	講師	奥野 順子	
	助教	櫻田 章子	
	助教	木戸 恵美	
母性看護学	特任助教	酒井 麻希	
	教授	小川久貴子	
	准教授	土江田奈留美	
	講師	竹内 道子	
	講師	抜田 博子	
	助教	田幡 純子	
	助教	潮田千寿子	
	助教	鈴木小弥香	
地域看護学	教授	清水 洋子	
	准教授	中田 晴美	
	講師	犬飼かおり	
	助教	渡辺 昌子	
	助教	高 紋子	
	助教	吉澤 裕世	

精神看護学	教授	田中美恵子
	講師	小山 達也
	助教	異儀田はづき
	助教	飯塚あつ子
	特任助教	徳田 由希

[兼任教員]

疫学	教授	山口 直人
	講師	佐藤 康仁
	講師	蔣池 勇太
	准講師	清水 悟
	助教	清原 康介
	助教	遠藤 源樹
医学特論	教授	菅野 仁
	教授	木林 和彦
	教授	寺崎 仁
	講師	松尾 真理
	講師	遠藤 美香
英語Ⅲ	教授	杉下 智彦
国際関係論	講師	塚原 高宏
	助教	吉井亜希子
リエゾン精神看護	臨床講師	山内 典子
	臨床講師	安田 妙子
キャリア発達論Ⅳ	講師	川野 良子

[兼任教員]

女性論	講師	新井 浩子
人間援助論Ⅱ	講師	三好 真典
医療行政・関係法規	講師	西田 幸典
	講師	和泉澤千恵
文化人類学	講師	宍戸 佳織
精神看護学実習	講師	濱田 由紀
人間生活と法	講師	東 裕
コミュニケーションの理論と実際	講師	川上 華代
パフォーマンス芸術論	講師	大岡 直子
リエゾン精神看護	講師	西川 律子
学校保健管理論	講師	宮下 恵子
	講師	北園みさ希

[医学部・看護学部協働教育 担当教員]

救命救急センター	教授	矢口 有乃
化学	教授	岡田みどり
消化器内科学	教授	徳重 克年
医学教育学	教授	大久保由美子
医療・病院管理学	准教授	加藤多津子
非常勤講師		森岡 正博